

編集復刻

財女性のためのアジア平和国民基金編

政府調査

「従軍慰安婦」関係資料集成 ①

警察庁関係公表資料
外務省関係公表資料

龍溪書舎

目次 (第一卷)

発刊の辞	女性のためのアジア平和国民基金	3
例言		5
政府・基金公表文書		
一、朝鮮半島出身のいわゆる従軍慰安婦問題について	内閣官房内閣外政審議室	7
二、いわゆる従軍慰安婦問題について	内閣官房内閣外政審議室	11
三、慰安婦関係調査結果発表に関する内閣官房長官談話		17
四、「従軍慰安婦」にされた人々	女性のためのアジア平和国民基金	19
内閣総理大臣の手紙		23

女性のためのアジア平和国民基金理事長の手紙……………25

発刊の辞

「従軍慰安婦」にさせられ、心身にわたり癒し難い傷を負われたすべてのの方々に対して、政府と国民が協力して、お詫びと反省に立つ国民的な償いや医療、福祉の事業を進める「女性のためのアジア平和国民基金」がスタートしてから、はや二年になろうとしています。この間基金は国民の皆さまからのご支持と拠金をえて、フィリピン、韓国、台湾で償いの事業を開始いたしました。高齢の方々に対するお詫びと国民的償いの事業ですので、より多くの方々に受けとめていただけるように一層の努力を払っていく所存です。

お詫びと償いの事業は過去の歴史を直視し、これを正しく後世に伝える努力と切り離すことができません。「慰安婦」問題の真実を明らかにし、歴史の教訓とするためには、資料の発掘、調査、研究が必要です。

日本政府は、一九九一年（平成三年）一二月以後、いわゆる従軍慰安婦問題についての本格的調査を行い、一九九二年七月六日、一九九三年八月四日にそれぞれ調査結果を発表しました。その後も発見された資料がそのつど発表されました。

調査にあたっては調査対象を国外に広げるとともに、元「慰安婦」を含む関係者に対する聞きとり調査も行いました。各省庁や米国立公文書館などから発見された資料は二六〇件をこえています。この政府調査によって発見され

た資料は、今日「従軍慰安婦」問題を考えるさいの基本的な資料です。

基金では、このたび政府が調査した資料をオリジナル・コピーのかたちで復刻し、永久に保存するとともに、この問題の研究に関心をもつ内外のすべての人に公開することにいたしました。あえて、発掘された資料を一つ残らず、もとの形のままに刊行するところに、このような歴史を二度とくりかえさないという国民的決意があらわれていることを、汲み取っていただきますように願ってやみません。この資料を共通の財産として、このちさらに明らかにされる新たな資料の分析に進んで下さるよう希望いたします。

基金としては、現在「慰安婦」関係資料委員会を設置し、五カ年の計画で、内外の諸機関よりあらたな資料を獲得すべく努力しております。その成果も引き続き、公刊してまいる所存です。

一九九七年三月

財団法人 女性のためのアジア平和国民基金

例言

一、巻頭に政府が資料を公表した際の発表文、「朝鮮半島出身のいわゆる従軍慰安婦問題について」（平成4年7月6日）と「いわゆる従軍慰安婦問題について」（平成5年8月4日）、慰安婦関係調査結果発表に関する内閣官房長官談話（平成5年8月4日）、アジア女性基金発行（一九九五年十月二五日）のパンフレット所収の文章「従軍慰安婦」にされた人々」を収録し、また参考として、アジア女性基金が元慰安婦の方々に対して国民的な償いの事業を行うに際してお届けすることになっている総理大臣の手紙とアジア女性基金理事長の手紙をも併せて収録した。

二、資料は、一次、二次、それ以後の発表をまとめて、資料が発見された省庁や公文書館などの機関別にしたがって編集した。

三、第五巻に収録した「資料の概要紹介」は、政府が発表した「いわゆる従軍慰安婦問題の調査結果について」（平成4年7月および平成5年8月の公表調査発見分）を基本的に引用しつつ、アジア女性基金の責任で作成したもので、特に警察庁発表資料の説明は編者が独自に作成したものである。この紹介の中に一つ一つの資料が納められている原ファイルの名称も明示されている。

四、省庁・公文書館等の機関毎の発表で資料が重複している場合は、重複資料は省略した。

五、資料は発見された省庁等ごと、作成した部署ごとにまとめるなど、同種類の資料をまとめ、年代順にならべているが、政策的に重要と思われるものを前に出した。

六、本書を編集するにあたり、資料タイトル組みは旧字体を尊重したが、原文の誤字又は不統一記述などは若干訂正

した。なお目次についてはすべて新字体を原則とした。

七、資料中には個人名、本籍地を抹消してある箇所があるが、これはプライバシーを尊重して抹消されたものである。また政府が発表した文書の中で、全文発表への遺族の了解が得られない等の理由で資料の掲載が不能となったものがある。

編集代表

後 藤 乾 一
高 崎 宗 司
和 田 春 樹

政府・基金公表文書

一、朝鮮半島出身のいわゆる従軍慰安婦問題について

平成四年七月六日

内閣官房内閣外政審議室

政府としては、一二月より朝鮮半島出身のいわゆる従軍慰安婦問題に政府が関与していたかどうかについて、関係資料が保管されている可能性のある省庁において関連資料の調査を行っていたところであるが、現在までの調査結果を下記の通りとりまとめたので発表する。なお、政府としては、今後とも新たな資料が発見された場合には、これを公表してまいりたい。

記

一 調査期間

平成三年二月～平成四年六月

二 調査を行った省庁と調査方法

警察庁……①警察庁所管資料を調査。

②各都道府県の本部長に対して調査を依頼。

防衛庁……防衛研究所を始め、陸上、海上及び航空の各自衛隊、防衛大学校等の防衛庁関係の各機関において戦史資料を中心に調査。

外務省……外交史料館等において、外交資料を中心に調査。

文部省……①各国公私立大学附属図書館に対し調査を依頼。

②各都道府県教育委員会（公立図書館関係）及び私立図書館に対し調査を依頼。

厚生省……復員関係資料及び軍人・軍属名簿を中心に調査。

労働省……本省関係部局及び関係機関並びに地方職業安定機関において調査。

三 調査結果

(1) 各省庁から発見された資料の件数

警察庁……○件

防衛庁……七〇件
外務省……五二件
文部省……一件
厚生省……四件
労働省……〇件

(2) 今回の調査で発見された資料を整理すると次のとおり。(詳細は別紙のとおり。括弧内の件数は重複しているものもある。)

- ①慰安所の設置に関するもの(四件)
- ②慰安婦の募集に当たる者の取締りに関するもの(四件)
- ③慰安施設の築造・増強に関するもの(九件)
- ④慰安所の経営・監督に関するもの(三五件)
- ⑤慰安所・慰安婦の衛生管理に関するもの(二四件)
- ⑥慰安所関係者への身分証明書等の発給に関するもの(二八件)
- ⑦その他(慰安所、慰安婦に関する記述一般等)(三四件)

(3) 今回発見された資料の主な記述を上記分野に従って整理すると次の通り。

①慰安所の設置については、当時の前線における軍占領地域内の日本軍人による住民に対する強姦等の不法な行為により反日感情が醸成され、治安回復が進まないため、軍人個人の行為を嚴重に取り締まるとともに、速やかに慰安設備を整える必要があるとの趣旨の通牒の発出があったこと、また、慰安施設は士気の振興、軍紀の

維持、犯罪及び性病の予防等に対する影響が大きいため、慰安の諸施設に留意する必要があるとの趣旨の教育指導参考資料の送付が軍内部であつたこと。

②慰安婦の募集に当たる者の取締りにについては、軍の威信を保持し、社会問題を惹起させないために、慰安婦の募集に当たる者の人選を適切に行うようにとの趣旨の通牒の発出が軍内部であつたこと。

③慰安施設の築造・増強については、慰安施設の築造、増強のために兵員を差し出すべしとの趣旨の命令の発出があつたこと。

④慰安所の経営・監督については、部隊毎の慰安所利用日時の指定、慰安所利用料金、慰安所利用にあつての注意事項等を規定した「慰安所規定」が作成されていたこと。

⑤慰安所・慰安婦の衛生管理については、「慰安所規定」に慰安所利用の際は避妊具を使用することを規定したり、慰安所で働く従業婦の性病検査を軍医等が定期的に行い、不健康な従業婦においては就業させることを禁じる等の措置があつたこと。

⑥慰安所関係者への身分証明等の発給については、慰安所開設のため渡航する者に対しては軍の証明書により渡航させる必要があるとする文書の発出があつたこと。

(4) ⑦その他、業者が内地で準備した女子が船舶で輸送される予定であることを通知する電報の発出があつたこと。
 以上のように、いわゆる従軍慰安婦問題に政府の関与があつたことが認められた。

二、いわゆる従軍慰安婦問題について

平成五年八月四日

内閣官房内閣外政審議室

一 調査の経緯

いわゆる従軍慰安婦問題については、当事者による我が国における訴訟の提起、我が国国会における論議等を通じ、内外の注目を集めて来た。また、この問題は、昨年一月の宮澤総理の訪韓の際、盧泰愚大統領（当時）との会談においても取り上げられ、韓国側より、実態の解明につき強い要請が寄せられた。この他、他の関係諸国、地域からも本問題について強い関心が表明されている。

このような状況の下、政府は、平成三年一二月より、関係資料の調査を進めるかたわら、元軍人等関係者から幅広く聞き取り調査を行うとともに、去る七月二六日から三〇日までの五日間、韓国ソウルにおいて、太平洋戦争犠牲者遺族会の協力も得て元従軍慰安婦の人たちから当時の状況を詳細に聴取した。また、調査の過程において、米国に担当官を派遣し、米国の公文書につき調査した他、沖縄においても、現地調査を行った。調査の具体的態様は以下の通りであり、調査の結果発見された資料の概要は別添の通りである。

調査対象機関 警察庁、防衛庁、法務省、外務省、文部省、厚生省、労働省、国立公文書館、国立国会図書館、米

国国立公文書館

関係者からの聞き取り

元従軍慰安婦、元軍人、元朝鮮総督府関係者、元慰安所経営者、慰安所付近の居住者、歴史研究家等

参考とした国内外の文書及び出版物

韓国政府が作成した調査報告書、韓国挺身隊問題対策協議会、太平洋戦争犠牲者遺族会など関係団体等が作成した元慰安婦の証言集等。なお、本問題についての本邦における出版物は数多いがそのほぼすべてを渉獵した。

本問題については、政府は、すでに昨年七月六日、それまでの調査の結果について発表したところであるが、その後の調査をもふまえ、本問題についてとりまとめたところを以下のとおり発表することとした。

二 いわゆる従軍慰安婦問題の実態について

上記の資料調査及び関係者からの聞き取りの結果、並びに参考にした各種資料を総合的に分析、検討した結果、以下の点が明らかになった。

(1) 慰安所設置の経緯

各地における慰安所の開設は当時の軍当局の要請によるものであるが、当時の政府部内資料によれば、旧日本軍占領地域内において日本軍人が住民に対し強姦等の不法な行為を行い、その結果反日感情が醸成されることを防止

する必要性があつたこと、性病等の病気による兵力低下を防ぐ必要があつたこと、防諜の必要があつたことなどが慰安所設置の理由とされている。

(2) 慰安所が設置された時期

昭和七年にいわゆる上海事変が勃発したところ同地の駐屯部隊のために慰安所が設置された旨の資料があり、そのころから終戦まで慰安所が存在していたものとみられるが、その規模、地域的範囲は戦争の拡大とともに広がりをみせた。

(3) 慰安所が存在していた地域

今次調査の結果慰安所の存在が確認できた国又は地域は、日本、中国、フィリピン、インドネシア、マラヤ（当時）、タイ、ビルマ（当時）、ニューギニア（当時）、香港、マカオ及び仏領インドシナ（当時）である。

(4) 慰安婦の総数

発見された資料には慰安婦の総数を示すものはなく、また、これを推認させるに足る資料もないので、慰安婦総数を確定するのは困難である。しかし、上記のように、長期に、かつ、広範な地域にわたって慰安所が設置され、数多くの慰安婦が存在したものと認められる。

(5) 慰安婦の出身地

今次調査の結果慰安婦の出身地として確認できた国又は地域は、日本、朝鮮半島、中国、台湾、フィリピン、インドネシア及びオランダである。なお、戦地に移送された慰安婦の出身地としては、日本人を除けば朝鮮半島出身者が多い。

(6) 慰安所の経営及び管理

慰安所の多くは民間業者により経営されていたが、一部地域においては、旧日本軍が直接慰安所を経営したケースもあった。民間業者が経営していた場合においても、旧日本軍がその開設に許可を与えたり、慰安所の施設を整備したり、慰安所の利用時間、利用料金や利用に際しての注意事項などを定めた慰安所規定を作成するなど、旧日本軍は慰安所の設置や管理に直接関与した。

慰安婦の管理については、旧日本軍は、慰安婦や慰安所の衛生管理のために、慰安所規定を設けて利用者に避妊具使用を義務付けたり、軍医が定期的に慰安婦の性病等の病気の検査を行う等の措置をとった。慰安婦に対して外出の時間や場所を限定するなどの慰安所規定を設けて管理していたところもあった。いずれにせよ、慰安婦たちは戦地においては常時軍の管理下において軍と共に行動させられており、自由もない、痛ましい生活を強いられたことは明らかである。

(7) 慰安婦の募集

慰安婦の募集については、軍当局の要請を受けた経営者の依頼により斡旋業者らがこれに当たることが多かったが、その場合も戦争の拡大とともにその人員の確保の必要性が高まり、そのような状況の下で、業者らが或いは甘言を弄し、或いは畏怖させる等の形で本人たちの意向に反して集めるケースが数多く、更に、官憲等が直接これに加担する等のケースもみられた。

(8) 慰安婦の輸送等

慰安婦の輸送に関しては、業者が慰安婦等の婦女子を船舶等で輸送するに際し、旧日本軍は彼女らを特別に軍属に準じた扱いにするなどしてその渡航申請に許可を与え、また日本政府は身分証明書等の発給を行うなどした。ま

た、軍の船舶や車輛によつて戦地に運ばれたケースも少なからずあつた他、敗走という混乱した状況下で現地に置き去りにされた事例もあつた。

三、慰安婦関係調査結果発表に関する内閣官房長官談話

平成五年八月四日

いわゆる従軍慰安婦問題については、政府は、一昨年十二月より、調査を進めて来たが、今般その結果がまとまつたので発表することとした。

今次調査の結果、長期に、かつ広範な地域にわたつて慰安所が設置され、数多くの慰安婦が存在したことが認められた。慰安所は、当時の軍当局の要請により設置されたものであり、慰安所の設置、管理及び慰安婦の移送については、旧日本軍が直接あるいは間接にこれに関与した。慰安婦の募集については、軍の要請を受けた業者が主としてこれに当たつたが、その場合も、甘言、強圧による等、本人たちの意思に反して集められた事例が数多くあり、更に、官憲等が直接これに加担したこともあつたことが明らかになつた。また、慰安所における生活は、強制的な状況の下での痛ましいものであつた。

なお、戦地に移送された慰安婦の出身地については、日本を別とすれば、朝鮮半島が大きな比重を占めていたが、当時の朝鮮半島は我が国の統治下にあり、その募集、移送、管理等も、甘言、強圧による等、総じて本人たちの意思に反して行われた。

いづれにしても、本件は、当時の軍の関与の下に、多数の女性の名誉と尊厳を深く傷つけた問題である。政府は、

この機会に、改めて、その出身地のいかんを問わず、いわゆる従軍慰安婦としての数多の苦痛を経験され、心身にわたり癒しがたい傷を負われたすべての方々に対し心からお詫びと反省の気持ちを申し上げる。また、そのような気持ちを我が国としてどのように表すかということについては、有識者のご意見なども徴しつつ、今後とも真剣に検討すべきものと考ええる。

われわれはこのような歴史の真実を回避することなく、むしろこれを歴史の教訓として直視していきたい。われわれは、歴史研究、歴史教育を通じて、このような問題を永く記憶にとどめ、同じ過ちを決して繰り返さないという固い決意を改めて表明する。

なお、本問題については、本邦において訴訟が提起されており、また、国際的にも関心が寄せられており、政府としても、今後とも、民間の研究を含め、十分に関心を払って参りたい。

四、「従軍慰安婦」にされた人々

——一九九五年一〇月二五日発行 アジア女性基金パンフレットより——

「従軍慰安婦」とは、かつての戦争の時代に、日本軍の慰安所で将兵に性的な奉仕を強いられた女性たちのことです。

慰安所の開設が、日本軍当局の要請によってはじめておこなわれたのは、中国での戦争の過程でのことです。一九三一年（昭和六年）満州事変がはじまると、翌年には戦火は上海に拡大されます。この第一次上海事変によって派遣された日本の陸海軍が、最初の慰安所を上海に開設させました。慰安所の数は、一九三七年（昭和十二年）の日中戦争開始以後、戦線の拡大とともに大きく増加します。

当時の軍の当局は、占領地で頻発した日本軍人による中国人女性レイプ事件によって、中国人の反日感情がさらに強まることをおそれ、防止策をとることを考えました。また、将兵が性病にかかり、兵力が低下することを防止しようと考えました。中国人の女性との接触から軍の機密がもれることもおそれられました。

岡部直三郎北支那方面軍參謀長は一九三八年（昭和十三年）六月に出した通牒で、次のように述べています。

「諸情報ニヨルニ、……強烈ナル反日意識ヲ激成セシメシ原因ハ……日本軍人ノ強姦事件カ全般ニ伝播シ……深刻ナル反日感情ヲ醸成セルニ在リト謂フ」「軍人個人ノ行為ヲ嚴重取締ルト共ニ、一面成ルヘク速ニ性的慰安ノ設備ヲ整へ、設備ノナキタメ不本意乍ラ禁ヲ侵ス者無カラシムルヲ緊要トス」

このような判断に立つて、当時の軍は慰安所の設置を要請したのです。

慰安所の多くは民間の業者によつて経営されましたが、軍が直接経営したケースもありました。民間業者が経営する場合でも、日本軍は慰安所の設置や管理、女性の募集について関与し、「統制」をおこないました。日本国内からの女性の募集について、一九三八年三月四日に出された中央の陸軍省副官の通牒には次のようになります。

「支那事変地ニオケル慰安所設置ノ為内地ニ於テ之カ従業婦等ヲ募集スルニ当リ、故ニ軍部諒解等ノ名義ヲ利用シ、為ニ軍ノ威信ヲ傷ツケ、且ツ一般民ノ誤解ヲ招ク虞アルモノ、或ハ……募集ノ方法、誘拐ニ類シ、警察当局ニ檢舉調ヲ受クルモノアル等、注意ヲ要スルモノ少カラサルニ就テハ、将来是等ノ募集等ニ当リテハ、派遣軍ニ於テ統制シ、之ニ任スル人物ノ選定ヲ周到適切ニシ、其実施ニ当リテ関係地方ノ憲兵及警察当局トノ連携ヲ密ニシ、以テ軍ノ威信保持上、並ニ社会問題上、遺漏ナキ様配慮相成度依命通牒ス」

最初は日本の国内から集められた女性が多かったのですが、やがて当時日本が植民地として支配していた朝鮮半島から集められた女性がふえました。その人たちの多くは、一六、七歳の少女もふくまれる若い女性たちで、性的奉仕

をさせられるということを知らされずに、集められた人でした。

一九四一年（昭和十六年）二月八日日本は米英オランダに宣戦を布告し（太平洋戦争）、戦線は東南アジアに広がりました。それとともに慰安所も中国から東南アジア全域に拡大しました。そのほとんどの地域に朝鮮半島、さらには中国、台湾からも、多くの女性が送られました。旧日本軍は彼女たちに特別に軍属に準じた扱いをおこない、渡航申請に許可をあたえ、日本政府は身分証明書が発給をおこなうなどしました。それと同時にフィリピン、インドネシアなど占領地の女性やオランダ人女性が慰安所に集められました。この場合軍人が強制的手段もふくめ直接関与したケースも認められます。

慰安所では、女性たちは多数の将兵に性的な奉仕をさせられ、人間としての尊厳を踏みにじられました。さらに戦況の悪化とともに、生活はますます悲惨の度をくわえました。戦地では常時、軍とともに行動させられ、まったく自由のない生活でした。

日本軍が東南アジアで敗走しはじめると、慰安所の女性たちは現地に置き去りにされるか、敗走する軍と運命をとるにすることになりました。

一体どれほどの数の女性たちが日本軍の慰安所に集められたのか、今日でも事実調査は十分にはできていません。一九三九年（昭和十四年）広東周辺に駐屯していた第二三軍司令部の報告では、警備隊長と憲兵隊監督のもとにつくられた慰安所にいる「従業婦人」数ハ概ネ千名内外ニシテ軍ノ統制セルモノ約八五〇名、各部隊郷土ヨリ呼ビタルモ

ノ約一五〇名ト推定ス」とあります。第二三軍だけで一千人だといふのですから、日本軍全体では相当多数の女性がこの制度の犠牲者となったことはまちがいないでしょう。現在研究者の間では、五万人とか、二〇万人とかの推計がだされています。

一九四五年（昭和二十年）八月一五日戦争が終わりました。だが、平和がきても、生き残った被害者たちにはやすらぎは訪れませんでした。ある人々は自分の境遇を恥じて、帰国することをあきらめ、異郷に漂い、そこで生涯を終えました。帰国した人々も傷ついた身体と残酷な過去の記憶をかかえ、苦しい生活を送りました。多くの人が結婚もできず、自分の子供を生むことも考えられませんでした。家族ができて、自分の過去をかくさねばならず、心の中の苦しみを他人に訴えることができないということが、この人々の身体と精神をもつとも痛めつけたことでした。軍の慰安所ですごした数年の経験の苦しみにおとらない苦しみの中に、この人々は戦後の半世紀を生きてきました。

現在韓国では、政府に届けられた犠牲者は一六二名とのことです。フィリピン、インドネシア、台湾、オランダ、朝鮮民主主義人民共和国、中国などの国や地域からも名乗りでている方々がいます。しかし、いずれにしても多くの人がこの世を去ったか、名乗りでることをのぞんでおられないのです。このことも忘れてはならないでしょう。

内閣総理大臣の手紙

拝啓

このたび、政府と国民が協力して進めている「女性のためのアジア平和国民基金」を通じ、元従軍慰安婦の方々へのわが国の国民的な償いが行われるに際し、私の気持ちを表明させていただきます。

いわゆる従軍慰安婦問題は、当時の軍の関与の下に、多数の女性の名誉と尊厳を深く傷つけた問題でございました。私は、日本国の内閣総理大臣として改めて、いわゆる従軍慰安婦として数多の苦痛を経験され、心身にわたり癒しがたい傷を負われたすべてのの方々に対し、心からおわびと反省の気持ちを申し上げます。

我々は、過去の重みからも未来への責任からも逃げるわけにはまいりません。わが国としては、道義的な責任を痛感しつつ、おわびと反省の気持ちを踏まえ、過去の歴史を直視し、正しくこれを後世に伝えるとともに、いわれなき暴力など女性の名誉と尊厳に関わる諸問題にも積極的に取り組んでいかなければならないと考えております。

末筆ながら、皆様方のこれからの人生が安らかなものとなりますよう、心からお祈りしております。

敬具

平成八（一九九六）年

日本国内閣総理大臣 橋本龍太郎

女性のためのアジア平和国民基金理事長の手紙

謹啓

日本国政府と国民の協力によって生まれた「女性のためのアジア平和国民基金」は、かつて「従軍慰安婦」にさせられて、癒しがたい苦しみを経験された貴女に対して、ここに日本国民の償いの気持ちを届けたいと思います。

かつて戦争の時代に、旧日本軍の関与のもと、多数の慰安所が開設され、そこに多くの女性が集められ、将兵に対する「慰安婦」にさせられました。十六、七歳の少女もふくまれる若い女性たちが、そうとも知らされずに集められたり、占領下では直接強制的な手段が用いられることもありました。貴女はそのような犠牲者のお一人だとうかがっています。

これは、まことに女性の根源的な尊厳を踏みにじる残酷な行為でありました。貴女に加えられたこの行為に対する道義的な責任は、総理の手紙にも認められている通り、現在の政府と国民も負っております。われわれも貴女に対して心からお詫び申し上げる次第です。

貴女は、戦争中に耐え難い苦しみを受けただけでなく、戦後も五〇年の長きにわたり、傷ついた身体と残酷な記憶をかかえて、苦しい生活を送ってこられたと拝察いたします。

このような認識のもとに、「女性のためのアジア平和国民基金」は、政府とともに、国民に募金を呼びかけてきました。こころある国民が積極的にわれわれの呼びかけに応え、拠金してくれました。そうした拠金とともに送られてきた手紙は、日本国民の心からの謝罪と償いの気持ちを表しております。

もとより謝罪の言葉や金銭的な支払いによって、貴女の生涯の苦しみが償えるものとは毛頭思いません。しかしながら、このようなことを二度とくりかえさないと国民の決意の徴しるしとして、この償い金を受けとめて下さるようお願いいたします。

「女性のためのアジア平和国民基金」はひきつづき日本政府とともに道義的責任を果たす「償いの事業」のひとつとして医療福祉支援事業の実施に着手いたします。さらに、「慰安婦」問題の真実を明かにし、歴史の教訓とするための資料調査研究事業も実施してまいります。

貴女が申し出てくださり、私たちはあらためて過去について目をひらかれました。貴女の苦しみと貴女の勇気を日本国民は忘れません。貴女のこれからの人生がいくらかでも安らかなものになるようにお祈り申し上げます。

敬具

平成八（一九九六）年

財団法人 女性のためのアジア平和国民基金

理事長 原 文兵衛

目次 (第一卷)

一、警察庁関係公表資料

一	不良分子ノ渡支取締方ニ関スル件〔外務次官〕(昭和12・8・31).....	3
二	上海派遣軍内陸軍慰安所ニ於ケル酌婦募集ニ関スル件〔群馬県知事〕(昭和13・1・19).....	11
三	北支派遣軍慰安酌婦募集ニ関スル件〔山形県知事〕(昭和13・1・25).....	23
四	支那渡航婦女募集取締ニ関スル件〔高知県知事〕(昭和13・1・25).....	25
五	時局利用婦女誘拐被疑事件ニ関スル件〔和歌山県知事〕(昭和13・2・7).....	27
六	上海派遣軍内陸軍慰安所ニ於ケル酌婦募集ニ関スル件〔茨城県知事〕(昭和13・2・14).....	47
七	上海派遣軍内陸軍慰安所ニ於ケル酌婦募集ニ関スル件〔宮城県知事〕(昭和13・2・15).....	53
八	一(一) 支那渡航婦女ノ取扱ニ関スル件〔内務省警保局長通牒案〕(昭和13・2・18).....	55
	八(二) 支那渡航婦女ノ取扱ニ関スル件〔内務省警保局長〕(昭和13・2・23).....	69
九	一(一) 支那渡航婦女ニ関スル件伺〔内務省警保局警務課長・外事課長〕(昭和13・11・4).....	77
	九(二) 南支方面渡航婦女ノ取扱ニ関スル件〔内務省警保局長〕(昭和13・11・8).....	87
十	醜業婦渡支ニ関スル経緯〔内務省〕(不明).....	106

二、外務省關係公表資料

- 一 支那渡航者ニ対スル身分証明書發給ニ関スル件〔福岡県知事〕(昭12・12・15)……………113
- 二(一) 濟南其他膠濟鐵道沿線渡航者取扱方ニ関スル件〔大分県知事〕(昭13・4・25)……………117
- 二(二) 濟南其他膠濟鐵道沿線渡航者取扱方ニ関スル件―回答……………
- 〔外務省亞米利加局長〕(昭13・5・4)……………119
- 三 「漢口攻略後邦人進出ニ対スル応急處理要綱」送付ノ件〔在上海總領事代理〕(昭13・9・28)……………121
- 四(一) 「漢口へノ渡航者取締ニ関スル件」〔在漢口總領事〕(昭14・2・3)……………125
- 四(二) 漢口へノ渡航者取締ニ関スル件〔外務省亞米利加局長〕(昭14・2・7)……………127
- 五(一) 漢口陸軍天野部隊慰安所婦女渡支ノ件〔外務大臣〕(昭14・12・22)……………131
- 五(二) 漢口陸軍天野部隊慰安所婦女渡支ノ件―回答〔在漢口總領事〕(昭14・12・27)……………133
- 六(一) 邦人渡支一時的制限ニ関スル外務省発表〔外務省〕(昭15・5・7)……………135
- 六(二) 渡支邦人暫定處理取扱方針中領事館警察署ノ証明書發給範圍ニ関スル件
- 〔警務部第三課〕(昭15)……………137
- 六(三) 「渡支邦人暫定處理ノ件」打合事項〔不明〕(昭15)……………139
- 七 (軍慰安所従事者ニ対スル身分証明書發給ノ件)〔台湾總督府外事部長〕(昭15・6・1)……………145

- 八―(一) 渡支事由証明書等ノ取寄不能ト認メラル、対岸地域ヘノ渡航者ノ取扱ニ関スル件
 「台湾総督府外事部長」(昭15・9・2)……………147
- 八―(二) 渡支事由証明書等ノ取寄不能ト認メラル、対岸地域ヘノ渡航者ノ取扱ニ関スル件
 「高雄州知事」(昭15・8・23)……………149
- 八―(三) 渡支事由証明書等ノ取寄不能ト認メラル、対岸地域ヘノ渡航者ノ取扱ニ関スル件
 ―回答「台湾総督府外事部長」(昭15・9・2)……………161
- 九―(一) 南洋方面占領地ニ於ケル慰安所開設ニ関スル件「台湾総督府外事部長」(昭17・1・10)……………163
- 九―(二) 南方方面占領地ニ対シ慰安婦渡航方ノ件「外務大臣」(昭17・1・14)……………165
- 十 仏印ヨリ内地、満州国、支那、「タイ」向旅行許可ニ関スル件「在西貢支部長代理」(昭18・2・8)……………167
- 十一 軍従属者ニ対スル旅行許可ノ件「事務総長」(昭18・3・10)……………169
- 十二―(一) 渡支取締方ノ件「台北州知事」(昭14・1・13)……………171
- 十二―(二) 渡支取締方ノ件「台北州知事」(昭14・3・2)……………175
- 十二―(三) 渡支取締方ノ件「台北州知事」(昭14・3・2)……………179
- 十二―(四) 渡支取締方ノ件「台北州知事」(昭14・4・10)……………181
- 十二―(五) 渡支取締方ノ件「台北州知事」(昭14・4・24)……………183
- 十二―(六) 渡支取締方ノ件「台北州知事」(昭14・5・21)……………185

- 十二―(七) 渡支取締方ノ件〔台北州知事〕(昭14・6・19)……………217
- 十二―(八) 渡支取締方ノ件〔台北州知事〕(昭14・7・15)……………189
- 十二―(九) 渡支取締方ノ件〔台北州知事〕(昭14・8・16)……………193
- 十二―(十) 渡支取締方ノ件〔台北州知事〕(昭14・9・13)……………195
- 十二―(十一) 渡支取締方ノ件〔台北州知事〕(昭14・10・13)……………197
- 十二―(十二) 渡支取締方ノ件〔台北州知事〕(昭14・11・15)……………201
- 十二―(十三) 渡支取締方ノ件〔台北州知事〕(昭14・12・11)……………205
- 十二―(十四) 渡支取締方ノ件〔台北州知事〕(昭15・1・18)……………209
- 十二―(十五) 渡支取締方ノ件〔台北州知事〕(昭15・2・24)……………211
- 十二―(十六) 渡支取締方ノ件〔台北州知事〕(昭16・9・27)……………215
- 十三―(一) 渡支取締ニ関スル件〔新竹州知事〕(昭13・12・14)……………219
- 十三―(二) 渡支取締ニ関スル件〔新竹州知事〕(昭14・1・11)……………221
- 十三―(三) 渡支取締ニ関スル件〔新竹州知事〕(昭14・2・15)……………223
- 十三―(四) 渡支取締ニ関スル件〔新竹州知事〕(昭14・3・17)……………227
- 十三―(五) 渡支取締ニ関スル件〔新竹州知事〕(昭14・4・19)……………229
- 十三―(六) 渡支取締方ニ関スル件〔新竹州知事〕(昭14・8・22)……………231

十三―(七)	渡支取締方ニ関スル件〔新竹州知事〕	(昭14・9・12)	233
十三―(八)	渡支取締方ニ関スル件〔新竹州知事〕	(昭14・10・12)	237
十三―(九)	渡支取締方ニ関スル件〔新竹州知事〕	(昭14・11・13)	241
十三―(十)	渡支取締方ニ関スル件〔新竹州知事〕	(昭14・12・13)	245
十三―(十一)	渡支取締方ニ関スル件〔新竹州知事〕	(昭15・1・15)	249
十三―(十二)	渡支取締方ニ関スル件〔新竹州知事〕	(昭15・2・16)	253
十四―(一)	渡支取締方ノ件〔台中州知事〕	(昭14・1・17)	257
十四―(二)	渡支取締方ノ件〔台中州知事〕	(昭14・2・13)	261
十四―(三)	渡支取締方ノ件〔台中州知事〕	(昭14・3・11)	265
十四―(四)	渡支取締方ノ件〔台中州知事〕	(昭14・4・18)	269
十四―(五)	渡支取締方ノ件〔台中州知事〕	(昭14・5・22)	273
十四―(六)	渡支取締方ノ件〔台中州知事〕	(昭14・6・12)	275
十四―(七)	渡支取締方ノ件〔台中州知事〕	(昭14・7・18)	279
十四―(八)	渡支取締方ノ件〔台中州知事〕	(昭14・8・11)	283
十四―(九)	渡支取締方ノ件〔台中州知事〕	(昭14・10・12)	287
十四―(十)	渡支取締方ノ件〔台中州知事〕	(昭14・12・9)	291

十四―(二)	渡支取締方ノ件〔台中州知事〕	(昭15・1・17)	295
十四―(三)	渡支取締方ノ件〔台中州知事〕	(昭16・8・18)	299
十五―(一)	渡支取締ニ関スル件〔高雄州知事〕	(昭14・2・14)	301
十五―(二)	渡支取締ニ関スル件〔高雄州知事〕	(昭14・3・22)	303
十五―(三)	渡支取締ニ関スル件〔高雄州知事〕	(昭14・4・12)	305
十五―(四)	渡支取締ニ関スル件〔高雄州知事〕	(昭14・5・12)	307
十五―(五)	渡支取締ニ関スル件〔高雄州知事〕	(昭14・6・13)	309
十五―(六)	渡支取締ニ関スル件〔高雄州知事〕	(昭14・7・25)	313
十五―(七)	渡支取締ニ関スル件〔高雄州知事〕	(昭14・8・22)	315
十五―(八)	渡支取締ニ関スル件〔高雄州知事〕	(昭14・9・18)	319
十五―(九)	渡支取締ニ関スル件〔高雄州知事〕	(昭14・10・14)	323
十五―(十)	渡支取締ニ関スル件〔高雄州知事〕	(昭14・11・16)	327
十五―(十一)	渡支取締ニ関スル件〔高雄州知事〕	(昭14・12・20)	331
十五―(十二)	渡支取締ニ関スル件〔高雄州知事〕	(昭15・1・15)	335
十五―(十三)	渡支取締ニ関スル件〔高雄州知事〕	(昭15・2・19)	339
十五―(十四)	渡支取締ニ関スル件〔高雄州知事〕	(昭16・8・25)	343

十五―(五)	渡支取締ニ関スル件〔高雄州知事〕(不明)	347
十五―(六)	渡支取締ニ関スル件〔高雄州知事〕(不明)	351
十五―(七)	渡支取締ニ関スル件〔高雄州知事〕(不明)	353
十六―(一)	渡支取締ニ関スル月報(一月分)〔台東庁〕(昭14?)	355
十六―(二)	渡支取締月報(二月分)〔台東庁〕(昭14?)	359
十六―(三)	渡支取締ニ関スル月報(三月分)〔台東庁〕(昭14?)	363
十六―(四)	渡支取締ニ関スル月報(四月分)〔台東庁〕(昭14?)	367
十六―(五)	渡支取締ニ関スル月報(五月分)〔台東庁〕(昭14?)	371
十六―(六)	渡支取締ニ関スル月報(六月分)〔台東庁〕(昭14?)	375
十六―(七)	渡支取締ニ関スル月報(七月分)〔台東庁〕(昭14?)	379
十六―(八)	渡支取締月報(八月分)〔台東庁〕(昭14?)	383
十六―(九)	渡支取締月報(九月分)〔台東庁〕(昭14?)	387
十六―(十)	渡支取締月報(十月分)〔台東庁〕(昭14?)	391
十六―(十一)	渡支取締月報(十一月分)〔台東庁〕(昭14?)	395
十六―(十二)	渡支取締方ノ件〔台東庁長〕(昭15・1・17)	399
十六―(十三)	渡支取締月報〔台東庁長〕(昭15・2・14)	403

- 十七―(一) 渡支取締ニ関スル件〔台南州知事〕(昭14・1・20)……………407
- 十七―(二) 渡支取締ニ関スル件〔台南州知事〕(昭14・9・6)……………409
- 十七―(三) 渡支取締ニ関スル件〔台南州知事〕(昭14・12・12)……………413
- 十七―(四) 渡支取締ニ関スル件〔台南州知事〕(昭15・2・26)……………417
- 十八 渡支取締方ノ件〔花蓮港庁長〕(昭14・10・14)……………421
- 十九―(一) 渡支取締ニ関スル件〔澎湖庁長〕(昭14・2・7)……………425
- 十九―(二) 渡支取締ニ関スル件〔澎湖庁長〕(昭14・5・9)……………427
- 十九―(三) 渡支取締ニ関スル件〔澎湖庁長〕(不明)……………429
- 二十 昭和十年在上海総領事館警察事務状況〔同警察署長報告摘録〕(昭10)……………431
- 二十一 昭和十一年中ニ於ケル在留邦人ノ特種婦女ノ状況及其ノ取締〔在上海総領事館警察署沿革誌ニ依ル〕(昭11)……………435
- 二十二 昭和十一年在上海総領事館警察事務状況〔同警察署長報告摘録〕(昭11)……………439
- 二十三 昭和十二年在上海総領事館警察事務状況〔同警察署長報告摘録〕(昭12)……………443
- 二十四 昭和十三年中ニ於ケル在留邦人ノ特種婦女ノ状況及其ノ取締並ニ租界当局ノ私娼取締状況〔在上海総領事館警察署沿革誌ニ依ル〕(昭13)……………447
- 二十五 昭和十三年在上海総領事館警察事務状況〔同警察署長報告摘録〕(昭13)……………453

二十六	在上海總領事館ニ於ケル特高警察事務狀況〔昭12・12〕	459
二十七	「在天津總領事館塘沽出張所警察署警察史」抜粹〔昭12・1・12〕	463
二十八	昭和十三年在漢口總領事館警察事務狀況〔同警察署長報告摘録〕〔昭13〕	467
二十九	昭和十三年在南京總領事館蕪湖分館警察事務狀況〔同警察署長報告摘録〕〔昭13〕	469
三十	昭和十三年在杭州領事館警察事務狀況〔同警察署長報告摘録〕〔昭13〕	473
三十一	「外務省警察史 在九江領事館」抜粹〔昭13〕	477
三十二	「外務省警察史 在南京總領事館」抜粹〔昭13〕	479
三十三	「海口總領事館警察署瓊山派遣所警察史」抜粹〔昭15〕	483
三十四―(一)	邦人出国者統計表進達ノ件〔在山海關副領事〕〔昭15・6・15〕	487
三十四―(二)	邦人渡支狀況ニ関スル件〔在山海關副領事〕〔昭15・7・19〕	491
三十四―(三)	邦人出国者統計報告ノ件〔在山海關副領事〕〔昭15・8・14〕	495
三十五	渡支邦人暫定処理ニ関スル統計報告方ノ件〔在漢口總領事〕〔昭15・10・3〕	501
三十六―(一)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計表〔四月〕送付ノ件〔在広東總領事〕〔昭16・5・10〕	505
三十六―(二)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件〔在広東總領事〕〔昭16・6・11〕	509
三十六―(三)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件〔在広東總領事代理〕〔昭16・7・21〕	511

三十六一(四)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件	[在広東総領事]	(昭16・8・12)	513
三十六一(五)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件	[在広東総領事]	(昭16・9・8)	515
三十六一(六)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件	[在広東総領事]	(昭16・10・9)	517
三十六一(七)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件	[在広東総領事]	(昭16・11・11)	519
三十六一(八)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件	[在広東総領事]	(昭16・12・16)	521
三十六一(九)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件	[在広東総領事]	(昭17・4・20)	523
三十六一(十)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件	(月報) [在広東総領事]	(昭17・5・19)	525
三十六一(十一)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件	[在広東総領事]	(昭17・6・26)	527
三十六一(十二)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件	[在広東総領事]	(昭17・7・16)	529
三十六一(十三)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件	[在広東総領事]	(昭17・10・27)	531
三十七一(一)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件	[在廈門総領事]	(昭16・8・9)	533
三十七一(二)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件	[在廈門総領事]	(昭16・9・5)	537
三十七一(三)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件	[在廈門総領事]	(昭16・11・7)	539
三十七一(四)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件	[在廈門総領事]	(昭17・1・17)	541
三十七一(五)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件	[在廈門総領事代理]	(昭17・4・11)	543
三十七一(六)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件	[在廈門総領事]	(昭17・5・12)	545

三十七(七)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件〔在廈門總領事〕(昭17・10・13)	547
三十八(一)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件〔在汕頭領事〕(昭16・12・11)	549
三十八(二)	渡支邦人暫定処理ニ関スル各種統計報告ノ件〔在汕頭領事〕(昭17・4・6)	551
三十九(一)	渡支暫定処理ニ関スル各種統計表送付ノ件〔在海口總領事代理〕(昭16・11・7)	553
三十九(二)	渡支暫定処理ニ関スル各種統計表送付ノ件〔在海口總領事代理〕(昭16・12・10)	557
四十	本邦人職業別表送付ノ件〔在漢口總領事〕(昭13・12・3)	561
四十一	在支邦人職業別人口統計表提出ノ件〔在廈門總領事〕(昭14・9・27)	565
四十二	九江在留邦人職業別人口統計表提出ノ件〔在南京總領事〕(昭13・11・8)	569
四十三(一)	在留民職業別人口統計表進達ノ件〔在九江領事代理〕(昭14・2・20)	573
四十三(二)	九江在留民職業別人口報告ノ件〔在九江領事代理〕(昭14・3・6)	577
四十三(三)	九江在留民職業別人口統計表進達ノ件〔在九江領事代理〕(昭14・4・15)	581
四十三(四)	九江在留民職業別人口統計表進達ノ件〔在九江領事代理〕(昭14・5・4)	585
四十三(五)	在留民職業別人口統計表進達ノ件〔在九江領事代理〕(昭14・6・1)	589
四十三(六)	在留民職業別人口統計表進達ノ件〔在九江領事代理〕(昭14・8・7)	593
四十三(七)	在留邦人職業別人口統計表進達ノ件〔在九江領事代理〕(昭14・9・9)	597
四十四(一)	南昌在留邦人職業別人口統計報告ノ件〔在九江領事代理〕(昭14・8・9)	601

四十四—(二)	南昌居留民職業別人口統計表〔在九江日本領事館警察署南昌分署〕	(昭14・9・1)	605
四十五—(一)	在留邦人人口統計職業別報告ノ件〔在蕪湖副領事〕	(昭14・4・4)	607
四十五—(二)	在留邦人人口統計職業別報告ノ件〔在蕪湖副領事〕	(昭14・6・2)	611
四十五—(三)	在留邦人人口統計職業別報告ノ件〔在蕪湖副領事〕	(昭14・7・4)	613
四十五—(四)	在留邦人人口統計職業別報告ノ件〔在蕪湖副領事〕	(昭14・8・2)	617
四十五—(五)	在留邦人人口統計職業別報告ノ件〔在蕪湖副領事〕	(昭14・9・3)	621
四十六	杭州在留邦人營業種別並ニ投資額一覽表送付ノ件〔在杭州領事代理〕	(昭14・2・24)	625

警察庁関係公表資料

秘

①不良分子ノ渡支取締方ニ關スル件〔外務次官〕(昭12・8・31)

寫

米三機密合第三七七六號

昭和十二年八月三十一日

外務次官 堀 内 謙 介

不良分子ノ渡支取締方ニ關スル件

從來支那ニ渡航スルニハ旅券ノ必要ナク自由ナリシ處今回ノ日支事變ニ關聯シ支那在留邦人ハ多數引揚ケ其ノ遺留財産ニ對スル保護警戒等モ行涉リ兼ヌル今日或ハ殘留セル邦人ヲ煽動シテ事ヲ爲サントシ或ハ混亂ニ紛レテ一儲セントスル等ノ無類不良ノ徒ノ支那渡航ハ此際嚴ニ之ヲ取締ルノ必要アリ既ニ滿洲國及

内務省

關東州ニ於テハ夫々之カ措置ヲ爲シ又關係在支帝國公館ヨリモ右取締方申越ノ次第アリタルニ付テハ追テ何分ノ義申進スル迄今後當分ノ間支那ニ渡航セントスル(一)一般本邦人ニ對シテハ所轄警察署長ヨリ(二)又公務ノ爲派遣セララル者ニ對シテハ派遣官公署ヨリ別紙手續ニ依リ身分證明書ヲ發給スルコトトシ右身分證明書ヲ有スルカ又ハ正式旅券ノ發給ヲ受ケタル者ノ外ハ支那ニ向ケ乗船セシメサル様御取扱相成度而シテ右身分證明書ノ發給ニ關シテハ前記ノ趣旨ニ依リ業務上又ハ家庭上其ノ他正當ナル目的ノ爲至急渡支ヲ必要トスル者ノ外ハ此際可成自發的ニ渡支ヲ差控ヘシムルコトニ御取計相成以テ在支皇軍ノ軍後方地區ノ治安確保ニ協力相成様致度尙本件ノ趣旨ハ一般ニ周知方可然

御取計相成度右關係官廳下モ協議ノ上依命此段申進ス

本信送付先 警視總監、各地方長官、關東州廳長官

本信寫送付先 內閣書記官長、法制局長官、賞勳局總裁、資

源局長官、對滿事務局次長、企劃廳次長、樞密院書記官長、

官內次官、各省次官、社會局長官、貿易局長官、特許局長

官、會計檢査院長、行政裁判所長官、貴族院書記官長、衆

議院書記官長、日本郵船會社社長、大阪商船會社社長

支那渡航取扱手續

一 日本内地及各殖民地ヨリ支那ニ渡航スル日本人（朝鮮人及臺灣籍民ヲ含ム）ニ對シテハ當分ノ間居住地所轄警察署長ニ於テ甲號様式ノ如キ身分證明書ヲ發給スルモノトス

但シ制服着用ノ日本軍人軍屬ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ身分證明書ハ公務ノ爲派遣セララル官吏其ノ他ノ者ニ對シテハ派遣官公署ニ於テ乙號様式ニ依リ之ヲ發給スルモノトス

ニ 警察署長第一項ノ身分證明書ノ下付願出アリタルトキハ本人ノ身分、職業、渡航目的、要件、期間等ヲ調査シ左ノ通取扱

内務省

(1) 素性、經歷、平素ノ言動等不良ニシテ渡支後不正行爲ヲ爲

スノ虞アル者ニ對シテハ身分證明書ヲ發給セス

(2) 業務上家庭上其ノ他正當目的ノ爲至急渡支ヲ必要トスル者

以外ノ者ニ對シテハ可成自發的ニ渡支ヲ差控ヘシムルモノ

トス

三 出發港所轄警察署長ハ第一項ノ身分證明書又ハ帝國政府發給

ノ旅券ヲ有スル者ニ非ラサレハ支那ニ向ケ乗船セシメサルモノ

トス

四 本身分證明書ノ發給ニ對シテハ手数料ヲ徵收セス

五 本手續ハ支那行外國旅券ノ發給ヲ妨クルモノニ非ス

六 本手續ハ支那現地ノ事態ノ許ス限り可及的速ニ之ヲ解除スル

モノトス

七 本手續ハ即時施行ス

但シ第三項ニ關スル限り昭和十二年九月十日ヨリ之ヲ施行
スルモノトス

内務省

(甲種格式)

身分證明書

本籍

現住所

職業

氏名

生年月日

一 支那へ渡航す必要とする目的、理由、期間

右證明ス

昭和十二年 月 日

警察署長 官氏名 圖

内務省

寫

(乙號樣式)

身分證明書

官 職

氏 名

生 年 月 日

一支那へ渡航ヲ必要トスル目的、用務

右證明ス

昭和十二年 月 日

(派遣官公署) 官 職 氏 名 印

内 務 省

②上海派遣軍内陸軍慰安所ニ於ケル酌婦募集ニ關スル件〔群馬県知事〕(昭13・1・19)

保第二〇二號

昭和十三年一月十九日

群馬縣知事

(警務部長)

内務大臣 陸軍大臣

北海道廳長 警視總監

各府縣官 各師團旅司令部官

高崎師團司令部官 高崎師團司令部官

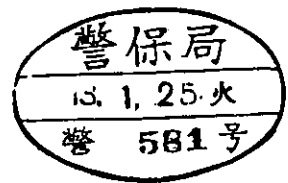
高崎師團司令部官 (縣下各警務署長)

上海派遣軍内陸軍慰安所ニ於ケル酌婦募集ニ關スル件

神戶市

貸座敷業 六 丙

右者肩書地ニ於テ娼妓數十名ヲ抱エ貸座敷業ヲ爲シ居ル由ナルカ今回支那軍機ニ出征シタル將兵慰安トシテ在上海陸軍特務機關ノ依頼ナリト稱シ上海派遣軍内陸軍慰安所ニ於テ



酌婦稼桑（酬華）ヲ爲ス酌婦三千人ヲ必要ナリト稱シ本年一月五日之力募集ノ爲

管下前橋市

藝妓酌婦等紹介券 反町

方ヲ訪レ其ノ後屢々來橋別記一件誓箱（契約誓）（一號）承諾誓（二號）借用證誓（三號）契約條件（四號）一ヲ示シ酌婦募集方ヲ依頼シタル旨旨アルモ本件ハ果シテ軍ノ依頼アルヤ否ヤ不明且公秩良俗ニ反スルカ如キ事案ヲ公々然ト吹懸スルカ如キハ皇軍ノ威信ヲ失墜スルモ甚シキモノト認メ嚴重取締方所轉前橋警察署ニ對シ指彈致簡候條此段及申（通）報候也

尙大内 〇ノ音動左記ノ通ニ付申添候

追而兵庫（費）縣ニ於テハ相當取締ノ上結果何分ノ強迫報相煩ハシ度

（縣下各警察署長ニ在リテハ嚴重取締セラルヘン）

記

日支事變ニ依ル出征將兵モ既ニ在支數ヶ月ニ及ビ戰モ耐ハナ處ハ終ツタ爲一時駐屯ノ体弱トナツタ爲將兵カ支那酬華婦ト遊テ爲病氣ニ掛ルモノカ非常ニ多ク軍醫務局テハ戰爭ヨリ寧口此ノ花柳病ノ方カ恐シイト云フ様ナ情況テ其處ニ此ノ施設問題力起ツタモノテ在上海特務機關カ吾々筆者ニ依頼スル處トナリ關係

ヲ通シテ約三千名ノ酌婦ヲ募集シテ送ルコトトナツタノテ既ニ本問題ハ昨年十二月中旬ヨリ實行ニ移リ目下二百名ハ稼穡中デアリ兵庫縣ヤ備西方面テハ縣當局モ諒解シ應援シテキル、醫藥ハ吾々募者カ出張シテヤルノテ軍カ直接ヤルノテハナイカ敢初ニ別紙壹花券（兵士用二圓將校用五圓）ヲ軍隊ニ管藥者側カラ納メテ置き之レヲ軍テ各兵士ニ配布之ヲ使用シタ場合吾々募者ニ各將兵カ渡スコト、シ之レヲ取廻メテ軍經理部カラ其ノ使用料金ヲ受取ル仕組トナツテキテ直接將兵ヨリ現金ヲ取ルノテハナイ軍ハ軍トシテノ慰安費撥ノモノカラ其ノ費用ヲ支出スルモノラシイ

何レニシテモ本月廿六日ニハ第二回ノ酌婦ヲ軍用船テ（神戸發）送ル心算テ目下募集集中デアル云々、

(一號) 契約證

一、稼業年限

二、契約金

三、上海派遣軍内陸軍慰安所ニ於テ酌量稼業ヲ爲スコト

四、賞與金ハ揚高ノ一割トス(但シ半額ヲ貯蓄スルコト)

五、食費衣費及消耗品ハ抱主ノ負擔トス

六、年限途中ニ於テ解約ノ場合ニハ元金發額違約金及抱入當時ノ諸費用一切ヲ即時支拂ヒ

スヘキコト

右契約條項確守履行仕ル可ク依而契約證書如件

昭和 年 月 日

現 現 本
住 住 籍
所 所 地

政 運 旅
務 務 務
人 人 人

(三號)

承 継 者

本 籍

住 所

稼 業 人

年 月 日 生

右ノ者前線ニ於ケル貴殿指定ノ陸軍慰安所ニ於テ酌婦稼業(娼妓向様)ヲ爲ス事ヲ承継仕候也

昭和 年 月 日

石戸主又ハ親權者

稼 業 人

(三號) 金員借用證

一金

右之金員拙者要用ニ付キ正ニ請取借用仕候事實正也然ル上ハ返濟方法ハ別紙契約誓ニ基キ
 酌量稼穡ヲ爲シ御返濟申ス可ク萬一本人ニ於テ契約不履行ノ節ハ拙者等
 連帶者ニ於テ速カニ御返金仕ル可ク爲後日借用證誓依而如件

昭和 年 月 日

本籍地

現住所

現
住
所

借
用
主

遞
帶
者

股

(四號)

拜啓年内餘日も無之唯御繁忙の事と奉存候陳者今回御事の御了解の元に中支方面に皇軍
將士慰安を目的とする慰安所設立致す事と相成り在之條件を以て約五百名の酌婦を募集
致候に付何卒大至急御手配煩シ度御報知次第直ちに出張可仕候間御一報被下度奉願候

昭和十一年十二月廿八日

六 丙

段

條 件

一、契約年限

滿二ケ年

二、前借金

五百圓ヨリ千圓迄

但シ右前借金ノ内二割ヲ控除シ身付金及乘込費ニ充當ス

二年 結婚

滿十六歳ヨリ三十才迄

一、身体壯健ニシテ親権者ノ承諾ヲ要ス但シ嫁女籍ニ在ル者ハ雷家ノ承諾ナキモ妻支ナシ

二、前借金返済方法ハ年限完了ト同時ニ消滅ス

三、即チ年期中假令病氣休業スルトモ年満了ト同時前借金ハ完済ス

四、利息ハ年期中ナシ途中廢業ノ場合ハ殘金ニ對シ月費歩

一、前借金ハ一ケ年內前借金額ノ一割

二、年満了中廢業ノ場合ハ日割計算トス

三、結婚ハ嫁高ノ一割ヲ本人所得トシ毎月支給ス

四、年満了後了ノ場合ハ本人嫁高ニ應シ即分ノ慰勞金ヲ支給ス

五、衣類、縫具食料入浴料醫藥費ハ抱主負擔トス

口	營 業 者 控
口	元 締 控
口	派 遣 軍 慰 安 所 花 券
口	派 遣 軍 慰 安 所 壹 花 券 金 貳 圓
	本 券 一 枚 御 一 名 限

イ	營 業 者 控
イ	元 締 控
イ	派 遣 軍 慰 安 所 花 券
イ	派 遣 軍 慰 安 所 壹 花 券 金 五 圓
	本 券 一 枚 御 一 名 限

滋保親第一郎ノ内

昭和十三年一月二十五日

山形縣知事 武井群

（山形縣警察部 警長 嗣保局）

13. 1. 27. 木 警 665号

内務大臣 末次信正殿
陸軍大臣 杉山 元殿

警視總監殿
各廳府縣長官殿

（縣下各警察署長 新庄ヲ除ク）

北支派遣軍慰安酌婦募集ニ關スル件

神戸市

貸座敷 犬内

管下最上郡新庄町櫻馬場藝娼妓酌婦紹介業者
戸塚 [] ハ右者ヨリ一今般北支派遣軍ニ於テ
將兵慰問ノ為 全國ヨリ二千五百名ノ酌婦ヲ募集
集スルコト、ナリタル趣ヨリ五百名ノ募集方依頼

越下リ、該酌婦ハ年令十六才三才迄前借ハ
 五百田ヨリ、子田迄稼業年限ニテ年之カ紹介手
 数料ハ前借金ノ一割ヲ軍部ニ於テ支給スルモノナ
 リ云々ト称シタルヲ所轄新庄警察署ニ於テ階
 知シタルカ如斯ハ軍部ニ方對シテハ俄カニ信シ
 難キ、ナラス斯ル事案カ公然流布セラルハ、於
 テハ銃後ノ一般民心殊ニ應召家庭ヲ字ル婦女
 子ノ精神上ニ及ホエ惡影響甚カラス更ニ一般婦
 女身賣防止ノ精神ニモ及スルモノトシテ所轄警察
 署長ニ於テ右ノ趣旨ヲ本人ニ懇諭シタルニ之ヲ
 諒得シ且ツ本人老齡ニシテ活動意ニ委セサル等
 事情ヨリ之カ募集ヲ断念シ曩ニ送付アリタル一
 切ノ書類ヲ前記大内ニ返送シタル状況ニ有之候
 右及申(通)報候也

(縣下警察署長ニ於テハ参照ノ上取締上遺憾ナ
 キヲ期セシムベシ)

④支那渡航婦女募集取締ニ関スル件「高知県知事」(昭13・1・25)

保登第ニ四并

昭和十三年一月二十五日

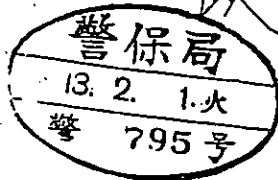
高知県知事 小林光政

内務大臣 末次信正

各廳府縣知事

支那渡航婦女募集取締ニ関スル件

最近支那渡航婦女募集者簇出ノ傾向アリ之等
ハ主トシテ渡支後醜業ニ従事セシムルヲ目的トスルモノ
ニシテ一面軍ト聯絡ノ下ニ募集スルモノ、如キ言辞ヲ
弄_レ己等不都合ノモノ有之依而之ガ取締ニ関シ別
記ノ通り通牒ヲ発シ候条一變由参考迄ニ及申(通)



報候也

記

支那各地ニ於ケル治安ノ恢復ト共ニ各地ニ於ケル企業者
 簇出シ之ニ伴ヒ藝妓給仕婦等ノ進出亦夥シク中ニハ
 軍当哥ト聯絡アルカノ如ク言辭ヲ弄シ之等疫航婦女
 子ノ募集ヲ為スモノ等漸増ノ傾向ニ有之候處軍人感
 信ニ與スル言辭ヲ弄スル募集者ニ就テハ絶對之ヲ禁止シ又
 醜業ニ從事スルノ目的ヲ以テ疫航セントスルモノニ對シテハ身
 許証明書ヲ発給セザルニトニ取扱相成度

寫 ⑤時局利用婦女誘拐被疑事件ニ關スル件「和歌山県知事」(昭13・2・7)

刊 第三〇三號

(昭和十二年二月七日は十三年二月七日の間違ひ)

昭和十二年二月七日

和歌山縣知事

(警察部長)

内務省警保局長 殿

(縣下各警察署長殿)

時局利用婦女誘拐被疑事件ニ關スル件

當縣下田邊警察署ニ於テ標記事件發生之カ取調狀況左記ノ通ニ有之候條此段及申報候也

(縣下ハ參考ノ上取締ニ資スルト共ニ爾後同様犯罪アリタル場合ハ搜查着手前報告セラルベシ)

内務省

記

一 事件認知ノ狀況

昭和十三年一月六日午後四時頃管下田邊町大字神子濱通稱文里飲食店街ニ於テ三名ノ舉動不審ノ男徘徊シアリ注意中ノ處内二名ハ文里水上派出所巡查ニ對シ疑ハシキモノニ非ス軍部ヨリノ命令ニテ上海皇軍慰安所ニ送ル酌婦募集ニ來リタルモノニシテ參千名ノ要求ニ對シ七十名ハ昭和十三年一月三日陸軍御用船ニテ長崎港ヨリ憲兵護衛ノ上送致濟ナリト稱シ立出タリトノ巡查報告アリ真相ニ不審ヲ抱キ情報係巡查ヲシテ捜査セシムルニ文里港料理店萬亭事中共
 方ニ登樓シ酌婦ヲ呼ヒ酌セシメツ、上海行キヲ薦メツツアリテ交渉方法ニ付

キ無智ナル婦女子ニ對シ金儲ケ良キ點軍隊ノミヲ相手ニ慰問
シ食料ハ軍ヨリ支給スル等誘拐ノ容疑アリタルヲ以テ被疑ヲ
同行取締ヲ開始シタリ

ニ事件取調ノ狀況

被疑者ヲ取締タルニ

大阪市

貸席業

佐賀

當四十五年

大阪市

貸席業

金澤

當四十二年

内務省

海南市

紹介業 平岡

當四十年

ト自供シ金澤

ノ自供ニ依レバ昭和十二年秋頃

大阪市

會社重役 小西

神戸市

貸席業 中野

大阪市

貸席業 藤村

ノ三名ハ陸軍御用商人氏名不詳某ト共上京シ徳久少佐ヲ介シ

内務省

荒木大將、頭山滿ト會合ノ上上海皇軍ノ風紀衛生上年内ニ内地ヨリ三千名ノ娼婦ヲ送ル事トナリ詳シキ事情ヲ知ラサルカ藤村、小西ノ兩名ニテ七十名ヲ送リタルカ九條警察署（大阪府）長、長崎縣外事課ニ於テ便宜ヲ受ケタリ

上海ニ於テハ情交金將校五圓、下士貳圓ニテ二年後軍ノ引揚ト共ニ引揚クルモノニシテ前借金ハ八百圓迄ヲ出シ募集ニ際シ藤村 [] ノ手先トシテ和歌山縣下ニ入込ミ勝手ヲ知ラサル爲右事情ヲ明シ平岡 [] ニ案内セシメ御坊町ニ於テ

當二十六年

當二十八年

ノ兩名ヲ [] ハ前借金四百七拾圓、 [] ハ前借金參百六拾二圓ヲ支拂ヒ海南市平岡 [] 方ニ預ケアリト自供セリ

依テ九條警察署關係ヲ照會スルト共ニ真相ヲ明ニスル爲メ [] 等ヲ同行シ事情ヲ聽取スルニ金澤 [] 自供ノ如ク誘拐方法ヲ供述セリ

三 身柄ノ處置

照會ニ依リ被疑者三名ノ身元ノミ判明シタルカ皇軍慰問所ノ有無不明ナルガ九條警察署ニ於テ酌婦公募證明ヲ出シタル事實判明疑義ノ點多クアリ真相確認後ニ於テ取調ヲ爲スモ被疑者 込 走證 込 淫滅ノ虞ナシト認メ所轄檢事ニ報告ノ上

被害者

[Redacted]

〃

[Redacted]

〃

[Redacted]

被疑者 平

岡

[Redacted]

關係人 中 井

[Redacted]

〃 弓 倉

[Redacted]

ノ聽取ニ止メ一月十日身柄ヲ釋放セルモ何時ニテモ出頭方齎

旨セシメタリ

四 關係方面照會狀況

長崎縣外事課及大阪府九條警察署ニ照會シタルニ左記ノ通り

回答アリタリ

内務省

記

(一)長崎縣外事課ヨリノ回答

十三外親第一七〇〇號

昭和十三年一月二十日

長崎縣外事警察課長

和歌山縣刑事課長殿

事實調査方件回答

大阪市

貸席業 佐賀

外 二名

右者婦女誘拐ノ嫌疑ヲ以テ御取調ノ趣ニテ皇軍將兵慰安婦

内務省

女ノ渡滬ニ關スル事實調査方本月十八日付刑第三〇三號ヲ以テ御照會相成候處本件ニ關シテハ客年十二月二十一日付ヲ以テ在上海日本總領事館警察署長ヨリ本縣長崎水上警察署長宛左記ノ如ク依頼越シタルヲ以テ本縣ニ於テハ右依頼狀ニ基キ

一本人ノ寫眞二枚ヲ添付セル臨時酌婦營業許可願

一承諾書

一印鑑證明書

一戶籍謄本

一酌婦稼業者ニ對スル調査書

ヲ所持シ合法的雇傭契約ニ依リ渡滬スルモノト認メラル

モノト認メラルモノニ對シテハ渡滬ヲ許可致居候條
 此段及回答候也

皇軍將兵慰安婦女渡來ニツキ便宜

供與方依頼ノ件

本件ニ關シ前線各地ニ於ケル皇軍ノ進展ニ伴ヒ之カ將兵ノ慰
 安方ニ付關係諸機關ニ於テ考究中ノ處頃日來當館陸軍武官室
 帝兵隊合議ノ結果施設ノ一端トシテ前線各地ニ軍慰安所（事
 實上ノ貸座敷）ヲ左記要領ニ依リ設置スルコトトナレリ

記

領事館

(1) 營業願出者ニ對スル許可ノ決定

內務省

(ロ)慰安婦女ノ身許及斯業ニ對スル一般契約手續

(ハ)渡航上ニ關スル便宜取計

(ニ)營業主並婦女ノ身元其他ニ關シ關係諸官署間ノ照會並同

答

(内)着港下同時ニ當地ニ滞在セシメサルヲ原則トシテ許否決

定ノ上直ニ憲兵隊ニ引繼クモノトス

憲兵隊

(イ)領事館ヨリ引繼ヲ受ケタル營業主並婦女ノ就業地輸送手

續

(ロ)營業者並稼業婦女ニ對スル保護取締

武官室

内務省

(1) 就業場所及家屋等ノ準備

(四) 一般保健並檢懲ニ關スル件

右要領ニ依リ施設ヲ急キ居ル處既ニ稼業婦女(酌婦)募集ノ爲本邦内地並朝鮮方面ニ旅行中ノモノアリ今後モ同様要務ニテ旅行スルモノアル筈ナルカ之等ノモノニ對シテハ當館發給ノ身分證明書中ニ事由ヲ記入シ本人ニ携帶セシメ居ルニ付乘船其他ニ付便宜供與方御取計相成度尙着流後直ニ就業地ニ赴ク關係上募集者抱主又ハ其ノ代理者等ニハ夫々斯彙ニ必要ナル書類(左記雛形)ヲ交付シ豫メ書類ノ完備方指示シ置キタルモ整備ヲ缺クモノ多カルヘキヲ豫想サルト共ニ着流後煩雜ナル手續ヲ繰返スコトナキ様致度ニ付一應携帶書類御査閱

ノ上御援助相煩度此段御依頼ス

前線陸軍慰安所營業者ニ對スル注意事項

前線陸軍慰安所ニ於テ稼業スル酌婦募集ニ赴キ同伴同范セム
トスルトキハ豫メ左記必要書類ヲ整へ着范ト同時ニ當館ニ願
出許可ヲ受クヘシ

若シ必要書類具備セサル場合ハ許可セサルト共ニ直ニ歸潑セ
シムルコトアルベシ

記

一本人寫眞二枚添付セル臨時酌婦營業許可願各人別ニ壹通（

様式第一號）

一承諾書（様式第二號）

内務省

一 印鑑證明書

一 戶籍謄本

一 酌婦稼業者ニ對スル調査書（様式第三號）

昭和十二年十二月二十一日

在上海日本總領事館警察署

內務省

樣式第一號

臨時酌婦營業許可願

本籍

現住所

營業場所

家號

妻名

本名

生 年 月 日

右者今般都合ニ依リ前記場所ニ於テ臨時酌婦營業致度候條御許
可相成度別紙承諾書、印鑑證明、戶籍謄本調査書並寫眞二枚相

內務省

添抱主連署ノ上此段及奉願候也

昭和 年 月 日

右 本 ノ 何 某 印

抱 主 何 某 印

在 上 海

日 本 總 領 事 館 御 中

內 務 省

(様式第二號)

承 諾 書

本 籍
住 所

稼 業 人

生 年 月 日

右ノ者前線ニ於ケル貴股指定ノ陸軍慰安所ニ於テ酌婦稼業(娼妓同様)ヲ爲スコトヲ承諾仕候也

昭和 年 月 日

右戸主又ハ親權者 何 某團

稼 業 人 何 某團

天 傍 首

(様式第三號)

酌婦稼業者何某ニ對スル調査書(調査者)

前居住地及來 年月日

現住所

教育程度經歷

酌婦稼業ヲ爲スニ至リタル理由

刑罰ニ處セラレタル存否

兩親又ハ内縁ノ夫ノ有無其ノ職業

別借金額

參考事項

備考

以上

内務省

(大阪九條警察署長ヨリノ田邊署長宛回答)

拜啓 唐突ノ儀御赦シ被下度候

陳者此ノ度上海派遣軍慰安所從業酌婦募集方ニ關シ内務省ヨリ
非公式ナガラ當府警察部長ヘ依頼ノ次第モ有之當府ニ於テハ相
當便宜ヲ與ヘ既ニ第一回ハ本月三日渡航セシメタル次第ニテ目
下貴管下ヘモ募集者出張中ノ趣ナルカ左記ノ者ハ當署管内居住
者ニシテ身元不正者ニ非サル者關係者ヨリ願出候ニ就キ之カ事
實ニ相違ナキ點ノミ小職ニ於テ證明書致候間可然御取計願上候

敬 具

記

金 澤

内 務 省

一月八日夜

大阪府九條警察署長

山 崎 石 雄 印

和歌山縣

田邊警察署長 殿

内務省

⑥上海派遣軍内陸軍慰安所ニ於ケル酌婦募集ニ関スル件「茨城県知事」(昭13・2・14)

保發第四四號

昭和十三年二月十四日

茨城縣知事

(警察部長)

内務大臣 殿

陸軍大臣 殿

各廳府縣長官 殿

水戸聯隊區司令官 殿

水戸土浦憲兵分隊長 殿

縣下各警察署長 殿

上海派遣軍内陸軍慰安所ニ於ケル酌婦

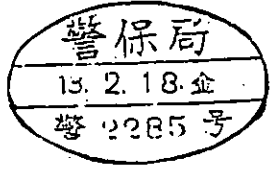
募集ニ関スル件

神戸市

貸座敷營業

大内

右者肩書地ニ於テ貸座敷營業中ノ由ナルカ各月



十九日水戸市

料理店來新幸伊藤

方ニ綴業中ノ酌婦ニシテ

本籍千葉縣

(前借六四二月)

大正三年十月二十日生

本籍山形縣

(前借六九一月)

大正三年二月十四日生

ノ阿名ヲ上海ニ於テ酌婦綴業セシムベク募集シ今日
神戸ニ向ケ出發シタル事實有之右募集ノ経緯ヲ調

査スルニ大内 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇
ノ出生ニシテ約

三十年前神戸市ニ轉住シタル由 現ニ其ノ遠縁ニ當ル江

幡 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇
ナル高凌町ニ現在ニ居リ然ルニ本年一月四日頃右

大内ヨリ江幡ニ對シ上海派遣軍ヲ依頼アリタルカ故ニ酌婦

数名ヲ募集スルヲ以テ通商ナル者アレバ通知ニ與ヒテ據來

信アリタルニ對シ江幡ハ全所

周施業

大川

ニ對シ之ク斡施方ヲ依頼シタル結果其ノ後大川ハ大内ト

二前記伊藤萬崎婦ヲ募集シタルニマリア募集當時
 伊藤ニ對シ上海派遣軍ノ依頼アリタルガ如ク吹聴シタル
 趣キヲ本件果シテ軍ノ依頼アリタルモノカ全ク不明ニ
 テ且ツ西婦ノ稼業モ所詮ハ醜業ヲ目的トスルハ明カニ
 テ公序良俗ニ反スルガ如キ本件事業ヲ公々然ト吹聴募
 集スルガ如キハ皇軍ノ威信ヲ失墜スルヲ甚クシキモノア
 リト認メ嚴重取締方所轄邊警察署長宛指示致
 置假條ニ取及申(通)報候也

追而兵庫縣ニ於テハ相應取締ノ上結果何分ノ
 御回報相煩度

(縣下各警察署長ニ在リテハ嚴重取締セラレベシ)

契約書

稼業年限

契約金

上海派遣軍の陸軍慰安所ニ於テ酌婦稼業ヲ為ス
與金ハ揚高ノ一割トス(但シ半額ヲ貯蓄スルコト)
食費衣裳及消耗品ハ地主ノ負擔トス

年限途中ニ於テ解約ノ場合ニハ元金殘額還約金及控

入當時ノ諸費用一切ソ即時ニ拂ヒ申スベキコト

右契約條項確守履行仕テ可ク依テ契約書如件

此知 年 月 日

本籍地

現住所

稼本人

現住所

連帶者

金員借用證書

一金

右之金員持者要用ニ付正ニ請取借用仕候事實正也然レ亦返齊
方法ハ別紙契約書ニ基キ 幼婦稼業ヲ為シ御返齊

申ス可ク萬一本入ニ於テ契約不履行ノ節ハ持者等連帶者ニ
於テ連カニ御返金仕ル可ク為後日借用證書依而如件

昭和 年 月 日

本籍地

現住所

借用人

現住所

連帶人

殿

(第三)

拜啓年約余日モ並之無御繁忙ノ事ト奉存候 陳者
今回軍部ノ御了解ノえに中支方面に皇軍將士慰安
支目的トす子慰安所設立致す事ト相成リ左ノ條件ト

以て約五百名の助婦を募集致候に付何卒大至急御手
配煩し度御報知次第直ちに出張可仕候間御一敷
被下度奉願候

此和生年十月十八日

大内

條 殿 件

契約年限

満ニケ年

前借金

五百圓より十月迄

但し前借金内三割ヲ控除シ身付金及喪込費ニ充湯ス

満十五方ヨリ三十万迄

身体壯健ニテ親權者ノ承諾ヲ要ス但し養女籍ニ在ル者貴家ノ承
諾ナキニ差支ナシ

前借金返済方法等限了ト同時ニ消滅ス

却テ年期中夜令病氣餘業ニ付テ年期中了ト同時前借金完済ス
利息ハ年期中ナシ途中廢業ノ場合ハ残金・對シ月壹歩

還約金ハ一ケ年内前借金額ノ一割

年期中中途廢業ノ場合ハ日割計償フトス
年期満了帰國ノ際ハ帰途旅費ハ地主負擔トス

精算 稼高ノ一割ヲ本人所得トシ毎日支給

年期中事満了ノ場合ハ本人稼高ニ應ジ應分ノ慰勞金ヲ支給ス

⑦上海派遣軍内陸軍慰安所ニ於ケル酌婦募集ニ関スル件「宮城県知事」(昭13・2・15)

保第九八一號

昭和十三年二月十五日

宮城縣知事

(警察部 長)



内務大臣未次信正殿

各廳府縣長官殿

管下各警察署長殿

上海派遣軍内陸軍慰安所ニ於ケル酌婦

募集ニ関スル件

首題ノ件ニ関シ客月十九日付保第百二四二號ヲ以テ祥馬縣知事(貴官)ヨリ通報ニ接シ爾來

内査中ノ處本月八日管下名取郡

周旋業者村上源之助宛 福島縣平市

周旋業長谷川

ヨリ標記酌婦トシテ年

齡二十歳以上三十五歳迄ノ女子ヲ前借金六百圓ニテ約三
 名位ノ周旋方ノ内容ノモノ郵便はかきヲ以テ依頼越スル
 事實アリ尚本人ノ意嚮内査スルニ本人ハ更ニ意ニ双共
 一突ニ附レ周旋ノ意思無之

追而本件ハ事實ニ関シテハ曰下福島縣ニ照會中ニ
 付申添候

(管下各署ニ於テ本件事案ニ鑑ミ引續内査ヲ遂ケ
 發見ノ場合ハ速ニ報告セラルベシ)

右及申(通)報候也

⑧ 支那渡航婦女ノ取扱二関スル件「内務省警保局長通牒案」(昭13・2・18)

個 送 受 及 號 局 限 合								日 月 付 受 及 號 局 管 主	
第 一 號	第 二 號	第 三 號	第 四 號	第 五 號	第 六 號	第 七 號	第 八 號	第 九 號	第 十 號
送 受 月 日	送 受 月 日	送 受 月 日	送 受 月 日	送 受 月 日	送 受 月 日	送 受 月 日	送 受 月 日	送 受 月 日	送 受 月 日
								<p>大 臣 官 署</p> <p>警 保 局 長 官</p> <p>文 書 課 長</p> <p>警 務 課 長</p> <p>外 事 課 長</p> <p>防 犯 課 長</p> <p>部 外 秘</p> <p>廳 長 官 宛 通 牒 案</p> <p>支 那 渡 航 婦 女 ノ 取 扱 ノ 関 ス ル 件</p>	
								<p>昭 和 十 三 年 二 月 十 八 日</p> <p>主 任</p>	

大 臣 官 署

警 保 局 長 官

文 書 課 長

警 務 課 長

外 事 課 長

防 犯 課 長

部 外 秘

廳 長 官 宛 通 牒 案

支 那 渡 航 婦 女 ノ 取 扱 ノ 関 ス ル 件

部 外 秘

秘

警 保 局 長 官

文 書 課 長

警 務 課 長

外 事 課 長

防 犯 課 長

廳 長 官 宛 通 牒 案

警 保 局 長 官

支 那 渡 航 婦 女 ノ 取 扱 ノ 関 ス ル 件

警 務 課 長

外 事 課 長

防 犯 課 長

主 任

第	第
送	送
月	月
日	日

最近支那各地ニ於ケル秩序ノ恢復ニ

伴ヒ渡航者著レク増加レワツアルモ是等

ノ中ニハ同地ニ於ケル料理店、飲食店

「カフェー」又ハ貸座敷類似ノ營業者ト

聯繫ヲ有レ是等ノ營業ニ從事スル

コトヲ目的トスル婦女寡ナカラサルモノ

アリ更ニ亦内地ニ於テ是等婦女ノ募集用旋シ為
 ス者ニシテ恰モ軍當局ノ諒解アルカノ如キ言辭
 シ弄スル者モ最近各地ニ頻出サレツツアハル状況
 ニ在リ婦女ノ渡航ハ現地ニ於ケル實情ニ鑑ミ
 ルトシハ蓋シ必要己ムヲ得ザルモノアリ警察官當
 局ニ於テモ特殊ノ考慮ヲ拂ヒ實情ニ即スル措

置シ講スルノ要アリト認メラルルモ是等婦女ノ

募集用旋等ノ可締ニシテ適正シ欠カンカ帝

國ノ威信ヲ毀ケ皇軍ノ名譽ヲ害フノ事ニ止マ

ラス銃後國民持ニ出征兵士遺家族ニ好マシ

カラザル是等婦女ヲ興フルト共ニ婦女賣買ニ

因スル國際條約ノ趣旨ニモ悖ヘコト無クシ

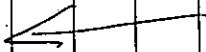
保シ難キヲ以テ旁、現地ノ実情共ノ他各般

ノ事情ヲ考慮シ爾今之カ可扱ニ因シテハ

左記各號ニ準據スルコトト致度依命ト段

及通牒候

記



内務省

一 醜業ヲ目的トスル婦女ノ渡航ハ凡ソ得テレシ

申サレトキハ現在内地ニ於テ娼妓其ノ他事實上

醜業ヲ營ミ、満二十一歳以上且花柳病其ノ

他傳染性疾患ナキ者ニレテ北支、中支方面

ニ向フ者ニ限り當分ノ間之ヲ默認スルコト

昭和十一年一月廿九日密令ハモシテ六聯外務次官通牒ニ依ル

トレ身合證明書ヲ発給スルコト

内務省

二前項ノ身分證明書ヲ發給スルトキハ^{嫁業}渡航ノ假

契約ノ期間滿了レ又ハ其ノ必要ナキニ至リタル

際ハ速ニ歸國スル様豫メ諭旨スルコト

三醜業ヲ目的トシテ渡航セントスル~~婦女~~ハ必ず

本人自ラ警察署ニ出頭シ身分證明書ノ發

給ヲ申請スルコト

四、醜業ヲ目的トスル婦女ノ渡航ニ際シ身分證明書ノ發給ヲ申請スルトキハ必ず同一戸籍内ニ在ル最近尊族親、尊族親ナキトキハ戸主ノ承認ヲ得セシムルコトトシ若シ承認ヲ與フベキ者ナキトキハ其ノ事實ヲ明ナラシムルコト

五、醜業ヲ目的トスル婦女ノ渡航ニ際シ身分證明書

明書ヲ發給スルトキハ稼業契約其他各般ノ
 事項ヲ調査レ婦女賣買又ハ略取誘拐等
 ノ事實ナキ様特ニ留意スルコト

大. 醜業ヲ目的トシテ渡航スル婦女其ノ他一般風
 俗ニ關スル管業ニ從事スルコトヲ目的トシテ渡航
 スル婦女ノ募集周旋等ニ際レテ軍ノ諒解又

ハ之ト連絡アルガ如キ言辞其ノ他軍ニ影響
 シ及ボスカ如キ言辞ヲ弄スル者ハ總テ嚴重ニ
 之ヲ取締ルコト

七、前掲ノ目的ヲ以テ渡航スル婦女ノ募集周

旋等ニ降レテ廣告宣傳ヲナレ又ハ事案ヲ、

虚偽若ハ誇大ニ傳フルガ如キハ總テ嚴重之ヲ

取締ルコト又之^ニ募集用旋^等ニ從事スル者
 ニ付テハ嚴重ナル調査ヲ行ヒ正規ノ許可又ハ
 在外公館等ノ發行スル證明書等ヲ有セ
 ズ身許ノ確實ナラサル者ニハ之ヲ認めサルコト

第二章

警保局長

警務者 管理局長宛

陸軍者 軍務局長宛

陸務者 條約局長宛

(普通)

亞米利加局長宛

支那航婦女ノ取扱ノ件

標記ノ件ノ別紙ノ通地方長官ニ通特

致置候在為身申出紙

會

内務省發警第五號

昭和十三年二月二十三日

内務省警保局長



殿

支那渡航婦女ノ取扱ニ関スル件

最近支那各地ニ於ケル秩序ノ恢復ニ伴ヒ渡航者著シク増加シツツアルモ是等ノ中ニハ同地ニ於ケル料理店、飲食店、カフェール又ハ貸座敷

類似ノ營業者ト聯繫ヲ有シ是等ノ營業ニ從
 事スルコトヲ目的トスル婦女寡ナカラザルモノ
 アリ更ニ亦内地ニ於テ是等婦女ノ募集同族
 ヲ為ス者ニシテ恰モ軍當局ノ諒解アルカノ
 如キ言辭ヲ弄スル者モ最近各地ニ頻出シ
 ツツアル狀況ニ在リ婦女ノ渡航ハ現地ニ於
 ケル實情ニ鑑ミルトキハ蓋シ必要己ムヲ
 得ザルモノアリ警察當局ニ於テモ特殊ノ考慮
 ヲ拂ヒ實情ニ即スル措置ヲ講ズルノ要アリ
 ト認メラルルモ是等婦女ノ募集同族等ノ
 取締ニシテ適正ヲ缺カンカ帝國ノ威信
 ヲ毀ケ皇軍ノ名譽ヲ害フノミニ止マラズ

銃後國民特ニ出征兵士遺家族ニ好マシカ
 ラザル影響ヲ與フルト共ニ婦女賣買ニ
 関スル國際條約ノ趣旨ニモ悖ルコト無キ
 ヲ保シ難キヲ以テ旁ニ現地ノ実情其ノ他
 各般ノ事情ヲ考慮シ爾今之が取扱ニ関
 シテハ左記各號ニ準據スルコトト致度
 依命此般又通牒候

記

一、醜業ヲ目的トスル婦女ノ渡航ハ現在内
 地ニ於テ娼妓其ノ他事實上醜業ヲ營ミ、

滿二十一年以上且花柳病其ノ他傳染性疾患
ナキ者ニシテ北支、中支方面ニ向フ者ニ限リ
當分ノ間之ヲ默認スルコトトシ昭和十
二年八月米三機密合算三七七六號外務次官
通牒ニ依ル身分證明書ヲ發給スルコト

二 前項ノ身分證明書ヲ發給スルトキハ稼業
ノ假契約ノ期間滿リシ又ハ其ノ必要ナ
キニ至リタル際ハ速ニ歸國スル様豫メ
諭旨スルコト

三 醜業ヲ目的トシテ渡航セントスル婦女ハ
必ズ本人自ラ警察署ニ出頭シ身分證
明書ノ發給ヲ申請スルコト

- 四、醜業ヲ目的トスル婦女ノ渡航ニ際シ身
 分證明書ノ發給ヲ申請スルトキハ必ず
 同一戸籍内ニ在ル最近尊族親、尊族
 親ナキトキハ父主ノ承認ヲ得セシムルコ
 トトシ若シ承認ヲ與フベキ者ナキトキ
 ハ其ノ事實ヲ明ナラシムルコト
- 五、醜業ヲ目的トスル婦女ノ渡航ニ際シ身
 分證明書ヲ發給スルトキハ稼業契約其
 ノ他各般ノ事項ヲ調査シ婦女賣買又
 ハ略取誘拐等ノ事實ナキ様特ニ留意スルト
 六、醜業ヲ目的トシテ渡航スル婦女其ノ他

一般風俗 関スル營業ニ従事スルコトヲ
 目的トシテ渡航スル婦女ノ募集周旋等
 ニ際シテ軍ノ諒解又ハ之ト連絡アルガ
 如キ言辞其ノ他軍ニ影響ヲ及ボスガ
 如キ言辞ヲ弄スル者ハ總テ嚴重ニ之
 ヲ取締ルコト

七、前號ノ目的ヲ以テ渡航スル婦女ノ募
 集周旋等ニ際シテ廣告宣傳ヲナシ又ハ
 事實ヲ虚偽若ハ誇大ニ傳フルガ如キハ
 總テ嚴重之ヲ取締ルコト又之ガ募集
 周旋等ニ従事スル者ニ付テハ嚴重ナル
 調査ヲ行ヒ正規ノ許可又ハ在外公館

等ノ發行スル證明書等ヲ有セズ身許
ノ確実ナラザル者ニハ之ヲ認メザルコト

日	
月	
年	
時	
分	
秒	

本日南支派遣軍古在部隊參謀陸軍

航空兵少佐久門有文及陸軍省徵募課

長官南支派遣軍ノ航空所設置ノ有必

要ニ付醜業ノ目的トスル婦女約四百名

ヲ陰謀ヲ成視意アリタレトノ申立アリ云

ニ付テハ、本年二月二十三日内務省發覺第五號

通譯ノ語ヲ依リ之ヲ取扱フコトトシ左記ノ各地

方整ノ實況ニ通譯ノ語ヲ用テ其ノ實況ヲ記述スルニシテ

婦女死

其ノマシテ其ノ實況ニ依リテ現地ニ向ヘシムル取扱計

相與可也哉

通譯ノ語ニ依リテ其ノ實況ヲ記述スルニシテ

約三百名通譯ノ語ヲ用テ其ノ實況ヲ記述スルニシテ

内務省

記

一内地ノ於テ募集シ現地ニ向シレムニ就テノ目的

トシテ婦女一約~~四~~百名程ヲ
外ノ募集事進行ニ於テ
現地ニ向テテトシテ

トシテ大改(一〇〇名)、京都(一五〇名)、兵庫(一〇〇名)

福岡(一〇〇名)、山口(五〇名)

ヲ定メテハ、於テ其ノ川平君(抱道)ノ選定

レテ之ヲ募集セシメ現地ニ向シレムニ

二衣川卒着 (抱主) の現地 (抱主) 軍選安所ヲ後言

カシムル也 十ん之付 持 (身評) 破言 十ん 有テ 還定 二ん 下

~~其川卒着ハ運軍軍令ハ~~

(内地) 台湾 方 陸マテ 抱主ノ費用シムテ 進行シ 同地ヲ 大体

三 懐航婦女ノ 新 返リ 其 軍 得ル 昭々 陰ノ 事

新 返リ 昭々 陰ノ 事 内 用 船 二 隻

尹 現地ノ 向ニシムル 事トス。 尚 在ニ 能ク 難中 切

日 務 省

合「台湾有糖蜜車、
下「定期便船」云々

之「他」
!! 中「看」同行云々

四「在」
南云々 近洛云々
付云々 陳原者 綴幕即也

及「参謀」云々
方一節
「留」今因少結云々
大尉

之「學」
尚理地「軍司」
全市 岑木少佐 之「學」云々

五「上」
外 尚之學 婦女
必要ト云々 切念

必「古」
在 社 部 隊 在 部 又
軍 特 務 部 之 概

予南支州道軍、對せんを全部ノ統

一、引率ノ許可證ヲ交付せん標紙扱フ

予トシ(支同參謀部軍ノ上直ニ各印陸

一、對シユイ各予達ニ

本件北航ニ付テ内務省及地方廳ニ之ヲ婦女ノ募集及古港、周シ伍宜ニ
借學ニ止メ、奥内空人理地ニ於テは婦女ノ保護及軍、於テ充分注意ス
ル也、以テ依リ且、高年二月予テ、學ヲ通標ヲ予テ

本件北航婦女、對シテ左記ニ依リ各地方廳ニ

於テ取扱ハシムルト

内務省

川平君(抱主)

(1) 理地、於之責任ハハ徑管有(抱主又ハ管理

者)ヲ必~~要~~トスル付~~ル~~ 曉業ヲ目録トシテ

径管之婦女ノ川平君ハ一身元ハ持シ

確實トナ~~ス~~ 務~~ル~~ 且相管~~ル~~ 曉業

婦女ヲ引率シ理地ニ到リ果~~テ~~ 妻~~ノ~~ 所~~ヲ~~

徑管ニ得心~~ル~~ 事~~ヲ~~ 遂~~ス~~ 定~~ム~~ 事~~ト~~

ノ南文收置軍、討スルモノ全部ヲ斃

レ引年許可證ヲ交付スル 梅取叔フコト

トス (久回參謀歸軍ノ上通ニ各部隊

ニ討レコノ旨ヲ達ス)

去、右件後航、付テ一内務省及地方廳ニ之カ

婦女ノ募集及出遣、固シ便宜ヲ借與ス

内務省

ルニ止メ契の内室及現地、
於此婦女ノ保
護ニ單ニ於テ充分ノ旨言フ

七、
此レ依リ且本年二月二十三日
發條る是通

條ノ考證レ其條候
航婦女ニ對シテ左

親ノ如ク前レ各社
通條レ之ヲ取扱ハ

レムムト

(不爾故實況レ及、
必可区ニムト)

通 牒 案

警 保 局 長

警保局警發甲第一三六號

主 旨

大 阪 山 口 長 崎 等 地 各 所 在 事 由

川 九 各 二 三 次
手 定 委 員 會 第 一
海 地 協 會

南 支 方 面 渡 航 婦 女 ノ 取 扱 ニ 関 シ

支 那 渡 航 婦 女 ノ 取 扱 ニ 関 シ 二 月 二 十

三 日 中 央 省 各 縣 第 五 梯 通 牒 ノ 次 第 ニ

取 扱 方 法 南 支 方 面 渡 航 婦 女 ノ 取 扱 方 法

内 務 省

内務省

業ヲ目的トスル 特殊婦女ノ 必身トスル 模範

ナルニ 未ダ 其ノ 根柢ナシ 現地ノ 希望ノ 迄

第ニ 有之 事情 已ヤ 得ル 中ニ 強ク 三ルル

ニ 付テハ 要件 拒絶、 左記ニ 依リ 之ヲ 取

扱フ コト 致ス、 付 特 許 而 配 意

女子系

記

一 抱まゝん川中舟ノ運字及板

引中舟(抱ま)

(1) 袋ノ重 舟業 舟ノ中ヲ身許 確言

ニシテ 南支方面ノ舟ヲ 軍艦 舟所ヲ

便言 及ニ△んニ 又 像 十レト認△ん者ヲ抱ま

△ん引舟 舟トレヲ 運定シ之ニ ^結 南支方

面ノ 舟軍 艦 舟所ノ 致 望 ヲ 舟所ノ 舟所

許ナレ

内務省

(四) 魏 其 多 目的 卜 卜 南 支 方面 へ 後 航 手 認

山 儿 婚 女 数 〃 約 四 百 名 卜 之 之 方 後 社

約 百 名 〃 其 社 社 約 五 十 名 〃 其 社 社 約 百 名

福 岡 社 約 百 名 及 山 口 社 約 五 十 名 〃 割 學

了 了 々 々 〃 廿 丁 〃 之 〃 引 平 平 〃 爲 途 〃 當 〃 〃

福 子 前 頃 〃 他 〃 選 定 〃 其 〃 引 平 福 (指 主)

一 陰、行、右婦女ノ位入レテ認、

其ノ位、航、以下各段、位、取、扱、ヲ、エ、ト、

但、之、後、航、ニ、ル、婦、女、ノ、位、符、五、ニ、右、指、定、符、

取、以、外、ニ、テ、モ、モ、支、十、キ、コ、ト

(11) 一、引、早、者、(控、定)、引、早、者、ニ、ル、婦、女、ノ、位、

ハ、十、五、乃、至、三、十、五、程、至、ト、亦、云、フ、ト

不_レ定_ニ事_ノ 和_レ程_ノ 有_レキ_ト

(丙) 前_レ三_レ項_ノ之_レ依_リ 熟_ク安_ク所_レ終_レ結_レシ_テ 希_ク望_ス

者_ノア_ルト_モハ_レ直_ニ 其_ノシ_テ 卒_ニ 希_ク之_レ 終_レ結_レ希

一 候_所 氏_名 徑_正 及_テ 川_平 予_定 婦

女_名 ^密之_レ 實_強 學_之 他_ノ 中_好 者_ノ 通_知 之_レ 予_一

(庚) 所_レ以_テ 知_ル 者_ノ 其_中 其_ノ ^{軍部} 證_明 以_テ 書_シ 送_付 之_レ 云_フ

日 務 首

付之、依り右砲臺ノ目的トシテ航ス

婦女ノ密ニ募集スルナ

前項依航婦女ノ内地各港ノ切令ニ其ノ

川岸各民又依航婦女ノ数、内地各港地又

予定月日及台傍各港到着予定月日ヲ

(この内、各港に於て、
到着予定月日を定むる事)

由港有通都等ナリ此通都ト依り台傍等ノ位船

ヲ手廻ス

基隆

第一航路

司令官

右様

引平...
其...
日...
明...
...

二、旅航婦女

(1) 現業ヲ目的トスル旅航婦女ハ現在内地

於テ娼妓其他事實上現業ヲ営ム

者ニシテ満二十才以上且身體強壯

ナル也

(2) 前項ノ外七年二月二十号迄係る者通

...

様ニ依リ而致ス

(1) 確業ノ目的トスル母胎婦女ニ對シテ身分

證明書ニ依リ而健康診断ヲ行フ

又ニ健康診断ヲ行フ事健康ヲ以テ

ヲ強メル上之ヲ交付スル

三 引取書 (控書) トノ契り

(1) 引率 (控) 卜 海航婦女卜 締結云々

可借契の 短期の 可借金

可成小額 十 三 二 四 五 三 十

(4) 其 地 穩 業 之 商 之 切 事 理 地

軍 兵 之 指 示 送 7 2 十

四 葛 集

總業ヲ目的トスル嫁娘婦女ノ募集ハ此業

許可ヲ受ケタル園遊人ヲシテ陰ニ之ヲ誘ハレ

メ、其ノ希望婦女ニ對シテハ必ズ現地

ニ於テハ醜行ニ從事スルモノトテテ説明

セシムルナリ、尚因樹科等ハ引率云(控査)

ニ於テ負担セシムルナリ

(11) 治療の要
 患者の病
 者君の病
 小は但し
 ぬ

五、予が在野、健康診断事

(1) 傳染病予が在野、現地、兵之軍之ヲ

行フ。

(b) 健康診断、隨時軍医、札下之ヲ寫抱

又

(1) 治療の要
 患者の病
 者君の病
 小は但し
 ぬ

内務省

六、鐵道所行爲切手、支務

(1) 鐵道所行爲切手、又建務、軍、松手之

送定使用セシムル也

指揮、其ノ変更、亦同也

(10) 其ノ他軍、松手 指揮、監督、
2. 2. 2. 2. 2. 2.

此地、水陸、他、
學、業、向

第二集

警保局警發甲第一三三號ノ二

由警署警任る西平海

長官

重打各學部刻是也

軍機重、保其力也、刻一以
万は、多、兵、隊、和、山、口、等、處、海

南支方面に航婦女ノ取扱ニ関スル件

今般に於テ得テ南支方面ニ航業ヲ目的トスル

婦女約四百名ノ取扱ヲ認ムルコトト相反スル之

ツ引平

電文

之レ者、大改、兵部、兵隊、

福園及山口ノ各府ニ下リ運送セ之加婦女ヲ

募集スル為別紙ノ通右府毎ニ通牒此置紙

ニ付テハ或ハ普挙下リニ右接航ニ参加スル

婦女アリト思料スルニ付予々市會置相成

啓念

至申送紙

南友泓道軍參謀

陸軍航空兵少佐 久門有

榮保局長閣下

廣

内務省

醜業婦渡支二関スル経緯

十一月二十六日内務省與事務局長

与内務省事務局長宛 上海總支

■■■■ 神戸市中部 ■■■■ 西名ハ

上海總支事務局長、西名ハ

書及山下内務省、西名ハ

今名称、持参之書類、西名ハ

内務省

事務廳取上何分便宜ヲ請取計

物公ト一電報

一 13月31日 在 功名 出 取 上 八 分 務 大

臣 録 書 取 一 名 物 7 提 出 之 德 久 一 自

自 一 名 物 7 提 出 之 其 自 分 7 之 明 之 也 不

中 野 一 和 上 市 場 至 所 四 五 八 中 野 是 也

大 名 物 7 出 之 自 分 同 人 一 職 業 一 能 登 取

其ノ事ヲ

(13) 西ノ人ノ申立ニ依リテ
其ノ後程候ニテ

一 申立申佐トシテ
其ノ別トカ引取

以テトシテ
其ノ別トカ引取

一 其ノ事ニ依リテ
其ノ別トカ引取

一 其ノ事ニ依リテ
其ノ別トカ引取

一 其ノ事ニ依リテ
其ノ別トカ引取

内務省

一申(世)了

一 号海 取一 北下 一 般 推 支 着 卜 同 様 自 分

一 高 州 者 了 一 西 判 推 支 着 卜 同 様 自 分

了 卜 一 号 了

一 一 号 了 一 号 了 一 号 了 一 号 了 一 号 了 一 号 了

一 陸 路 長 崎 一 号 了 一 号 了 一 号 了 一 号 了 一 号 了

一 一 号 了 一

内務省

一 日本に在る者 修め 担任 丸 27

海支 公 回 下 支 出 一 修 修 修

家 留 留 2 修 下 自 令 修 明 修 修 修 修 修 修 修

27 27 修 修 修

一 (修) 修 修 一 修 修 修 修 一 修 修 修 修 修 修 修

修 修 修 修 修 修 修 修 修 修 修 修 修 修 修 修 修

外務省關係公表資料

①支那渡航者ニ対スル身分証明書発給ニ関スル件〔福岡県知事〕(昭12・12・15)

外旅秘テ七九號

第三課



昭和十二年三月拾五日發

昭和十二年丁二月十五日



福岡縣知事 赤松小寅

内務大臣 末次信正 殿

外務大臣 廣田弘毅 殿

各廳 府縣長官 殿

支那渡航者ニ對スル身分證明書

發給ニ関スル件

支那渡航取扱手續施行以來十一月不日
 迄、間管下於身分證明書發給セラル
 左記、通=有之
 右又甲(通)報候也

記

支給月日	行先地	渡航理由	期間	本籍住所	職業氏名年令
九月四日 福岡	上海	今快事変ニ依リ又 母ノ消息不明トナリ タル爲調査ノタメ 事変ノタメ一時引 揚中、処般渡スル モ、	一ヶ月間	東京市牛込区市谷三丁目三四 福岡市島飼四丁目三四 芳賀方	樂師 若井貞雄 大正六年八月廿九日生
九月六日	上海	上海駐在陸軍陸隊 本部、下命、依リ物不 備入ノタメ	自九月之月 至九月十五	山口縣防府町中ノ陸軍南支隊 福岡市住吉木下町八四。	キリ夏酒株式会社員 西村義則 明治三十五年三月十五日生

十一月十六日	天津	日本製鉄株式会社 派遣員ヨリ北支支渡渡 調査ノタメ	一ヶ月	長野縣上野郡赤松町赤松三三九	日銀書記 加藤 正康夫 昭和三年十月十七日
十一月十六日	石家莊	野野澤信海渡及同僚調査 中ノ支北行三編ノ調査 ニ依リ	二ヶ月	八幡市大字松文町一丁目三三	北野 隆 昭和三年八月二十七日
十一月十六日	天津	支北行三編ノ調査 中ノ支北行三編ノ調査 ニ依リ	二箇月	八幡市大字松文町一丁目三三	北野 隆 昭和三年七月十日
十一月十四日	河北省 井陘炭坑	鹽下公司経営井陘炭 坑社員ノ採用ヲ	永住	福岡縣若狭郡赤松町五七五 八幡市大字尾倉三三五	吳限高 古賀 清 昭和四年一月十日
十一月十六日	上海	上海漢口路自動車使 用促進會ノ高野洋 行ノ調査ノタメ	一ヶ月	八幡市大字鳴水三五一 八幡市大字尾倉三三五	大友 愛 昭和四年二月十日
十一月十九日	河北省 井陘炭坑	鹽下公司ノ調査ヨリ 支北支渡渡調査ノタメ	三ヶ月	八幡市大字松文二二一 八幡市大字尾倉三三五	金銘堂 六女 節 哲雄 昭和四年三月十日
十一月二十日	上海	前橋洋行ヨリ調査ノタメ 支北川路海運調査 ノタメ	一ヶ月	[Redacted]	[Redacted]
十一月二十九日	天津	現一隊中津信ノ病氣 音渡ノタメ	自十一月九日 三十三日	[Redacted]	[Redacted]
十一月二十九日	天津	現一隊中津信ノ病氣 音渡ノタメ	自十一月九日 三十三日	[Redacted]	[Redacted]

[以下略]

亞米利加局

第三課

土

昭和十三年五月五日

接交

特放第八二號

昭和十三年四月二十五日

大分縣知事

栗屋

外務省亞米利加局長殿

濟南其他膠濟鐵道沿線渡航者取扱方ニ関スル件

濟南其他膠濟沿線渡航者ニ関シテハ本年二月八日付

米三機密合第五八。號貴信ノ趣旨ニ依リ取締中

ナルガ右ニヨレバ各方面へノ初渡航者ニ対シテハ

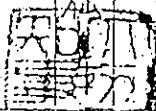
所轄警察署長ヨリ身分証明書ヲ下付入可力

ラザルモノト解セラレ候處最近濟南在留者ニ

シテ各地總領事ヨリ助婦産席ノ為飯國ス

四

二



ル旨、証明書ノト付ヲ受ケ、當地方ニ於テ酌
 婦ヲ募集シ、管下所轄警察署ニ対シ、身分証明
 書下付方出願セル事、例有之、右ハ持ニ總領事ノ
 証明書ヲ有スルヲ以テ、身分証明書下付相成、差支
 無キヤ、尙今方面皇軍慰安所ノ酌婦等募集ヲナ
 ス旨ノ在支公館又ハ軍部ノ証明書ヲ有スル者ノ
 募集セル酌婦等ニ対シテハ、身分証明書下付相
 成、差支無キヤ、疑義有之、何分、御指示相得度
 右及稟伺候也

(了)

② 2 濟南其他膠濟鐵道沿線渡航者取扱方二關スル件—回答「外務省亜米利加局長」(昭13・5・4)

文書課長 (蓋印)

文書課發送 昭和拾參年五月

四日發送済

證書

(蓋印)

正校 (原稿付) (附付)

主 管 亞米利加局長 (蓋印)

任 第三課長 (蓋印)

昭和十三年

五月

四日 起草

米三 機密 第六二二二號

昭和拾參年 五月四日

日附 附屬

空二課長

亞米利加局長 (蓋印)

受 信 人 名

西米屋大分事務所

名 件 録 記

吉澤亞米利加局長

件 名

濟南其他膠濟鐵道沿線渡航者取扱方二關スル件

本件：前記六月二十五日付特急第八二二號(長信)

リ以テ所申越ノ趣了承在共信記載ノ事例ハ

前般及後般ノ在ノ考ニ本年二月二十三日附内務

懸案

乙			
丙			
丁			
備考			

公 信 案

外 務 省

者發發言不五(多)曰格者警保為長發支那

係既婦女ノ功教ニ因元依命道 蝶ニ依ノ西

耶投投及 係支支障十者十九限リ身分話

切書リ發給 々々差支無之 以般回卷 甲

雁又

機密第三一〇七號

昭和十三年九月二十八日

在上海

總領事代理 後 藤 益 尾

外務大臣 字 垣 一 成 殿

「漢口攻略後邦人進出ニ對スル應急處理要綱」
送付ノ件

漢口攻略後ニ於ケル邦人進出ニ關シ九月十四日連絡會議ニ於テ決定
セル(現地領事館ト十分連絡方念ヲ押シ置キタリ)應急處理要綱第
參考迄別紙ノ通送付ス、尙寫一部花輪總領事ニ交付シ置キタリ

漢口攻略後邦人進出ニ對スル應急處理要綱連絡會議決定

昭和十三年九月十四日
連絡會議決定

方針

漢口ニ進出セントスル邦人ニ對シテハ軍^部ノ充足ト復興ノ促進ヲ主眼トシ差當リ所要ノ統制ヲ加フ

要領

一 漢口居留民ノ復歸ハ優先的ニ之ヲ認ム、特ニ軍隊又ハ軍人、軍屬ヲ對象トスル商業従事者、飲食店業者、旅館業者、並ニ民間役員運搬業者等ヲ優先スルモノトス

二 居留民中ノ有力者數名ハ特務部ノ進出ニ當リ之ニ隨行ヲ許可シ漢口ノ復興、物資ノ供給、復歸居留民ノ指導等ニ關シ特務部ヲ輔佐セシム

三 居留民以外ノ進出ハ復歸希望居留民ノ輸送ニ餘裕ヲ生シタル後ニ

於テ進出後速カニ營業ヲ開始シ得ルモノヨリ優先的ニ之ヲ認ム、
但軍隊慰安所開設ノ爲進出スルモノハ此ノ限ニアラス

四 一般旅行者ハ漢口ニ於ケル宿營設備整備セラレ輸送力ニ餘裕アル
場合ノ外差當リ之ヲ認メサルモノトス、但調査、其他ノ爲緊急ノ
必要アルモノニ對シテハ此ノ限りニアラス

五 漢口攻略後進出セシムヘキ邦人輸送用船舶ハ日清汽船ヲシテ豫メ
準備セシメ置クモノトス

六 第一便船ニテ進出スルモノニ對シテハ商品以外ニ自家用食料トシ
テ概ネ一ヶ月分ヲ携行セシムルモノトス

七 公共施設復舊用資財及缺乏物資ノ輸送ニ對シテハ特ニ考慮ヲ拂フ
モノトス

備考

漢口方面ニ對スル通行許可證ハ軍擧上ノ必要ニ基キ軍隊ニ於テ發
行交付スルモノ以外ハ陸海軍特務部ニ於テ發給スルモノトス

雄ク學口前記營業ノ如キハ既ニ飽和狀態ニ在リ

今後業者ノ増加ニ依リ共倒レニ至ルノ懸念モアリ殊ニ邦人使用家
ハ最近支那人ノ復歸、復業ノ進展ニ伴ヒ借入難ノ狀態ニ在ルヲ以テ
當地ヘ新規渡航セントスル向ニ對シテハ是等當地ノ實情ヲ充分認
セシメ苟モ資金、技術ヲ有セサル不堅實ナル分子カ漠然ト當地方ノ
空景氣ニ憧レテ漫然渡航スルカ如キコトナキ様指導致度ク右周知方
然ルヘク御手配請フ

北京、天津、青島、濟南、上海、南京、九江、滿ヘ轉電セリ

④ 2 漢口へノ渡航者取締ニ関スル件「外務省亞米利加局長」(昭14・2・7)

文書課長

文書課發送

昭和十四年貳月

八日發送済

淨番

873

正校(原稿)

(淨番)

第一課長



主 管 亞米利加局長

主 任 第三課長

昭和十四年二月四日 日 起草

米三樹密合第六〇五號

昭 陽和拾陸年貳月七日 日 附 附屬

受 信 人 名 敬言 祝 總 監

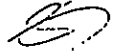
名 漢口ハノ渡航者取締ニ関スル件

名人信發 吉澤局 長

名件録記

心 案

第一課長



乙			
丙			
丁			
考			

本件ニ関シ容身二月十六日附米三樹密合

第九八〇ニ歸往信ヲ以テ申道置タル處今

飯在漢口花輪總領事 五月八日 未現在卸

外 務 省



任留政二二八九、奉名外二武昌、約心百奉名

有行 飲食店二百十四折、ツカ至一八九折 喫茶

店一七折、料理屋八折及雜貨店商二百三折

外二軍慰安所二十折ノ多故ニ對シテ

後ニ便紙毎ニ散増ノ傾向ニ在ルニ其ノ

質ハ必シニ優良トハ言ヒ難ク本邦外ハ臨

時腰掛的ニ進出シ軍人相手ノ言

業ヲ言ヒ一儲セルトスルノ事又歌カテス如斯ク

集 前記ノ如キ 程歎ノニカキ者ハ

既ニ飽 和 然ニ在リテ今 後同業 者ノ増

加ニ 共倒レニ至ルノ 懸念 存スルノミナラス

邦人 使用 家臣ハ 最近 互邦人ノ 復歸、

復業ノ 途原ニ 併ヒ 借入 困難ノ 状態

ナリ 就^ルテ 尙後 苟エ 資金、 技術ヲ 有

ヒサル 不 望 復ナル 分子 也 臨時 措置 的ニ

慎重ト 也 航 入ルカ 之ヲ 取 締ル

必要ナルニ付テハ僅口ノ新規航^一者

レテハ在^レ登情^ニ意^ハ外^ニ深^ク識^スセ^レノ事^ト漫^ク然^ク也

航^ルル^ルカ^ク如^クテ^ハ十^ニ年^ノ探^ル指^シ導^ス致^スス^ル趣^ニ申^テ越^スノ

此^レ乃^ク有^ル之^ル付^テ尋^ル明^ク者^ト多^ク少^クノ^レ多^クノ^レ上

^水方^ノ地^ノ也

航^ル者^ト周^知ル^ル者^ト考^ス之^ル事^ト遠^ク方^ノ也

氏^ノ航^ル甲^ノ進^ス又

⑤ 1 漢口陸軍天野部隊慰安所婦女渡支ノ件「外務大臣」(昭14・12・22)

電信課長

○

○

電信課發電係

主 亞米利加局長 3
主 第三課長 1/2

昭和 14 年 12 月 22 日 起草



電話第 34890 號

14 J2. 23 7 分發

在 漢 口

花 翰 總 領 事

件 慰安所婦女渡支ノ件
讀ル陸軍天野部隊

第三三三三號

名 件 發 記

野 村 大 臣

在 漢 口 香 川 縣 天 野 部 隊 二 於 予 八 軍 慰 安 所 開 設

夕 婦 女 五 十 名 ヲ 募 集 三 所 以 趣 ヲ 以 予 右 引 率

電 信 課 長 一 外 務 省

(原議用紙乙)

獲支許可方同縣^{手臣}領出タル者了り^{同佐}同縣軍例ヨリ

モ之カ^レ辭後方申入アリタルニ付事情已ムク儘スト

認メ内諾ヲ午ハ置タル日内務省ヨリ通報越シ

タル處在ハ貴館ト諒解請^ルルヤ一行

ハ年内ニ出發ス(キ午答ナルニ付貴見^物係^ルル

折返シ回電アリヤシ

電信案

外務省

⑤ 2 漢口陸軍天野部隊慰安所婦女渡支ノ件—回答〔在漢口總領事〕(昭14・12・27)



本省 二十七日後着



野村外務大臣

花輪總領事

第七三四號

貴電第三二三號ニ關シ(漢口陸軍天野部隊慰安所婦女渡支ノ件)

此處より内務省
に傳へる本
通復ス

當地軍司令部ニ連絡シタル處慰安婦ノ内地ヨリノ招致ハ許可制ヲ取

リ居リ今回天野部隊ノ慰安婦招致ニ關シテハ軍ニ對シ正式手續ヲ踏

ミ居ラサルモ既ニ同部隊ニ於テ招致手筈ヲ爲シタル事實ニ鑑ミ之ヲ

追認スル^ハナルニ付右ニ御了知相成度ク尙本件ニ關シテハ稟前ニ常

館ニ何等連絡無ク尙軍意嚮トシテハ招致慰安婦ノ豫業ニ付テハ常館

監督下ニ於テ就業セシメラレ度キ旨申出アリタルニ依リ來漢ノ上ハ

常館ニ出頭方引率者へ醇達方御取計相預度シ(了)

電信寫

右閣議決定の趣旨に基き、今後警察署長の渡支身分證明書の發給を受け得る者は、大體

(一)慰問を目的とする場合は、豫め陸海軍省の承認を得たるもの

(二)家事用務、現實の商取引、定住又は現地商社勤務を目的とする場合に於ては在支關係先所轄領事館警察署の證印ある文書を有するものに限られることとなつた。尤も家事用務の爲緊急已むを得ない事情ある者は特に居住地所轄警察署長に事情を具申し、特別の取計を依頼することか出來ることになつてゐる。

今や支那に於ては、新國民政府の樹立を見、東亞新秩序の建設に一段階を劃した情勢に在り、同政府に積極的支援を與へて居る我國として、事變處理を促進させる爲には、今回の措置は機宜に應じたもので、官廳關係の公用旅行者も、斯の心構であることは固よりであり現地の事態か許すに至る迄暫くの間、此の措辭の徹底的實施に就き國民一般の協力を期待するものである。



⑥ 渡支邦人暫定處理取扱方針中領事館警察署ノ證明書發給範圍ニ關スル件「警務部第三課」(昭15)

渡支邦人暫定處理取扱方針中領事館
警察署ノ證明書發給範圍ニ關スル件

警 務 部 第 三 課

昭和十五年五月八日附米三機密合第五一一號大臣訓達ノ渡支事由
證明書發給ニ當リテハ同日附米三機密合第二一一九號次官通牒内
地其ノ他各官廳宛公文別紙甲號取扱方針並同乙號許可要領ニ基キ
處理スヘキモノナル處實際取扱ニ當リテハ種々疑問ヲ生シタルノ
ミナラス發給官ノ裁量如何ニ依ツテハ伸縮自在ノ融通性ヲ有シ各
館ノ取扱區々ニ互ル虞アリ依テ左記ニ基キ範圍ヲ限定セムトス

記

一、取扱方針(以下方針ト稱ス)第二號ノ家事要務ハ許可要領(以下要領ト稱ス)ニ定メラレタル範圍ノモノニ付近親者タル
コトヲ證スヘキ書類(例ヘハ戶籍謄本又ハ來往書信等)ヲ徵シ
眞ニ渡支ヲ必要トスル事由アリト認メタル場合ニ限り證明ス

實ニ該商社ニ勤務スルモノナルコト確實ト認めラレタル場合ニ限り證明スルコト、必要ニ應ジ雇主ノ請書ヲ徴スルコト
 (3) 永住ヲ目的トスル家族ノ呼寄ハ戶籍謄本又ハ内縁關係ヲ證スヘキ書類ヲ提出セシメ内縁關係ハ調査ノ上證明スルコト

備考

一、軍團又ハ軍雇傭員ハ軍ニ於テ證明書ヲ發給スルニ付領得トシテハ關與スル限リニ在ラサルモ本件制限ノ適用ヲ免ルル目的ヲ以テ軍雇傭員ノ名ヲ利用シタル疑アリタルトキハ之ヲ摘發スルコト

二、特殊婦女(藝妓・酌婦・女給・軍慰安所雇傭員其ノ他)ハ原則トシテ證明書ヲ發給セサルコト但シ五月二十日ノ雇傭者數ヲ基準トシ其ノ後生シタル缺員補充ノ爲呼寄ヲ要スル場合ニ限り廢業者又ハ退去者ヲ申告セシメ廢業届、退去届ト對照シタル上特ニ證明スルコトヲ得

府高以外ハ關係ハ
方針、方針ニ従ハ
實際ニ従フ

「渡支邦人暫定處理ノ件」打合事項

内務省關係

一問 演藝人ノ興行ノタメノ渡支ヘ如何ニ取扱フヤ

答 「商取引ノタメ一時渡支セントスル者」トシテ在支關係興行

主等ノ所轄領事館警察署ノ監印アル文書ヲ取付シムルコトトス

二問 支那在住者ノ子女ニシテ本邦ニ遊學中ノ者カ暑中休暇等ニ兩

親ノ許ニ歸還セントスル場合又ハ支那在住者ノ家族ニシテ内地

ニ在ル者カ夫又ハ親ノ許ヲ一時訪問セントスル場合ヲ如何ニ取

扱フヤ

答 「家再用途上眞ニ已ムヲ得サルモノ」トシテ取扱方針第二項

ニ依リ取扱フコトトス

問 内縁關係ニ在ル者ノ呼寄ヲ如何ニ取扱フヤ

答 内縁關係ニ在ル者ニシテ事實上ノ配偶者ト認メラルル者ニ對

シテハ呼寄ヲ認メ差支ナシ但シ右ノ如キ内縁關係ニ在リヤ否ヤ

ハ本邦警察當局ノ調査ニ俟フコトトス

本

問 支那在住者ニシテ婚姻ノタメ一時歸國ノ上再渡支セントスル
 場合ニ婚姻ノ相手ヲ特定セサルトキハ本人ノ身分證明書ニ「婚
 姻ノタメ歸國スル」旨記載シアラハ之ニ依リ配偶者ハ渡支事由
 證明書ヲ受セスシテ渡支シ得ル候取計レ度シ

問 領事館ナキ地ノ埠ヨリ特殊婦女ヲ呼寄セントスル場合ハ如何
 ニスルヤ

答 舊版單ノ證明書ニ依リ旅寄領事館ノ證明書（渡支事由證明書）
 又ハ身分證明書一ヲ受クルコトトス

問 渡支事由證明書ヲ所持スル者ニ對シテハ本邦警察署ニテ史メ
 テ身許調査ヲ行フコトナク身分證明書ヲ發給シ居ル處ノ處渡支
 者ニ對スル身許調査ハ從來遺實施セララルル候取計レタシ

七、新規渡支者ノ取締ニ對應シ在支者ノ再渡支ヲ必要ニ應シ取締ルタ
 メ在支領事館發給ノ身分證明書ノ發給振ニ關シ概ネ左ノ通措置ス
 ルコトトシタキ意圖ナリ

1、在留民ニシテ刑罰線キ等不正行爲ヲ爲ス虞アル者ニ對シテハ
 身分證明書ヲ發給セサルコト

2、渡支事由説明書等ニ依リ支那ニ定着スルノ意思又ハ定着ノ事
 實ナシト認メラルル者ニ對シテハ身分證明書ヲ發給セサルコト

3、本邦へ歸國シ再渡支ノ意思ナキ者ニ對シテハ身分證明書ヲ發
 給セサルコト

但シ右ノ場合ニハ本邦警察官ニ於テ身分證明書ノ提示ヲ要求ス
 ルコトナキ様取計ハレタキコト

ハ、渡支後ニ於テ内地獄々警察署ノ身分證明書ヲ了スル後任
 分證明書ヲ取付ルル程變更方キニ係ルコト
 外務省ニ於テ是レノ定後ノ事トスルコト

外務省

陸軍省關係

一 滿洲國ノ渡支取扱中特例ノ範圍ニ關シ再考セラレタシ

二 軍屬、軍屬傭人ノ定裝如何

三 現地療兵隊ニ於テ軍屬、軍屬傭人ニ非サル者ニ對シ（主トシテ

特殊婦女）證明書ヲ發給シ之ニ依リ渡支セシメ居ラルル向アル

モ右ハ所定通り領事館發給ノ證明書ニ依ラシムル豫取計ハレタ

シ

拓務省關係

一 朝鮮ニ於テ支那向渡航者ノ乗船又ハ國境通過ノ際ニ於ケル證明書ノ検査ヲ勵行セラレタシ

二 本邦警察署又ハ在支領事館發給ノ身分證明書ノ寫眞ヲ貼替ヘ他人ニ於テ之ヲ利用シ渡支スルモノアリ注意セラレタシ

三 本邦警察署發給ノ身分證明書ニシテ寫眞ノ貼附ナキモノアリ注意セラレタシ

四 山海關ニ旅行スルニハ身分證明書ヲ要スルニ付誤解ナキ様御指導願度

①〔軍慰安所従事者ニ對スル身分証明書發給ノ件〕〔台灣總督府外事部長〕（昭15・6・1）

電信課長

大臣

次官

東亞閣了

歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 儀典 文書 會計 祕書官

昭和15 一五三四二 略

臺北 六月一日後發
本省 一日夜着

亞、米

有田外務大臣

千葉臺灣外事部長

第一〇九號

開館シ居ラサル領事館管轄區域タル前線ニ赴キ軍慰安所ニ従事スル者ニ對シテハ渡支事[?]由證明書ノ取付ハ事實上不可能ナルヲ以テ陸海軍側ノ證明書ニ依身分證明書ノ發給相成リ差支ナキヤ折返シ何分ノ回電アリタシ（了）

⑧ 渡支事由證明書等ノ取寄不能ト認メラル、対岸地域ヘノ渡航者ノ取扱ニ關スル件「台灣總督府外事部長」昭15.9.2

第三標

亞米利加局長

昭和十五年九月二日

臺灣總督府外事部長 千葉 一

東京局第三課長

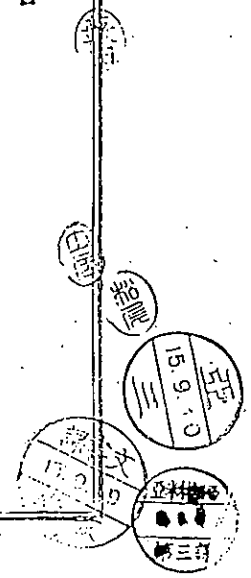
外務省

亞米利加局第三課長 眞木 薫 殿

外一第一、一六二號ノ

渡支事由證明書等ノ取寄不能ト認メラル、対岸地域ヘノ渡航者ノ取扱ニ關スル件

本件ニ關シ高雄州知事ヨリ別紙甲號寫ノ通リ照會有リタル處
斯種渡航者ノ取扱振ニ關シテハ陸海軍側ノ證明書ニ依リ最寄
リノ領事館警察署ヨリ渡支事由證明書ヲ取付クル事ト致度キ
越貴官ヨリノ指示モ有ルニ付本件渡航者ニ對シテモ廣東總領
事館發給ノ渡支事由證明書ヲ提出セシムベキヲ辨當ト認ムル



本件慰安所從職員ノ渡航ハ急ヲ要スルモノナルニ付特ニ本
 件ニ限り許可スヘキ旨別紙乙號寫ノ通り高雄州知事宛回答シ
 置タルニ付御了知相成度此致申進ス

⑧ 2 渡支事由證明書等ノ取寄不能ト認メラル、對岸地域ヘノ渡航者ノ取扱ニ關スル件「高雄州知事」(昭15・8・23)

甲子

寫

高警高秘外第五六九二號

秘 昭和十五年八月二十三日

高雄州知事 赤 堀 鐵 吉

外 務 部 長 殿

渡支事由證明書等ノ取寄不能ト認メラル、對岸地域
ヘノ渡航者ノ取扱ニ關スル件

本籍

住所

[Redacted]

[Redacted]

當二十二年

右者名儀人トナリ夫 [Redacted] ナル者ト共ニ廣東省欽縣ニ於テ南
支派遣軍鹽田部隊林部隊專屬軍慰安所ヲ經營目下同軍ニ從ヒ

二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

廣西省南寧附近ニ於テ就乘中ノ處今同酌婦連行ノ目的ヲ以テ
 六月二十七日附右林部隊長發給證明書（別添第一號）及同日
 附同地憲兵分遣隊長發給ノ渡航證明書（右第二號）並ニ同月
 二十八日附酌婦呼奇證明書（同第三號）ヲ携帶歸還シ再渡航
 等ノ爲本名等二名及連行スベキ酌婦六名ノ渡航證明書下付申
 請アリタルガ支那渡航ニ關シテハ本年五月十三日附總外第一
 一二號ニ一文那渡航邦人ノ取扱手續ニ關スル件ニ依リ普
 通人ハ一律ニ現地領事館警察發給ノ渡支部由證明書ヲ必要
 トスルコトハナリ居レルニ本件營業者ノ如キハ領事館警察署
 トハ著シク遠隔ノ地ニアリ且フ領事館ニ於テハ調査不能ノ地
 域ト思料セラレルモノニアリテ短時日ニ所定證明書ノ取寄可
 可能ト認メテ例令所定證明書ノ發給アリタリトスルモ右ノ
 理由ヨリ單ニ形式のナルモノト認メタルニ於テハ渡航者ノ
 身元目的其他確實ニシテ渡支セシムルモ支障ナキ者ニシテ特

ニ本件ノ如キ特種警現ニ就來シ居ルニ於テハ所屬部隊長或ハ
所轄憲兵隊長ノ發給スル證明書ニ依リ渡航セシムルハ尤モ實
際的處理ト思考セラレ候ニ付テハ本件處理ニ備シ何分ノ御回
答相煩度

右 照 會 ス

追テ廣東領事館ニ於テハ本年五月二十日以降ニ於テ管下在
留者ノ歸國ニ際シ内地人ニハ身分證明書ニ代ヘントノ意向
ナルカ如キモ何等連絡ナク右ハ上記總務長官通牒ノ趣旨並
ニ取扱方針ニ悖ルモノト認メラレ取扱ニ關シ併セテ配慮相
成度申添候

第一號



寫
眞

證
明
書



當年二十二才

右ハ當隊附屬慰安所經營者ニシテ今回慰安婦進行ノキメ跡懸
セシモノナリ

就テハ慰安婦ハ當隊慰安ノキメ是非必要ナルモノニ付之カ
渡航ニ關シテハ何分ノ便宜附與方取計相成度

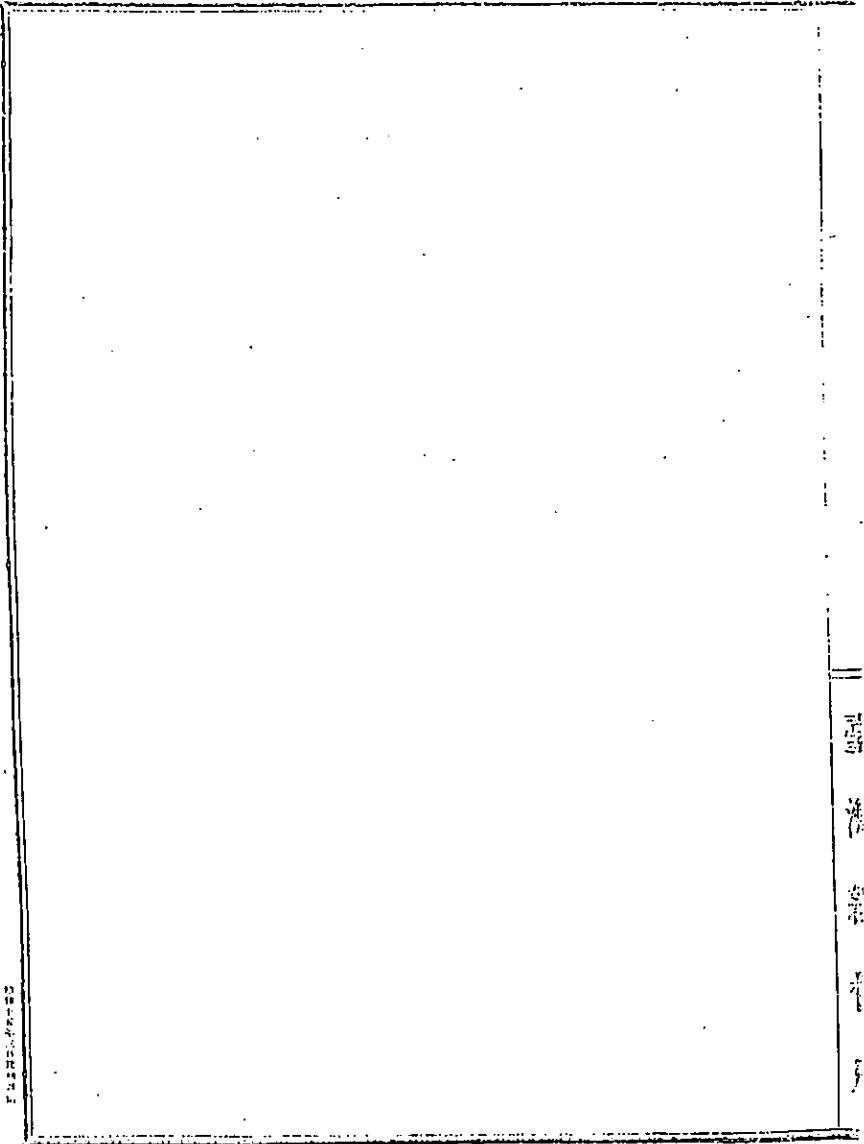
右 證 明 書

昭和十五年六月二十七日

南支派遣鹽田兵團林部隊長林駿秀

林 部 隊
長 之 印

二 三 五 號 印 信 寄 符



三
海
宗
子

三
海
宗
子

第二號

渡航證明願

本籍

現住所

職氏名 慰安所 業

當二十二年

一 渡航先 臺灣、高雄

二 目的 慰安婦招致ノ爲メ

三 期間 自昭和十五年六月二十七日至昭和十五年九月二十

六日

四 出發地 欽 縣

出發月日 昭和十五年六月三十日

五 其他

右之通り渡航致度ニ付證明相成度及據候也

昭和十五年六月二十七日

警 署 准 印

右願出人

欽州憲兵分遣隊長足立茂一殿

欽憲警第四六六號

右 證 明 文

昭和十五年六月二十七日

欽州憲兵分遣隊長足立茂一

欽州憲兵分
遣隊長印

昭和十五年六月二十七日

第三號

呼 寄 匪 明 願

本 籍

[Redacted]

住 所

[Redacted]

職 業 概 者

氏 名

[Redacted]

本 籍

[Redacted]

住 所

[Redacted]

職 業 酌 辦

氏 名

[Redacted]

本 籍

[Redacted]

住 所

[Redacted]

五 全 學 恩 習 寺

二 番 准 則 表 月

本籍

[Redacted]

[Redacted]

氏名

[Redacted]

職業
梁酌婦

住所

[Redacted]

[Redacted]

氏名

[Redacted]

職業
梁酌婦

住所

[Redacted]

[Redacted]

氏名

[Redacted]

職業
梁酌者

110450000000

住 所

職 業 酌 婦

氏 名

右者軍慰安所酌婦稷菜ノ爲メ呼寄致度候間證明相成度此段及願候也

昭和十五年六月二十八日

右願出人本籍

現住所

職 業 番 菜 慰 安 所

氏 名

當二十二才

欽州憲兵隊長足立茂一殿

欽憲警第四六八號

乙号

⑧—3 渡支事由證明書等ノ取寄不能ト認メラル、対岸地域へノ渡航者ヲ取扱ニ關スル件—回答「台湾總督府外事部長」(昭15・9・2)

昭和十五年九月二日

臺灣總督府外事部長 千葉 棗 一

高雄 州 知 事 殿

外一第一、一六二號

渡支事由證明書等ノ取寄不能ト認メラルル對岸地域へノ渡航者ノ取扱ニ關スル件

本件ニ關シ本年八月二十三日附高警高秘外第五六九二號ヲ以テ御照會越ノ趣了承、斯種渡航者ノ取扱振ニ關シテハ本年六月八日附外一第六六二號ノ三ヲ以テ申進置タルモ本件慰安所從業員ノ渡航ハ急ヲ要スルモノタルノミナラス貴官御申越ノ次第御尤ト存ゼラルルニ付特ニ本件ニ限り渡支事由證明書ヲ取付ケシムル事ナク林部隊長發給ニ係ル證明書ヲ以テ出願セシノ身許目的等調査ノ上確

臺灣總督府

實ナルニ於テハ所定證明書發給相成差支無之ニ付此段回答ス
退而廣東總領事館發給ニ係ル身分證明書ヲ所持シ再渡航セント
スル内地人ニ對シテハ改メテ身分證明書ヲ取付シムル事ナク渡
航セシノ本島人ニ對スル同館發給ノ在留證明書ハ今回ノ渡支事
由證明書ト同一効力ヲ有スルモノト看做シ御取計相成度申添フ

①南洋方面占領地ニ於ケル慰安所開設ニ關スル件「台湾總督府外事部長」(昭17・1・10)

秘

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 弘報 調查 南洋 人事 儀典 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和17 九六四 略 臺北 一月十日發 本省 十日發着 南 米

東郷外務大臣 榊谷外事部長

第一〇號

(南洋方面占領地ニ於ケル慰安所開設ニ關スル件)

南洋方面占領地ニ於テ單側ノ要求ニ依リ慰安所開設ノ爲渡航セントスル者(從業者ヲ含ム)ノ取扱振リニ關シ何分ノ御指示相煩度シ(了)

記錄 大東亞戰爭 關係 一件 占領地ノ慰安所

外務省

⑨-2 南方方面占領地ニ対シ慰安婦渡航方ノ件「外務大臣」(昭17・1・14)

電信課長

發電係



⑦

53

主管 亞采利加局長

主任 第三課長



昭和十六年一月十三日起算

課長 孫 1545

電送第 1545 號
昭和十六年一月十四日 5時35分發

宛	臺灣總督府 蜂谷外事部長
件名	南方方面占領地ニ對シ 慰安婦渡航方ノ件
第 六 號	

記録件名	外務大臣

外務大臣

東京電牙一〇号ニ對シ

此種渡航者ニ對シ長官ヲ答給スレドトシテ

由中州中心ニ付軍ニ證明書ニ依リ軍用船

電信案

外務省

電 信 案										<p>ト 申 渡 執 セ シ メ ラ シ 度 ニ</p>	
外 務 省											

⑩佛印ヨリ内地、滿洲國、支那、「タイ」向旅行許可ニ關スル件〔在西貢支部長代理〕(昭18・2・8)

大東亞省

極秘

關

電信寫

主管 南監(政)(總錄)

昭和18 二八〇

暗

西貢

二月八日前發

本省

八日後着

青木大東亞大臣

鈴木支部長代理

第一〇號

(佛印ヨリ内地、滿洲國、支那、「タイ」向旅行許可ニ關スル件)

今般南方軍總參謀長ノ名ニ於テ當地軍ニ對シ佛印ヨリ内地、滿洲國、支那、「タイ」ヘノ軍人、軍艦以外ノ旅行許可ハ尙今大
使府ニ於テ與ヘラルヘキ旨電報アリタル趣ヲ以テ當地軍側ヨリ
當方ニ連絡越セルモ軍從屬者(御用商人、飲食業者、慰安所從

樂員等ニ對シ當方ニ於テ其ノ旅行ノ際旅券又ハ國籍證明書等ヲ
 許與スルコトニ疑義アリタルヲ以テ本省ニ稟請スルコトトシ一
 返答ヲ留保シタル處既ニ軍備ニ於テハ南方軍總參謀ノ命ニヨリ此
 ノ種ノモノヲ客年十二月末日限り解除シ全部大東亞省ニ移管シ得
 ル如ク一方的解釋ヲナシ居ルモ當方トシテハ何時本省ヨリ通牒ナ
 中爲之ヲ認メ得サルノミカ斯テハ從來トリ來リタル渡航制限状モ
 水泡ニ歸スヘク之カ根本的解決ヲ要スルモノト思考セラルルニ付
 陸軍省ト協議決定ノ上何分ノ儘至急御同電相煩度
 佛印大、「タイ」ヘ轉電セリ

電信寫

極秘

①軍從屬者ニ對スル旅行許可ノ件「事務總長」(昭18・3・10)

大東亞省

主管 總錄

昭和18

三二九七

暗

河内 本省省

三月十日 後發
十日 夜着

青木大東亞大臣

栗山事務總長

第二一二號

(軍從屬者ニ對スル旅行許可ノ件)

貴大臣發西貢宛電報第四三號及西貢發貴大臣宛電報第一六二號ニ關

シ
軍從屬者ノ現地解除後ニ於ケル身分ノ變更ニ關シテハ從來確タル原
則ナキ處實情ヲ見ルニ便宜上軍從屬者ノ資格(例へハ御用商人、慰
安所員、酒保員等)ヲ取得シ軍ト共ニ或ハ現地軍呼寄ニ依リ入領セ

電信寫

ル者ニシテ其ノ後軍從屬者ノ資格ヲ離脱シ軍發給ノ證明書（軍紹介
 狀又ハ呼寄證明書等）ヲ當府ニ提示ノ上一般邦人トシテノ旅券若ク
 ハ國籍證明書ノ下附ヲ願出ツル次第ナリ然ルニ此ノ手續ヲ無條件ニ
 認ムル時ハ隨分不良ナル分子ノ渡航ヲ認ムルト同一結果トナル。現
 ニ此等ノ者ノ内最近諭旨退去處分ノ已ムナキニ至リタル者數名アリ
 ニ付當方トシテハ現地解除者在留ハ相當峻拒スル必要アリ就テハ本
 省ニ於テ陸海軍側ト御協議ノ上根本的取扱振ヲ御決定ノ上出先ニ御
 指示相成様致度ク結果何分ノ儀御回電アリタシ
 西貢「タイ」ニ轉電セリ

北警外秘第二三二八三號

昭和十四年一月十三日

臺北州知事藤田偵治郎



臺灣總督小林躋造殿

渡支取締方ノ件

昭和十三年十一月申ニ於ケル身分證明書並ニ外國旅券發給狀況左表ノ通りニ有之候條

右報告ス

記

渡航身分證明書並外國旅券發給(本島)狀況

商 用	目的地		三渡航目的調		累 計	計	南 支 方 面	上 海 方 面	北 支 方 面	二渡航別表	
	內地人	朝鮮人	北支方面	上海方面						初渡航	再渡航
	內地人	朝鮮人	北支方面	上海方面	一六九五	二七七	一七七	九七	三	內地人	朝鮮人
	朝鮮人	本島人	計	計	一三九	六一	六一			本島人	計
三					一八一七	四五四	三〇三	一三八	一三		
三					三六五	七九二	五四一	二三五	一六一九五		
一八	內地人	朝鮮人	上海方面	南支方面		三六五一	一七七三			累計	內地人
	朝鮮人	本島人	計	計	一一〇	一一	八	四			朝鮮人
三五											本島人
五三					九	一一	一一	七			計
一四	內地人	朝鮮人	南支方面	北支方面	二六一	二八	二一	七			
	朝鮮人	本島人	計	計	三六〇	四一三八〇	三〇	一一一三七			
一二二										累計	累計
一三六											

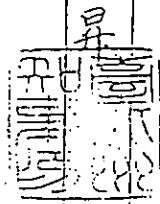
豐
北
州

計	各種營業內業	建築請負工事	病氣看護	社用	手俸	皇軍慰問	財產整理	統 一 職 務 所 用 係 念	同棲同居	各種視察
三								二	一	
一三								二	二	六
一六								四	三	六
一〇四	七	二		一	四	五		四〇	一三	一四
重										
一四二	六		一	二	三			四三	一四	三八
二四六	一三	二	一	三	七	五		八三	二七	五二
一八三	二	八	一	二六	三	三		一〇二	五	一九
六二	一							五一		
三三六	七	一	二	二	一四		一〇	八一	四八	三九
五七一	二〇	九	三	二八	一七	三	一〇	二三四	五三	五八

北警外秘第三一七〇號

昭和十四年三月二十一日

臺北州知事 戸 水



臺灣總督 小林 躋造 殿

渡支取締方ノ件

昭和十三年十二月中心於ケル身分証明書並ニ外國旅券發給狀況在表ノ通りニ有之候條
右報告ス

記

一、渡航身分證明書並外國旅券發給(本島人)狀況

[中略]



各種視察慰問	商用社用	建築請員及 從業員	旅館料理屋全 營並從業員	同樓同居	運送業員	就職	商業同從業員	看病手伝	慰安所関係者	計
一	六		一	二		二	二			一四
六	七		一			三				一七
七	一三		二	二		五	二			三一
一六	一六		二	一		一七	五			七九
	一									一
三二	四九	一		二〇		四三	二	二		一五〇
四八	六六	三	七	三一	五	六〇	七	二		二三〇
四五	六二	五	一五五	二〇	二	四二	一六		一三六	四七三
			六			一四		一	一	三九
五七	一三一	六	一七	八一		一九八	六	一三	一〇	五一九
一〇二	一九三	一一	一七八	一〇一	二	二五四	二二	一三	一五五	一〇三三

昭和十三年七月三十一日現在

北警外秘第三一七一號

昭和十四年三月二日

臺北州知事 戸 水 昇

警務局長 殿
總督官房外務部長 殿
各州知事廳長 殿
各郡守警察署長 殿

渡支取締方ノ件

昭和十四年一月中ニ於ケル身分證明書並ニ外國
旅券發給狀況左記ノ通りニ有之候條
右邊報(達)ス

記

一、渡航身分證明書並外國旅券發給狀況

北警外秘第三五九號

昭初十四年四月十日

臺北州知事

戸水

昇

警務局長殿

總督官為外務部長殿

各州知事 廳長殿

各郡守 警察廳長殿



渡支取締方ノ件

昭和十四年二月中ニ於ケル身分證明書並ニ外國旅券發給狀況ヲ記シ通リニ有之候條
右通報(達)ス

記

北警外秘第五六八六號

昭和十四年四月二十四日

臺北州知事

戸水昇

警務局長 殿

總督官房外務部長 殿

各州知事 廳長 殿

各郡守警察署長 殿



渡支取締方ノ件

昭和十四年三月中ニ於ケル身分證明書並ニ
外國旅券発給狀況尤記、通りニ有之候條
右通報(達)ス

記

送付

北警外秘第5957號

昭和十四年五月二十一日

臺北州知事 戸水 昇

警務局長 殿

總督官房外務部長 殿

各州知事 廳長 殿

各郡守警察署長 殿

渡支取締方ノ件

昭和十四年四月中ニ於ケル身分證明書並ニ外國旅券
發給狀況凡記、通りニ有之候條

右通報(達)入

記

以承

三、渡航目的の調

計	海外渡航	海外渡航	海外渡航	海外渡航	海外渡航	海外渡航	海外渡航	海外渡航	海外渡航	北支方面		上海方面		南支方面	
										内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人
一										三	六	三	四	二	八
二										五	七	五	六	九	七
三										四	七	九	八	七	六
四										二	一	一	一	一	一
五										一	一	一	一	一	一
六										一	一	一	一	一	一
七										一	一	一	一	一	一
八										一	一	一	一	一	一
九										一	一	一	一	一	一
一〇										一	一	一	一	一	一
一一										一	一	一	一	一	一
一二										一	一	一	一	一	一
一三										一	一	一	一	一	一
一四										一	一	一	一	一	一
一五										一	一	一	一	一	一
一六										一	一	一	一	一	一
一七										一	一	一	一	一	一
一八										一	一	一	一	一	一
一九										一	一	一	一	一	一
二〇										一	一	一	一	一	一
二一										一	一	一	一	一	一
二二										一	一	一	一	一	一
二三										一	一	一	一	一	一
二四										一	一	一	一	一	一
二五										一	一	一	一	一	一
二六										一	一	一	一	一	一
二七										一	一	一	一	一	一
二八										一	一	一	一	一	一
二九										一	一	一	一	一	一
三〇										一	一	一	一	一	一
三一										一	一	一	一	一	一
三二										一	一	一	一	一	一
三三										一	一	一	一	一	一
三四										一	一	一	一	一	一
三五										一	一	一	一	一	一
三六										一	一	一	一	一	一
三七										一	一	一	一	一	一
三八										一	一	一	一	一	一
三九										一	一	一	一	一	一
四〇										一	一	一	一	一	一
四一										一	一	一	一	一	一
四二										一	一	一	一	一	一
四三										一	一	一	一	一	一
四四										一	一	一	一	一	一
四五										一	一	一	一	一	一
四六										一	一	一	一	一	一
四七										一	一	一	一	一	一
四八										一	一	一	一	一	一
四九										一	一	一	一	一	一
五〇										一	一	一	一	一	一
五一										一	一	一	一	一	一
五二										一	一	一	一	一	一
五三										一	一	一	一	一	一
五四										一	一	一	一	一	一
五五										一	一	一	一	一	一
五六										一	一	一	一	一	一
五七										一	一	一	一	一	一
五八										一	一	一	一	一	一
五九										一	一	一	一	一	一
六〇										一	一	一	一	一	一
六一										一	一	一	一	一	一
六二										一	一	一	一	一	一
六三										一	一	一	一	一	一
六四										一	一	一	一	一	一
六五										一	一	一	一	一	一
六六										一	一	一	一	一	一
六七										一	一	一	一	一	一
六八										一	一	一	一	一	一
六九										一	一	一	一	一	一
七〇										一	一	一	一	一	一
七一										一	一	一	一	一	一
七二										一	一	一	一	一	一
七三										一	一	一	一	一	一
七四										一	一	一	一	一	一
七五										一	一	一	一	一	一
七六										一	一	一	一	一	一
七七										一	一	一	一	一	一
七八										一	一	一	一	一	一
七九										一	一	一	一	一	一
八〇										一	一	一	一	一	一
八一										一	一	一	一	一	一
八二										一	一	一	一	一	一
八三										一	一	一	一	一	一
八四										一	一	一	一	一	一
八五										一	一	一	一	一	一
八六										一	一	一	一	一	一
八七										一	一	一	一	一	一
八八										一	一	一	一	一	一
八九										一	一	一	一	一	一
九〇										一	一	一	一	一	一
九一										一	一	一	一	一	一
九二										一	一	一	一	一	一
九三										一	一	一	一	一	一
九四										一	一	一	一	一	一
九五										一	一	一	一	一	一
九六										一	一	一	一	一	一
九七										一	一	一	一	一	一
九八										一	一	一	一	一	一
九九										一	一	一	一	一	一
一〇〇										一	一	一	一	一	一

⑫ 7 渡支取締方ノ件「台北州知事」(昭14・6・19)

北警外秘第八一六八號

昭和十四年六月十九日

臺北州知事

戸水

昇



警務局長殿

總督官房外務部長殿

各州知事、廳長殿

各郡守、警察署長殿



渡支取締方之件

昭和十四年五月中ニ於ケル身分證明書並ニ外國旅券發給狀況左記ノ通りニ有之候條

右通報(達)ス

記

慰安關係	醫業關係	手傳及看護	財產整理	慰安所關係	接客業關係	同棲同居	商用社用	就業					視察(時的用務)	公務	目的別	區分
								其他就職	商業	運輸業	土木建築業	工業				
一	一	三	二	.	一	二	.	.	一	內地人	北方
.	二	朝鮮人	
.	.	一	.	.	.	二	三	三	.	四	本島人計	
一	.	一	.	.	五	六	五	.	四	.	.	.	三	一	面	
.	.	三	.	八	六	一四	一六	四	.	五	二	一	.	三	內地人	上方
.	四	朝鮮人	
.	.	六	二	四	六	三一	三三	二〇	.	二九	一	.	二	二六	本島人計	
.	.	九	二	一一	一三	四三	四九	二八	.	三四	二	一	二	二九	面	
二〇	一	二	一	一八	六五	四一	五〇	四六	.	四四	一	六〇	九	三七	內地人	南方
.	.	.	.	三	三	.	.	二	朝鮮人	
二	.	一七	一	八	四四	九三	七六	一五五	.	一三一	一	六六	三四	六一	本島人計	
一二	一	一九	二	二九	一一	一三	一六	一八三	.	一七三	二	一六六	三三	八八	面	

以下略

北警外秘第九五一二號

昭和十四年七月十五日

臺北州知事 戸水 昇

警務局長殿

總督官房外務部長殿

各州知事廳長殿

各郡守、警察署長殿

渡支取締方ノ件

昭和十四年六月中、於此身分證明書並
=外國旅券發給狀況左記、通し有

三渡航目的調

同棲同居	商用社用	就業				視察(兩船)	公務	目的区分		
		其他就業	商業	運輸業	未建築			工業	別	分
六	一			一			二	内	北支方面	
								朝		
一	八	二	二				三	本		
七	九	二	二	一			三	二	計	
一	五	一	一				三	一	内	上海方面
		一						朝		
五	四	九	三	二		六	三	三	本	
六	五	二	二	二		六	五	四	計	
四	八	三	一	二	二	八	一	五	内	南支方面
								朝		
七	一	五	六	一	五	三	一	六	本	
一	三	四	七	一	八	四	三	三	計	

年度 統計 表

計	金 融 關 係	修 造 關 係	慰 問 關 係	醫 業 關 係	手 傳 又 看 護	財 產 整 理	慰 安 所 關 係	接 客 業 關 係
一六		一						五
一七		一						
二三		二						五
七三			五					四
一								
一九三				二	七	一	二	四
二六五			五	二	七	一	二	八
二八八			二			一	一一	三三
七							四	三
五四二			一〇	二	二	二	一〇	三三
八三七			一一	二	二	三	二五	六九

EXHIBIT 10

⑫ 渡支取締方ノ件「台北州知事」(昭14・8・16)

北警外秘第一〇二六號

昭和十四年八月十六日

臺北州知事

戸水

警務局長殿

總督官房外務部長殿

各州知事廳長殿

各郡守警察署長殿

渡支取締方之件

昭和十四年七月中ニ於ケル身今證明書並ニ外國旅券發給
狀況左記ノ通りニ有之候條

右通報(達)ス



三、渡航目的

手傳及看護	財產整理	慰安所關係	接客業關係	同棲同居	商用社用	就業				視察(一時的用務)	公務	目的別	區分
						其他就職	商業	運輸業	土木建築業				
			八	三	一	一	二	一	二	一	一	內地人	北方
												朝鮮人	南方
				九	七	四	三				二	本島人	計
			八	一二	九	五	五	一	二		三		計
一				二四	四		三				三	內地人	上方
												朝鮮人	上方
				四三	三五	七	一四	二	二		四	本島人	計
三	一		二	六七	三九	七	一七	二	二		七		計
四	一		一三										
		一六	四九	八六	五四	八一	二二	三	一七	三	一一	內地人	南方
		二二									六	朝鮮人	南方
		三										本島人	計
一五	二	三	四〇	一三七	一三七	六〇	五五	五	三二	二六	二八		計
一五	二	四一	八九	二二三	一八一	一四一	七七	八	四九	二九	三九		

[以下略]

北警外秘第一二八七七號

昭和十四年九月十三日

臺北州知事

戸水昇



警務局長殿

總督官房外務部長殿

各州知事廳長殿

各郡守警察署長殿

渡支取締方之件

昭和十四年八月中ニ於ケル身分証明書並ニ外國旅券發給狀況

左記通りニ有之候條

右通報(達)ス

記

三渡航目的調

問	慰	醫	手	財	慰	接	同	商	就					視	公	目	的	區
									業	業	業	業	業					
							4	1						2	3	內地人	北	
																朝鮮人	支	
																本島人	方	
						2	2	6						2		計	面	
						6	5	6	1					4	3	內地人	上	
		1				3	9	4	16	5		1		1	1	朝鮮人	海	
																本島人	方	
		1			25	37	37	18	11	1	6		4	1	計	面		
		2	1		28	46	41	34	16	1	7		4	2	內地人	二南		
1		1	1	1	8	86	69	52	46	18	2	38		7	2	朝鮮人	支	
					1	10	3		1					1	1	本島人	方	
			9	1		35	135	73	113	43	3	35	14	6	1	計	面	
1			10	1	9	131	209	145	160	61	5	93	14	13	3	內地人	西	

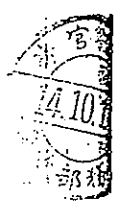
[以下略]

⑫ 11 渡支取締方ノ件「台北州知事」(昭14・10・13)

北警外廳第一二二五號

昭和十四年十月十一日

臺北州知事 戸水 昇



警務局長殿
各州知事廳長殿
各郡守警察署長殿

渡支取締方ノ件

昭和十四年九月中ニ於ケル身分証明書並外國
旅券發給狀況左記ノ通りニ有之候條
右通報(連)ス

記

身分証明書並外國旅券發給狀況 [中略]

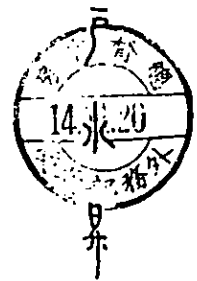
計	金融關係	修學	慰問	醫業關係	予停及看護
一	1	1	1	1	1
、	、	、	、	、	、
四	、	、	、	、	、
一六	1	1	1	1	1
四六	1	1	1	1	四
、	、	、	、	、	、
一一八	1	1	1	1	三
一七九	1	1	1	1	七
二六四	1	1	九	三	一〇
二〇	1	1	1	1	1
五五	1	1	1	五	一五
七三九	1	1	一〇	八	二五

⑫ 12 渡支取締方ノ件〔台北州知事〕(昭14・11・15)

北警外秘第一〇八〇八號

昭和十四年十一月十五日

臺北州知事



警務部長 殿
總督官房外務部長 殿
各州知事、廳長 殿
各郡守、警察署長 殿

渡支取締方之件

昭和十四年十一月廿二日申ニ於ケル身分証明書並外國旅券
發給狀況左記ノ通りニ有之候條
右通報(達)ス

記

201
一 身分証明書並外國旅券發給狀況〔中略〕

三 渡 航 目 的 的 調

賤產整理	慰安所關係	接客業關係	同棲同居	商界社用	其他	商業	運輸業	土木建築業	工業	視察(臨時慰務)	公務	區	
												北支	南支
.	.	.	-	=	-	內地	面
.	朝鮮	面
.	.	.	④	④	④	-	本島	面
.	.	.	五	六	五	-	計	面
.	.	-	一④	一②	三	-	二	.	.	二	.	內地	上
.	朝鮮	海
-	.	五	二⑤	三①	一①	二④	.	-	二	六	.	本島	方
-	.	六	三⑨	四②	一③	三⑤	二	-	二	八	.	計	面
.	一六	④①	六②	六⑧	五①	一③	一⑤	二六	八	六	.	內地	南
.	一④	.	.	.	-	-	-	朝鮮	支
二	.	④①	八⑤	八④	五⑦	五⑧	九	三②	二①	四	一九	本島	方
二	三①	八①	一④⑦	一⑤②	一①⑧	七②	二⑤	五⑧	二⑧	一①	一九	計	面

計	金融關係	修學	慰問	醫業關係	手傳及看護
五	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、
一三	、	、	、	、	、
一八	、	、	、	、	、
二九	、	、	、	、	四
、	、	、	、	、	、
一〇九	、	、	、	、	五
一四八	、	、	、	、	九
三二八	、	、	一二	、	一二
一八	、	、	、	、	一
四三七	、	、	五	、	二一
七八三	、	、	一七	、	三四

⑫ 渡支取締方ノ件「台北州知事」(昭14・12・11)

北警外秘第一五八七七號

昭和十四年十二月十一日

臺北州知事 戸水昇

警務局長 殿

總督官房外務部長 殿

谷州知事 廳長 殿

各郡守 警察署長 殿

渡支取締方之件

昭和十四年十一月中ニ於ケル身分證明書並外

國旅券發給狀況別表ノ通りニ有之候條

右通報(達)ス

一 身分證明書並外國旅券發給狀況

地區別	計	許		可		否		計		果計
		內地人	朝鮮人	內地人	朝鮮人	內地人	朝鮮人	內地人	朝鮮人	
北支方面	二			一	一					二
上海方面	四〇			一	一			六		一六一
南支方面	二八四			三	三			六		六二九
計	三二七	六〇	四八	五	五	二	二	一八	四三	八一八
果計	四、五、七、六	二、〇、六、七、六、六、六、一、四、四、八	一、〇、〇	二	二、七、一、六		一、一、八			

二 渡航別表

地區別	計	初渡		再渡		計		果計
		內地人	朝鮮人	內地人	朝鮮人	內地人	朝鮮人	
北支方面	三							四
上海方面	三八							八四
南支方面	二六六							二二一
計	三〇七	五九	四三七	二〇	一	四七	六八	二九九
果計	四、四、七、九	二、〇、五、七、四、五、一、三、一、四、九	九、八	一	二、〇、〇	二、九、九		

〔中略〕
三、 度 稅 目 的 調

財 產 整 理	慰 安 所 關 係	接 容 業 關 係	同 樓 同 居	商 用 社 用	其 他	商 業	運 輸 業	土 水 建 築 業	工 業	視 察 (特 的 用 務)	公 務	目 的 別 分	
												北 支 方 面	上 海 方 面
、	、	、	、	一	二	、	、	、	、	、	、	內 地 人	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	朝 鮮 人	、
、	、	、	三	一	二	三	、	、	、	一	、	本 島 人	計
、	、	、	三	二	四	三	、	、	、	一	、	內 地 人	、
、	、	四	一	六	三	八	一	一	、	一	、	朝 鮮 人	、
一	、	一	四	二	二	八	、	、	、	二	、	本 島 人	計
一	、	五	五	七	五	六	一	一	、	四	、	內 地 人	、
、	九	五	七	三	四	六	三	五	六	三	一	朝 鮮 人	、
、	五	六	、	、	、	、	、	、	、	、	、	本 島 人	計
一	八	七	八	六	四	五	、	一	七	七	一	內 地 人	、
一	七	六	一	一	九	八	三	五	一	一	一	朝 鮮 人	、
一	一	六	一	七	五	五	三	五	一	一	一	本 島 人	計

〔以下略〕

⑫ 14 渡支取締方ノ件「台北州知事」(昭15・1・18)

北警外裁第三一二號

昭和十五年一月十八日

臺北州知事 川村直嗣

警務局 兵殿

總督官房外務部長殿

各州知事 廳長殿

各郡守警察署長殿

裁 取 締 方 之 件

昭和十四年十二月中心於此身分證明書並外國旅券發給狀況別表ノ通りニ有之候條

右 通 裁(達) 又

三波龍目的議

計	農	金融關係	修學	慰問	醫業關係	手傳及看護	財產整理	慰安所關係	接客業關係	同棲同居	商用社用	其他	商業	運輸業	土木建築業	工業	視察(臨時用途)	公務	目的區分		
																			北支方面	南支方面	
一																			內地人朝鮮人本國人計	北支方面	
二																				內地人朝鮮人本國人計	北支方面
一九			二				二			四	五	三	三							內地人朝鮮人本國人計	北支方面
三〇			二			三	二		五	五	六	三	三							內地人朝鮮人本國人計	北支方面
三七						五			三	七	六	八	四				四			內地人朝鮮人本國人計	北支方面
																				內地人朝鮮人本國人計	北支方面
二						五	五		九	四	五	三	二	一	九	一	九			內地人朝鮮人本國人計	北支方面
二八						一〇	五		一	五	四	四	二	一	九	一	一			內地人朝鮮人本國人計	北支方面
三三						一九			三	八	四	三	八	二	八		一			內地人朝鮮人本國人計	北支方面
四																				內地人朝鮮人本國人計	北支方面
四六	四		一	一		二六			二	九	一	五	七	六	二〇	七	一			內地人朝鮮人本國人計	北支方面
七一	四		二	三		四五			一	一	一	八	八	一〇	八	九	二			內地人朝鮮人本國人計	北支方面
七二	四		三						六	七	一	五	八	一〇	八	九	二			內地人朝鮮人本國人計	北支方面

⑫ 15 渡支取締方ノ件「台北州知事」(昭15・2・24)

北警外殺第一五九二號

昭和十五年二月二十四日

臺北州知事 川村直嗣

警務 局長殿

總督官廳外務部長殿

各州知事 廳長殿

各郡守 警察署長殿

渡支取締方之件

昭和十五年一月申ニ於ケル身分發職證明書並
外國旅券發給狀況左記ノ通りニ有之候條
右通報(達)ス

三 被 服 目 的 調

料 理 業	商 業	運 輸 交 通 業	土 木 建 築 業	工 業	鐵 業	漁 業	農 業	皇 軍 慰 問	一 所 的 用 途 (稅 務 課)	公 務	日 出 區			
											北 方	東 方	南 方	西 方
	七	一									內地人	朝鮮人	本島人	計
	四									一				
	一一	一								一				
											內地人	朝鮮人	本島人	計
	多	九	一							七				
	七	四九	五	二	五	一				一				
	八	七九	一四	三	六	一				一九				
	三七	五七	四	三四	八	一				二四				
											內地人	朝鮮人	本島人	計
	二〇	一三四	二	二一	一〇	二	一			一八				
	五七	一九一	六	五五	一八	三	一六			四二				

計	修 學	同 樓 同 居	辯 護 士 業	慰 安 所 關 係	產 婆 看 護 士	醫 業	金 融 業	家 山 勞 働	行 頭 業 及 寄 興	政 府 教 及 務 業	通 信 推 送
一八		九			一						
六											
二四		一〇			一						
六七		一四			一			一		一	
一											
一六一		六四			二			五			
二二九		七八			三			六		一	五
二九四		八六	一	二	二	六		三		一	五
三		二	二	一							
三九七	二	一二七			七	一		四	五		八
六九四	二	二一五	一	三	九	七		七	五	一	一

北警外秘第一二六二七號

昭和十六年九月二十七日

臺北州知事

三

輪

幸

助

警務局長
府外事務部長
各州知事部長
各郡守警務署長
廳長
殿

渡支取締方ノ件

昭和十六年七月申三於左首題ノ件左記通り

ニ有之候條

右通報(達)ス

託

三渡航目的調

目的別	地方別		合計	上海方面		南支方面		合計
	内地人	朝鮮人		内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人	
公務								
公務(系官吏)								
修學								
一時的用務								
皇軍慰問								
農業								
漁業								
鹽業								
工業								
土木建築業								
運輸業								
高業								
合計	四	四	八	二	二	四	二	四
合計	一	一	二	五	二	七	七	一四
合計	二	二	四	七	二	九	九	一六
合計	三	三	六	一〇	一	一一	一一	二二
合計	四	四	八	一五	八	二三	二一	四四
合計	五	五	一〇	二〇	一	二一	二〇	四一
合計	六	六	一二	二五	二	二七	二七	五二
合計	七	七	一四	三〇	三	三三	三〇	六三
合計	八	八	一六	三五	四	三九	三三	七二
合計	九	九	一八	四〇	五	四五	四〇	八五
合計	一〇	一〇	二〇	四五	六	五一	四六	九一
合計	一一	一一	二二	五〇	七	五七	五〇	一〇七
合計	一二	一二	二四	五五	八	六三	五五	一一八
合計	一三	一三	二六	六〇	九	六九	六〇	一二九
合計	一四	一四	二八	六五	一〇	七五	六五	一四〇
合計	一五	一五	三〇	七〇	一一	八一	七〇	一五〇
合計	一六	一六	三二	七五	一二	八七	七五	一六二
合計	一七	一七	三四	八〇	一三	九三	八〇	一七三
合計	一八	一八	三六	八五	一四	九九	八五	一八四
合計	一九	一九	三八	九〇	一五	一〇五	九〇	一九五
合計	二〇	二〇	四〇	九五	一六	一一一	九五	二〇一
合計	二一	二一	四二	一〇〇	一七	一一七	一〇〇	二一七
合計	二二	二二	四四	一〇五	一八	一二三	一〇五	二三三
合計	二三	二三	四六	一一〇	一九	一二九	一一〇	二四四
合計	二四	二四	四八	一一五	二〇	一三五	一一五	二五五
合計	二五	二五	五〇	一二〇	二一	一四一	一二〇	二六六
合計	二六	二六	五二	一二五	二二	一四七	一二五	二七七
合計	二七	二七	五四	一三〇	二三	一五三	一三〇	二八八
合計	二八	二八	五六	一三五	二四	一五九	一三五	三〇〇
合計	二九	二九	五八	一四〇	二五	一六五	一四〇	三一五
合計	三〇	三〇	六〇	一四五	二六	一七一	一四五	三二七
合計	三一	三一	六二	一五〇	二七	一七三	一五〇	三三九
合計	三二	三二	六四	一五五	二八	一八三	一五五	三五〇
合計	三三	三三	六六	一六〇	二九	一八九	一六〇	三五九
合計	三四	三四	六八	一六五	三〇	一九五	一六五	三七一
合計	三五	三五	七〇	一七〇	三一	二〇一	一七〇	三八二
合計	三六	三六	七二	一七五	三二	二〇七	一七五	三九四
合計	三七	三七	七四	一八〇	三三	二一三	一八〇	四〇六
合計	三八	三八	七六	一八五	三四	二一九	一八五	四一八
合計	三九	三九	七八	一九〇	三五	二二五	一九〇	四三〇
合計	四〇	四〇	八〇	一九五	三六	二三一	一九五	四四二
合計	四一	四一	八二	二〇〇	三七	二三七	二〇〇	四五四
合計	四二	四二	八四	二〇五	三八	二四三	二〇五	四六六
合計	四三	四三	八六	二一〇	三九	二四九	二一〇	四七八
合計	四四	四四	八八	二一五	四〇	二五五	二一五	四九〇
合計	四五	四五	九〇	二二〇	四一	二六一	二二〇	五〇二
合計	四六	四六	九二	二二五	四二	二六七	二二五	五一四
合計	四七	四七	九四	二三〇	四三	二七三	二三〇	五二六
合計	四八	四八	九六	二三五	四四	二七九	二三五	五三八
合計	四九	四九	九八	二四〇	四五	二八五	二四〇	五四〇
合計	五〇	五〇	一〇〇	二四五	四六	二九一	二四五	五五二
合計	五一	五一	一〇二	二五〇	四七	二九七	二五〇	五六四
合計	五二	五二	一〇四	二五五	四八	三〇三	二五五	五七六
合計	五三	五三	一〇六	二六〇	四九	三〇九	二六〇	五八八
合計	五四	五四	一〇八	二六五	五〇	三一五	二六五	六〇〇
合計	五五	五五	一一〇	二七〇	五一	三二一	二七〇	六一二
合計	五六	五六	一一二	二七五	五二	三二七	二七五	六二四
合計	五七	五七	一一四	二八〇	五三	三三三	二八〇	六三六
合計	五八	五八	一一六	二八五	五四	三三九	二八五	六四八
合計	五九	五九	一一八	二九〇	五五	三四五	二九〇	六六〇
合計	六〇	六〇	一二〇	二九五	五六	三五一	二九五	六七二
合計	六一	六一	一二二	三〇〇	五七	三五七	三〇〇	六八四
合計	六二	六二	一二四	三〇五	五八	三六三	三〇五	六九六
合計	六三	六三	一二六	三一〇	五九	三六九	三一〇	七〇八
合計	六四	六四	一二八	三一五	六〇	三七五	三一五	七二〇
合計	六五	六五	一三〇	三二〇	六一	三八一	三二〇	七三二
合計	六六	六六	一三二	三二五	六二	三八七	三二五	七四四
合計	六七	六七	一三四	三三〇	六三	三九三	三三〇	七五六
合計	六八	六八	一三六	三三五	六四	三九九	三三五	七六八
合計	六九	六九	一三八	三四〇	六五	四〇五	三四〇	七八〇
合計	七〇	七〇	一四〇	三四五	六六	四一一	三四五	七九二
合計	七一	七一	一四二	三五〇	六七	四一七	三五〇	八〇四
合計	七二	七二	一四四	三五五	六八	四二三	三五五	八一六
合計	七三	七三	一四六	三六〇	六九	四二九	三六〇	八二八
合計	七四	七四	一四八	三六五	七〇	四三五	三六五	八四〇
合計	七五	七五	一五〇	三七〇	七一	四四一	三七〇	八五二
合計	七六	七六	一五二	三七五	七二	四四七	三七五	八六四
合計	七七	七七	一五四	三八〇	七三	四五三	三八〇	八七六
合計	七八	七八	一五六	三八五	七四	四五九	三八五	八八八
合計	七九	七九	一五八	三九〇	七五	四六五	三九〇	九〇〇
合計	八〇	八〇	一六〇	三九五	七六	四七一	三九五	九一二
合計	八一	八一	一六二	四〇〇	七七	四七七	四〇〇	九二四
合計	八二	八二	一六四	四〇五	七八	四八三	四〇五	九三六
合計	八三	八三	一六六	四一〇	七九	四八九	四一〇	九四八
合計	八四	八四	一六八	四一五	八〇	四九五	四一五	九六〇
合計	八五	八五	一七〇	四二〇	八一	四五一	四二〇	九七二
合計	八六	八六	一七二	四二五	八二	四五七	四二五	九八四
合計	八七	八七	一七四	四三〇	八三	四六三	四三〇	九九六
合計	八八	八八	一七六	四三五	八四	四六九	四三五	一〇〇八
合計	八九	八九	一七八	四四〇	八五	四七五	四四〇	一〇二〇
合計	九〇	九〇	一八〇	四四五	八六	四八一	四四五	一〇三二
合計	九一	九一	一八二	四五〇	八七	四八七	四五〇	一〇四四
合計	九二	九二	一八四	四五五	八八	四九三	四五五	一〇五六
合計	九三	九三	一八六	四六〇	八九	四九九	四六〇	一〇六八
合計	九四	九四	一八八	四六五	九〇	五〇五	四六五	一〇八〇
合計	九五	九五	一九〇	四七〇	九一	五一一	四七〇	一〇九二
合計	九六	九六	一九二	四七五	九二	五一七	四七五	一一〇四
合計	九七	九七	一九四	四八〇	九三	五二三	四八〇	一一一六
合計	九八	九八	一九六	四八五	九四	五二九	四八五	一一二八
合計	九九	九九	一九八	四九〇	九五	五三五	四九〇	一一四〇
合計	一〇〇	一〇〇	二〇〇	四九五	九六	五四一	四九五	一一五二

科 理 屋 業	新 聞 雜 誌	布 衣 公 務	床 教 用 務	演 藝 行 業	家 內 勞 働	金 融 業	醫 藥 業	產 婆 看 護 等	附 屬 字 所	醫 生 所 係	辯 護 士 業	向 轉 同 居	其 他	計	累 計
								一			一	四		六	二五
												六		一一	六五
												一〇		一七	九〇
												八		一九	一〇九
															八
												五〇		八四	六三四
												五八		一〇三	七五二
												二三九		二二二	九六四
										九				九	二二
												三三六		三五七	二二六三九
										九		五五五		五八八	二七二〇
										九		四三三		七〇八	三三五一
										九		五五六		三九五	三三五一
										七		六六六	三七	三九五	三三三

秘

新警高秘外第七八四號ニ

昭和十三年十二月十四日

新竹州知事

赤堀鐵吉

臺灣總督

各州知事廳長

總督官房外務部長殿

渡支取締ニ関スル件

昭和十三年十一月申ニ於テ身分證明書
並ニ渡航證明書發給狀況別表ノ通リ有
之候条

三渡航日的調

目的別	區介		計
	北支方面	南支方面	
父母上回禮ノ夕	一	一	二
商業其他方面經營ノ夕	一	一	二
商業視察	一	一	二
學業研究ノ夕	一	一	二
其他私費	一	一	二
自給自足ノ夕	一	一	二
建築費	一	一	二
娯樂費	一	一	二
高學費	一	一	二
中級學費	一	一	二
初級學費	一	一	二
父兄訪問	一	一	二
計	三	三	六
北支方面	三	三	六
南支方面	三	三	六
計	六	六	十二
北支方面	三	三	六
南支方面	三	三	六
計	六	六	十二
北支方面	三	三	六
南支方面	三	三	六
計	六	六	十二
北支方面	三	三	六
南支方面	三	三	六
計	六	六	十二

⑬ 2 渡支取締ニ関スル件「新竹州知事」(昭14:1:11)

祕

新警高秘外第一五一號

昭和十四年一月十日

新竹州知事

赤堀 鐵吉

臺灣總督小林路造

殿

各州知事廳長

殿

外務部長

殿

渡支取締ニ関スル件

昭和十三年十二月中ニ以テル身分證明書至ニ渡

航證明書等給狀況表ノ通リニ有之候系

右報告(通報)ス

〔中略〕

三渡航目的調

目的別	北支方面			上海方面			南支方面		
	内	朝	本計	内	朝	本計	内	朝	本計
職									
又上下同居									
又上下同居									
南支新就業婦									
石所料理屋經營									
石所従業員									
運糧船手傭									
炊事被傭									
高索調査									
登用									
自動營業經營									
運糧船手傭									
食堂給仕									
旅館經營									
被傭									
郵船運到全朝報等									
古物商店經營									
新就業經營									
商船經營									

[以下略]

⑬ 渡支取締ニ関スル件「新竹州知事」(昭14・2・15)

秘

新警高祓外第一〇三號

昭和十四年二月十五日

新竹州知事 林田正治

台湾總督 小林 踏造 殿
各州知事 廳長 殿
總督官房外務部長 殿

渡支取締ニ関スル件

昭和十四年一月中ニ於ケル身分證明書並ニ渡航
證明書發給狀況左表ノ通りニ有之候条
右報告(通報)ス

〔中略〕

累計	計	建築大工	醫業	訪問	カフ工 經營	被備	商用	就職	家族同居	飲食店經營 並其他營業員	安所從業員	無業
四												
一												
二〇	三		二				一					
二五	三		二				一					
三七	一											
一九二	二六		一	一		二	五	八	二			
二二九	二七		一	一		二	五	八	二			
九七	一一						一			三		
五五	一								一			
二八二	一三九	九六		一	四	九	四	一	五	六	三	
四三四	一五一	九六		一	四	九	五	一	六	九	五	

()

納

新警高紋外第一九三號

昭和十四年三月十七日

新竹州知事 林田正治

臺灣總督 小林 路造 殿

各州知事 廳長 殿

總督官房外務部長 殿

渡支取締ニ関スル件

昭和十四年二月申ニ於ケル身分證明書

並ニ渡航證明書發給狀況別表ノ通リニ

有之候条

〔中略〕

三、渡航目的調

果計	計	級	産	業	校	親類訪向	就	戻旅同持	送	補	大	女	親	慰安所就業	商	皇軍慰問	目的別	
																	内地人	朝鮮人
																		北支方面
																		内地人
																		朝鮮人
																		本島人
																		計
																		上海方面
																		内地人
																		朝鮮人
																		本島人
																		計
																		支那方面
																		内地人
																		朝鮮人
																		本島人
																		計
																		支那方面
																		内地人
																		朝鮮人
																		本島人
																		計

一了

渡航警察部秘外第三三五二號

昭和十四年四月十九日

新竹州知事 林田正治

臺灣總督 殿

總督官房外務部長 殿

各州知事廳長 殿

渡支取締ニ関スル件

昭和十四年三月甲ニ於ケル身分證明書並ニ渡航證明書發給狀況、渡航別表及渡航目的調別表、通ニ有之候条

右報告(通報)一ス [中略]

三、渡航別表

目的別	北支方面		上海方面		南支方面	
	内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人
北支方面	一三	一三	一三	一三	一三	一三
上海方面	六一	六一	六一	六一	六一	六一
南支方面	六二	六二	六二	六二	六二	六二
計	一三五	一三五	一三五	一三五	一三五	一三五
累計	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五

三、渡航目的の調

目的別	北支方面		上海方面		南支方面	
	内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人
北支方面	一三	一三	一三	一三	一三	一三
上海方面	六一	六一	六一	六一	六一	六一
南支方面	六二	六二	六二	六二	六二	六二
計	一三五	一三五	一三五	一三五	一三五	一三五
累計	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五

以下略

昭和十一年三月三十一日現在

秘

新警高秘外第六六五七號ニ

昭和十四年八月三十一日

新竹州知事 一番ヶ瀬佳雄

警務局長各州知事廳長

總督官房外務部長

各郡守警署署長

殿殿殿

渡支取締方ニ関スル件

昭和十四年七月中、於ケル渡航身分證明書並ニ外國旅券添給状況別表ノ通りニ有之候条
右通報(牒)ス

三渡航目的調

七月分

目的別	北支方面		上海方面		南支方面	
	内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人
視察	一				一	
家族同棲			一		三	
就職			一		三	
被傭					五	
雜貨商					二	
女給	一					
吳服商					一	
大工					二	
軍慰安所					一	四
香茅油販賣					一	四
計					六	六
計					七	六
計					三	一
計					六	六
計					三	七
計					一	六
計					五	六
計					三	六
計					一	六
計					二	一
計					一	一
計					九	三
計					九	一

〔以下略〕

秘

新警高秘外第7329號

昭和十四年九月十二日

新竹州知事 一番ヶ瀬佳雄

警務局長各州知事廳長殿
總督官房外務部長殿
各郡警察署長殿

渡支取締方ニ関スル件

昭和十四年八月申ニ於テハ渡航身分證明書並ニ外國旅券發給狀況別表一通リニ有之候条

右通報(牒)ス

三、渡航目的の調

八月分

目的別	北支方面			上支方面			南支方面		
	内地人	朝鮮人	本島人	内地人	朝鮮人	本島人	内地人	朝鮮人	本島人
視察						四	二		二
家族同棲						八			二二
就職				二		七	三		二二
被傭			一			一		六	六
雜貨商						二		四	四
酌婦支給									五
大工									一
軍慰安所							六	五	一
家事打合	一			一		一		三	三
計						二			二
計						二			二
計						二			二
計						二			二
計						二			二
計						二			二
計						二			二
計						二			二

(三)

累計計	計		看護婦	帽子商	煉乳職工	賣藥商	運輸業
七	一						
一	一						
四	一						
五	二						
五	三						
一	一						
三	四		一				
五	五		一				
五	六						
六	七						
六	八						
六	九						
六	十						
六	十一						
六	十二						
六	十三						
六	十四						
六	十五						
六	十六						
六	十七						
六	十八						
六	十九						
六	二十						
六	二十一						
六	二十二						
六	二十三						
六	二十四						
六	二十五						
六	二十六						
六	二十七						
六	二十八						
六	二十九						
六	三十						
六	三十一						
六	三十二						
六	三十三						
六	三十四						
六	三十五						
六	三十六						
六	三十七						
六	三十八						
六	三十九						
六	四十						
六	四十一						
六	四十二						
六	四十三						
六	四十四						
六	四十五						
六	四十六						
六	四十七						
六	四十八						
六	四十九						
六	五十						
六	五十一						
六	五十二						
六	五十三						
六	五十四						
六	五十五						
六	五十六						
六	五十七						
六	五十八						
六	五十九						
六	六十						
六	六十一						
六	六十二						
六	六十三						
六	六十四						
六	六十五						
六	六十六						
六	六十七						
六	六十八						
六	六十九						
六	七十						
六	七十一						
六	七十二						
六	七十三						
六	七十四						
六	七十五						
六	七十六						
六	七十七						
六	七十八						
六	七十九						
六	八十						
六	八十一						
六	八十二						
六	八十三						
六	八十四						
六	八十五						
六	八十六						
六	八十七						
六	八十八						
六	八十九						
六	九十						
六	九十一						
六	九十二						
六	九十三						
六	九十四						
六	九十五						
六	九十六						
六	九十七						
六	九十八						
六	九十九						
六	一百						

()

秘

新警高秘外第八。八九號

昭和十四年十月十二日

新竹州知事 一番瀬 佳雄

警務局長各州知事廳長殿
總督官房外務部長殿
各郡守警察署長殿

渡支取締方二関スル件

昭和十四年九月中ニ於テハ渡航身分証
明書並ニ外國旅券發給狀況別表ヲ通リ
ニ有之候條

三渡航目的調

九月分

目的別	北支方面		上海方面		南支方面	
	内地人	朝鮮人 本島人	内地人	朝鮮人 本島人	内地人	朝鮮人 本島人
祖 衆						
家族同棲			一		四	一
就職	一			七	五	二
被 傭			一	五		四
雜貨商				四	三	三
酌 給 (女 給)					三	三
養 鶏 業						一
經營						一
業 慰 安 所					一	二
家事打合					三	四
運輸業			二		二	
計						

				累計	計	測量師	就學	飲食店カフ 工務	商用	筆通譯	(産波)
				九	二				一		
				一							
				五	五	一	一				
				六	七	一	一		一		
				五	三						
				四	二						一
				九	二						一
				四	四						
				二	四				一		
				三	九						
				七	八						
				八	五	一		一	一	五	一
				二	七	一		一	二	五	一

秘

新渡言高秘外第八七二七號

昭和十四年十一月十三日

新竹州知事 一番ノ瀨 佳雄



警務局長各州知事廳長殿
總督官房外務部長殿
各郡守 警奉四署長殿

渡支取締方ニ関スル件

昭和十四年十月中ニ於ケル渡航身分證明
書並ニ外國旅券發給狀況別表ノ道リニ
有之候条

奥小	計		松原産業事業費	石垣 王事監督	日本通運會 北員	徳交會 役員	皇室顧問	時計商	家事打合	革 屬
九	、									
一	、									
五三	一									
六三	一									
五四	一				一				、	
、	、				、				、	
四六	一七				、				三	
四八〇	一八				一				三	
三五〇	二一		三	一		、	、	、		、
八二	四		、	、		、	、	、		、
九三	四四		、	、		一	一	一		五
一三三四	五九		三	一		一	一	一		五

火
上

秘 新渡支取締方ニ関スル件 第四〇二號

昭和十四年十二月十三日

新竹州知事 一番瀨 佳雄

警務局長 各州知事廳長 殿
總督官房外務部長 殿
各郡守警務署長 殿

渡支取締方ニ関スル件

昭和十四年十一月申ニ於テハ渡航身分
證明書並ニ外國旅券發給狀況別表ノ
通リニ有之候条

果 計	計			酌 婦	料 理 業 互	婦 保	醫 用 鐵 造 費	就 學	泰 弟 打 合	章 屬	皇 章 慈 河
九											
一											
五 七	四										
六 七	四										
五 四											
四 三 一	五								一		
四 八 五	五								一		
二 五 七 二 一 一	七 二 九			五	一				一		二
九 八 一	七 九					一	一	一	二	一 三	
二 三 四 九	二 一 二			五	一	一	一	一	三	一 三	二

秘

新警高秘外第二六四號

昭和十五年一月十五日

新竹州知事

一番ヶ瀬 佳雄

警務局長各州知事廳長殿
總督官房外務部長殿
各郡守 警察署長殿

渡支取總方ニ關スル件

昭和十四年十二月中ニ於ケル渡航身分證
明書並ニ外國旅券發給狀況別表一通
ヨリ有之候条

累計	計			帽子商	貸入刀爭	爲真樹林所 販賣之存貯	海產物商	商業規條	浮市打合	貿易商	就學
九	、										
一	、										
六三	大										四
七三	大										四
五四	、										
、	、										
四一	一〇										
四九	一〇										
二六一	四			、	、		、	、	、	、	
一一一	、			、	、		、	、	、	、	
一〇八	一〇二			、	、		、	、	、	、	
一四五	一〇五			、	、		、	、	、	、	

秘

新警高秘外第一〇二號

昭和十五年二月十六日

新竹州知事 一番ヶ瀬佳雄

警務局長各州知事廳長殿

總督官房外務部長殿

各郡守警察署長殿

渡支取締方ニ関スル件

昭和十五年一月中ニ於ケル渡航身分證

明書並ニ外國旅券發給狀況別表通

三渡航目的調

商	就	視	訪	叢	家	歸	被	就	目的	
									別	介
用	學	察	問	林	族	住	停	職		北
										支
										方
								一		面
								一		計
										上
										海
										方
	一		一		二	一	二	六		面
	一		一		二	一	二	六		計
		一		一			二	一		南
										支
										方
一		一		五	九	二	五	三		面
一		二		六	九	二	七	三		計

3

累		蒙
計	計	寧越安所從
九		
一		
六四	一	
七四	一	
五四		
四五四	一三	
五八	一三	
五六	五	
一一三	二	二
一三六	五四	
一三五	六一	二

丁

⑭ 渡支取締方ノ件〔台中州知事〕(昭14・1・17)

秘 中警高秘外第六七號

昭和十四年一月十七日

台中州知事

松岡一衛

台灣總督 殿

各州知事廳長 殿

各郡守警察署長 殿

渡支取締方ノ件

昭和十三年五月中當州於渡航身分證明書並外國旅券發給(本島人)狀況別表通リ有之候條



三、後龍目的調

天卜同棟	料理產經官	公勢出張	医院開業	家族引揚	商業觀察	商業	親族訪問	取產整理	就職	目的別	
										北支方面	南支方面
					一				一	親屬	北支方面
					一				一	親屬	北支方面
					一四	二			一	親屬	北支方面
					一五	二			二	親屬	北支方面
九	三	一	五		五五	三八	五	一	四三	親屬	北支方面
五						一			六	親屬	上海方面
										親屬	上海方面
四			一		一七	七			二七	親屬	上海方面
九			一		一七	八			三三	親屬	上海方面
二〇	一		二		五三	四五	三	六	三九	親屬	上海方面
一					三				一五	親屬	南支方面
										親屬	南支方面
五			一		四九	一七	二		六六	親屬	南支方面
六			一		五二	一七	二		五二	親屬	南支方面
四〇	一	二	八	一	二八九	二九	六	四	一五七	親屬	南支方面

累計	計	医業視察	病氣見舞	空軍慰問	修學	知人訪向	工業視察	布教	復讐	農業視察	慰勞所從業員	自動車業視察	家族訪向
三	二												
二													
一三	一八												一
八六	二〇												一
八六	一八六	一	一	一	一	三	二			一		六	一〇
七五	二												
二													
一九六	五七									一			
七五	六九									一			
二七三	七三		二	一	一	三	一			二		四	
九二	二										二		一
二四一	五七										五七		
二五八	一五五					二				三	一六		四
八三〇	二四〇					二				三	七五		五
八三〇	八三〇			一		二	一	二	一五	八	一三三	六	八

⑭ 2 渡支取締方ノ件「台中州知事」(昭14・2・13)

秘 中警高秘外第二二四號

昭和十四年 二月十三日

台中州知事 松岡一衛

臺灣總督

殿

各州知事廳長

殿

各郡守警察署長

殿

渡支取締方ノ件

昭和十四年一月 中當州ニ於テ渡航身分証明書並外國旅券發給(本島人)狀況別表ノ通リ

ニ有之候條、〔中略〕

三渡航目的調

公務出張	醫院肉業	家族引揚	商業視察	商業	親族訪問	財產整理	就職	目的別	
								內地朝鮮島人	計
							2		北支方面
				1					
			4	3			7		
			4	3			9		
1	5		59	41	5	1	52		計
				1			9		內地
									朝鮮
			18	2			11		島人
			18	3			20		計
			71	48	3	6	149		累計
			4	1			4		內地
				1					朝鮮
			22	24			25		島人
			26	25			29		計
2	8	1	215	145	1	4	186		累計

北支方面
上海方面
南支方面

果計	計					醫學視察	病象見解	兒童視向	修學	知人訪向	工業視察	布教	復飯	農業視察	遊學研究	自動學視察	家族訪問	夫上向樓	料理屋經營
35	2																		
21	1																		
154	22																	8	
210	24																	8	
210	210					1	1	1	1	3	2			1	6	10	17	3	
86	11																	1	
2																			
232	36																1	4	
320	47																1	5	
320	320					2	1	1	3	1			2	4	1	25	1		
102	10					1													
143	1																		
676	80								1									8	
921	91					1			1									8	
921	921					1	1		1	2	25	8	132	6	8	48	19		

⑭ 3 渡支取締方ノ件 [台中州知事] (昭14・3・11)

中警高秘外第六八〇號

昭和十四年三月十一日

台中州知事 松岡一衛

臺灣

總督殿

各州知事廳長殿

各郡守警察署長殿

渡支取締方ノ件

昭和十四年二月中当州ニ於テ渡航身分証明
書ヲ外國旅券并給(本島人)狀況左記ノ通

リニ有之候條

臺灣總督府

三 獲 航 目 的 調

料 理 屋 經 營	公 務 出 張	医 院 用 業	家 族 引 揚	商 業 視 察	商 業	親 族 訪 問	財 產 整 理	就 職	目 的 分	
									內 朝 本	計 算
									4	北 支 方 面
				9	2			3		內 朝 本
				9	2			3		計 算
3	1	5		68	43	5	1	55		計 算
									4	上 海 方 面
				22	5			10		內 朝 本
				22	5			14		計 算
1		2		99	53	3	6	163		計 算
				3	9			22		內 朝 本
					2			10		計 算
				34	20			20		內 朝 本
				37	81			52		計 算
19	2	8	1	252	196	6	4	238		計 算

總 督 符

累計	計	飯	校	医業	病乳	皇軍	婦	知人	工業	市	復明	農業	慰勞	自勵	家族	夫
計		任	廟	視察	見舞	慰問	子	訪問	視察	教	人	視察	慰勞	業	訪問	卜
35																
21																
174	20	1														5
230	20	1														5
230	230	1		1	1	1	1	3	2			1	6	10	2	2
94	8															4
2																
281	49			1												11
377	57			1												15
377	377			3	1	1	3	1			2	4	1	4	4	
139	37					1										2
158	15											3				
766	90	3		1								1	3	8	8	
1063	142	3		1	1							4	3	11	11	
1063	1063	3		2	2	2	3	1	2	4	8	7	6	11	5	

昭和十七年四月

⑭ 渡支取締方ノ件「台中州知事」(昭14・4・18)

樞 中警高 秘外第 二九五五號

昭和十四年四月十八日

台中州知事 松 岡 一 衛

台湾 總 督 殿

各州知事 廳長 殿

各郡守警署長 殿

渡支取締方ノ件

昭和十四年三月甲當州ニ於テ渡航身分證明書並ニ
外國旅券發給承認島ノ狀況別表ノ通リニ有之候条
右報告通報牒ス

三渡航目的調

料理屋營業	公務出張	医院病業	家族引揚	海業視察	商業	親族訪問	財産整理	就職	目的別	
									北支方面	上海方面
				一				一	見人	見人
									朝業	朝業
				六	五	二		二	奮人	奮人
				七	五	二		三	計	計
三	一	五		七	四	七	一	五	計	計
				二	一			二	見人	見人
									朝業	朝業
				三	一			一	奮人	奮人
				四	一			八	計	計
				六	二			二	計	計
一		二		九	六	三	六	三	計	計
				二	八			四	見人	見人
一					二	三		九	朝業	朝業
				六	二	五		七	奮人	奮人
				六	二	五		七	計	計
三				八	三	八		一	計	計
三	二	八	一	三	一	四	四	四	計	計

病氣見舞	皇軍慰問	修學	知人訪問	工業視察	布敷	復飯夕メ	浪業視察	慰安所從業員	労働事業視察	家族訪問	夫卜同持
		一									六
		一									六
一	一	二	三	二			一		六	一〇	六
							一			二	四
							一			二	四
三	一	一	三	一			三		四	三	四四四
				三						二	六
								三			三
				二			五		一	一〇	一三
				五			五		一	一一	三一
二	二		三	六	二	一三五	一三	三一三九	七	二三	七九

[以下略]

秘

中警高秘外第三八三四號

昭和十四年五月二十二日

臺中州知事松岡一衛

總務局長殿

總督官房外務部長殿

各州知事廳長殿

各郡警察署長殿

渡支取締方ノ件

昭和十四年四月中当州ニ於テ渡航身分證明書並ニ外國旅券發給(本島人)狀別表

臺中州警務部

第五號

三渡航目的調

目的別	北支方面				上海方面				南支方面			
	内朝	本	計	累計	内朝	本	計	累計	内朝	本	計	累計
就	二			二				二				二
親族訪問			八	一〇			一八	二六			一五	三六
親族訪問			四	四			二五	二九			三三	四九
商業視察	二		四	七	一		五	六			一〇	一七
商業視察			二	四			五	六			一〇	一七
家族訪問			四	四			五	六			一〇	一七
醫院訪問			四	四			五	六			一〇	一七
公務出張			一	一			二	二			三	四
公堂庭見			一	一			二	二			三	四
夫上同棲			一	一			二	二			三	四
家族訪問			一	一			二	二			三	四
自第事業			六	六			四	四			七	七
視察			二	二			五	五			六	六
從安所			一	一			一	一			一	一
從業視察			一	一			一	一			一	一
販賣							四	四			三	三
布販							四	四			三	三
販賣							四	四			三	三
販賣							四	四			三	三

秘

中警高秘外第四三三三號

昭和十四年六月十一日

台中州知事松岡三衛

警

務 務 局 長

殿

外

務 部 長

殿

各州知事廳長

各郡守警察署長

殿

渡支取締方ノ件

昭和十四年五月中當州下各郡署ニ於テ

首題ノ件別表ノ通り有之候條

三 渡航目的の調

目的区分	北支方面		上海方面		南支方面	
	内朝	本計	内朝	本計	内朝	本計
家族訪問		6		5		7
夫上同様		6	1	18		31
料理屋經營				19	1	1
公務出張						
医院開業					2	
家族引揚						
商業視察	1	21	1	16	171	57
商業	1	6	2	12	90	39
親戚訪問				5	13	2
財産整理					6	
就職		4		19		128
合計		4	2	21	227	166
累計		17		5		4
累計		28		19		150
累計		9		1		22
累計		5		2		8
累計		101		171		429
累計		55		90		266
累計		11		13		20
累計		1		6		4
累計		22		21		656

累計	計	通	殖	飯	演	匠	病	皇	修	知	工	布	復	農	慰	交
計		款	行	任	業	業	氣	軍	人	業	業	飯	業	所	從	業
					視	視	見	慰	訪	視	教	魚	視	業	業	視
143	2															
21																
256	45							3	2				2			1
320	47							3	2				2			1
320	320			1	1	1	1	5	3	4			3			7
119	6															
2																
505	85	2			1			1		5						1
626	91	2			1			1		5						1
625	626	2	1		4	3	1	2	3	8			4	0		5
324	62							2								
184	2															
1455	391							23		3			3			7
1963	385							223		3			3			7
1963	1963			1	8		2	2	126	9	2	125	19	147		27

昭和十一年四月

⑭ 17 渡支取締方ノ件〔台中州知事〕(昭14・7・18)

中警高秘外第六一三五號

昭和十四年七月十八日

臺中州知事 松岡一衛

警務局長 殿
外務部長 殿
各州知事廳長 殿
各郡守警察署長 殿

渡支取締方ノ件

昭和十四年六月中當州下各郡署ニ於ケル首題ノ件別表ノ通
リニ有之候條

右 通 報 (牒) ス

累計	計	通	隨	歸	演	醫	病	皇	修	知	工	布	復	農	駐
計		訊	行	任	劇	業	凡	軍	子	人	業	教	歸	業	守
						視	見	慰		訪	視		多	視	行
						察	舞	問		問	察			察	業
四六二一	五														
二七六	二〇									一					
三四五	二五									一					
五四五	三五			一		一	一	一	五	四	四			三	
一三三	一五														
二	一														
五五	五七														
六六	七〇														
五六六	六九六	二	一			四	三	一	二	三	八			四	
三五四	三〇								一						
一八八	四														
一六〇	一四九	二				一			三		五			一	
三四二	二七五	二				一			四		三			一	
二四二	三四二	二		一	三	一	二	二	三〇	三	一	二	二	一	一
													二	二〇	一四七



中警高秘外第六之七二號

昭和十四年八月十一日

台中州知事 松岡一衛

警務局長 殿

外務部長 殿

各州知事廳長 殿

各郡守警務署長 殿

渡支取締方ノ件

昭和十四年七月中當州下各郡署ニ於ケル首題ノ件別表ノ通りニ有之候條

右通報(牒)入

三、渡航目的調

交通業視察	家族訪問	夫ト同棲	料理屋経営	公務出張	医院開業	家族引揚	商業視察	荷家	親戚訪問	財産整理	就職	目的地別	
												内支方面	上海方面
	一	一					一		一		五	内地人	北支方面
												朝鮮人	
												支那人	
		一					一	二			二	計	
	一	二					二	二	一		七	累計	
九	一八	三二	三	一	五		九	六〇	一四		八七	内地人	
							一		二		一	朝鮮人	上海方面
												支那人	
	三	一					二	四	三		一四	本島人	
	三	一					三	四	三		一五	計	
	一	八	一		二		一	一〇	二		三五	累計	
五	一八	八一					八	一〇七	二		六五	内地人	南支方面
	八	六		一	一		二	五	一		一五	朝鮮人	
		二	一								三	支那人	
		九					四	一	六		四三	本島人	
	一	七	一	一	一		六	一	七		六〇	計	
	二〇	一七	一	一	一		六	一	七		七〇	累計	
七	六四	一七八	二三	七	九		四九	三九	四一		九〇	内地人	

界	計	理 政 業 経 営	通 訳	随 行	帰 性	演 劇	医 業 視 察	病 気 見 舞	皇 軍 慰 問	修 學	知 人 訪 問	工 業 視 察	布 教	複 誦 ノ タ ノ	農 業 視 察	慰 問 所 從 業 員
五五	九															
二一																
二八 四三 六〇	八 一七											一			一	
五六〇	五六〇				一		一		一	五	四	五			四	
二五四	二															
二																
五九 三 七 二 九	三 一 五 三									二		一			一	
七二 九	五 三 七 二 九		二	一			四	三	一	四	三	九			五	
五九 三	三 八				一											
二九 九	一 一															五
六九 九 三 六	九 五 一 四 四 三 六	一	三		一			五		一					一	
三六	一 一 四 四 三 六	一	三		二			三		一					一	五
三六	一 一 四 四 三 六	一	五		三	三	一	五	二 一	三 一	三	一 二	二	二 五	二 一	二 三



中警高脚外第七五五號

昭和十四年十月十二日

臺中州知事 松岡一衛

警務局長殿

外務部長殿

各州知事廳長殿

各郡守警察署長殿

渡支取締方ノ件

昭和十四年十二月中當州下各郡署ニ於ケル

首題ノ件別表ノ通りニ有之候條

右通報〔牒〕ス



三、渡航目的調

交通業視察	寫真業経営	家族訪問	夫卜同博	料理屋経営	商業	親戚訪問	財産整理	就職	目的別分	
									内地人	朝鮮人
			一						北支方面	
									朝鮮人	
									内地人	二
									計	三
									上海方面	
									朝鮮人	
									内地人	一三
									計	一三
			五	二	一				南支方面	
									朝鮮人	三
									内地人	五〇
									計	六四
一	一	二	八		四	二		五〇	六四	
一	四	五	二	五	二	一				

計	通譯	經業	婦社	修學	工業視察	果樹苗採取	農業視察	慰勞所従業員
一	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1
五	1	1	1	1	1	1	1	1
六	1	1	1	1	1	1	1	1
一	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1
三二	1	1	1	1	1	1	1	1
三三	1	1	1	1	1	1	1	1
三二	1	1	1	1	1	1	1	1
一六	1	1	1	1	1	1	1	10
七七	1	1	1	六	1	1	1	1
二五	1	1	1	六	1	1	1	10



中警高秘外第公六三號一

昭和十四年十二月廿日

台中州知事 松岡一衛

警務局長外務部長 殿

各州知事 廳長 殿

各郡守警署長 殿

渡支取締方ノ件

昭和十四年十一月中當州下各郡署ニ於ケル首題

ノ件別表ノ通りニ有之候條

右通報(牒)入

計	軍 通 談	株 式 總 會 出 席	歸 仕	病 見 罷 研	皇 軍 慰 問	修 學	遠 骨 受 領	復 歸 夕	慰 安 所 彼 業 賞	交 通 業 視 察
一										
九			二			一				
五			二			一				
五										
一六			二							
二一			二							
三〇			一						一	
五八									五三	
七七	一	二	一	四	二	一	二	一		一
一六九		二	一	五	二	一	二	一	五四	一



中警高祕外第 三二四號ノ一

昭和十五年一月十七日

臺中州知事 奥田達郎

警務局長外務部長 殿

各州知事廳長 殿

各郡守警察署長 殿

渡支取締方ノ件

昭和十四年十二月中當州下各郡署ニ於ケル首
題ノ件別表ノ通りニ有之候條

三度純目的調

就職	財產整理	親戚訪問	商業	商業視察	家族訪問	醫院南業	社務出張	料理屋經營	天人同棲	家族訪問	目的別		計	
											分	支	支	支
＝							一				九	內 支	支	方面
七									四		九	內 支	支	方面
九							一		四			內 支	支	方面
												內 支	支	方面
									一五		二〇	內 支	支	方面
												內 支	支	方面
									二五		二〇	內 支	支	方面
									一〇		一〇	內 支	支	方面
												內 支	支	方面
									三一		四七	內 支	支	方面
												內 支	支	方面
									四一		五八	內 支	支	方面

⑭ 渡支取締方ノ件「台中州知事」(昭16・8・18)

秘

中警高秘外第六一四號

昭和十六年八月十八日

台中州知事 森田 俊介

警務局長各州知事廳長殿

臺灣總督府外事部長殿

各郡守警察署長殿

渡支取締方ノ件

昭和十六年七月甲ニ於ケル首題ノ件別表ノ通りニ有之

右通報 (藤)ス

海陸航目的調

計	其 他	通 商 受 領	ト シ テ 並	台 托 從 業 員	病 氣 着 護 ノ	歸 任 ノ 爲	慰 安 所 從 業	從 事 ノ タ メ	興 業 工 學	商 業 經 營	同 業	目的地區分	
												内地人朝鮮人本島人計	内 地 人 朝 鮮 人 本 島 人 計
二	二	内地人朝鮮人本島人計
.	北支方面
六	一	二	三	内 地 人 朝 鮮 人 本 島 人 計
八	一	二	五	内 地 人 朝 鮮 人 本 島 人 計
二	二	.	内 地 人 朝 鮮 人 本 島 人 計
.	内 地 人 朝 鮮 人 本 島 人 計
二〇	一	一	.	.	一	二	.	.	.	二	五	八	内 地 人 朝 鮮 人 本 島 人 計
二二	一	一	.	.	一	二	.	.	.	二	七	八	内 地 人 朝 鮮 人 本 島 人 計
二三	一	一六	六	内 地 人 朝 鮮 人 本 島 人 計
七二	七	内 地 人 朝 鮮 人 本 島 人 計
二一七	二	.	三〇	三〇	.	五	.	一四	一四	三	五七	一〇六	内 地 人 朝 鮮 人 本 島 人 計
二四七	二	.	三〇	三〇	.	五	.	一四	一四	三	七三	一五	内 地 人 朝 鮮 人 本 島 人 計

⑮ 渡支取締ニ関スル件「高雄州知事」(昭14・2・14)

高警言高祕外第一二八〇號

昭和十四年二月十四日

高雄州知事 赤堀 鐵吉

台灣總督 殿

各郡守警察署長 殿

渡支取締ニ関スル件

首題一月分別表、通り

右報告(通牒)ス

高警高校外第三二八二號上

昭和十四年三月二十二日

高雄州知事 赤 堀 鐵 吉

台灣總督 殿

谷郡守警察署長殿

渡支取締ニ関スル件

首題ノ件二月分別表ノ通り

右報告(通牒)ス

(秘) 高警高秘外第三八〇八號

昭和十四年四月十二日

高雄州知事 赤坂鐵吉

臺灣總督殿

各郡守警察署長殿

渡支取締ニ関スル件

首題ノ件三月分列表ノ通り

右報告(通課)ス

⑮ 4 渡支取締二関スル件 [高雄州知事] (昭14・5・12)

(秘) 高警高秘外第三六七五號

昭和十四年五月十二日

高雄州知事 赤堀 鐵吉

台湾總督殿

各郡守警察署長殿

渡支取締ニ関スル件

首題ノ件四月分別表ノ通り

右報告(通牒)ス

渡航目的調

業及遊業手 工場復旧保 千運送保	千慰安 所千保	旅館業 千保	料理堂業 食店堂業	商業	皇軍慰問	視察	目的別	
							内地人	朝鮮人
1	1	1	1	1	1	3	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	2	1	1
1	1	1	1	1	1	5	1	1
1	1	1	1	1	1	3	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	4	1	3	1	1
1	1	1	1	4	1	6	1	1
16	2	17	8	4	4	23	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1
8	1	1	5	19	1	36	1	1
24	1	14	17	23	5	59	1	1

北支方面

上海方面

南支方面

[以下略]

高警高秘外第 四六三三 號

昭和十四年六月十三日

祕

高雄州知事 赤堀 鐵吉

臺灣總督 殿
各郡守警察署長 殿

渡支取締ニ関スル件

首題、件五月分別表、通り

右報告(通牒)ス

三渡航目的調

備考一、本表ハ渡航許可シタルモノ、数ヲ計上スルコト
 二、再渡航ハ事変ニ依リ引揚ケタルモノ、再渡航セルモノヲ計上スルコト

親 察	目的 別 区 分	
	内地人	朝鮮人
三	北支方面	
二	計	
五	上海方面	
二	計	
一〇	南支方面	
一二	計	
四	北支方面	
三	計	
一	上海方面	
二	計	
五	南支方面	
二	計	

累計	計	南支	上海	北支方面
六九一	一一〇	一〇四	八	一八
三九	三	二	一	
九六七	一五〇	一四〇	三三	七
一六九七	二七三	一六六	四二	一五
三	一	一		
一				
四一	四	三	一	
四五	五	四	一	

就職	親族 友族 向知	裁縫業	軍通譯	從業員 寫字 設工專	水道 工事	旅館 從業員	軍務 關係	右 從業員	飲食店 營業	高 業	學 業
一										三	
二	一										
三	一									三	
			一							四	
				一				一			
四			四					一		二	
四			五							六	
五	一	二	四	一	四	四	七	一	四	三	二
							一		一		
一	一	一	二	一			一	三	二	二	九
一	三	三	六	一	四	四	九	一	七	六	二

〔以下略〕

高警高校外第六。八六號

昭和十四年七月二十五日

高雄州知事 赤 塚 鐵 上考

臺灣總督 啟

各郡守警察署長 啟

渡支取締ニ関スル件

首題ノ件六月分別表ノ通り

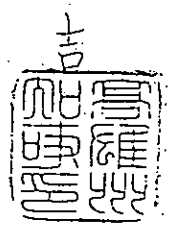
右報告(通牒)ス

高警高祿外第六九二四號

昭和十四年八月二十二日

(祕)

高雄州知事 赤堀 鐵



臺灣總督 殿

警務局長各州知事廳長 殿

各郡守警察署長 殿

渡支取締ニ関スル件

首題ノ件七月分別表ノ通

右報告(通報)(通牒)ス

三渡坑目的調

單 通 譯	右 從 業 員	飲 食 店 營 業	右 從 業 員	商 業	視 察	目的 別 分	
						內地人 朝鮮人 本島人	計
		一	二		一	內地人 朝鮮人 本島人	北 支 方 面
				一	三		
		一	二	一	四	計	
				五	三	內地人 朝鮮人 本島人	上 海 方 面
				七	七		
				一 二	一 〇	計	
三	四	三	九	一 二	八	內地人 朝鮮人 本島人	南 支 方 面
		一					
八	一 〇	二	一 九	二 〇	一 五		
二 一	一 四	六	二 八	三 二	二 二	計	

計	其他	就職	親族卜同居	親族及知友 等訪問	土木事業	運輸事業関係	仕事業関係	軍慰安所係
一三		一		八				
一二	一	二		四		一		
二五	一	三		一二		一		
一三				五				
三八			二	一九	三			
五二			二	二四	三			
一一〇	三	四	五	一七	一三	四	八	一七
六一				二				
一一一	三	二	八	一六	八	五	五	
二二七	六	六	一三	二五	二一	九	一三	一七

高警高校外第七三五號

昭和十四年九月十八日

(校)

高雄州知事 赤 堀 鐵 吉

臺灣 總 督 殿

警務局長各州知事廳長殿

各郡守警察署長殿

渡支取締ニ関スル件

首題ノ件八月分列表ノ通

右報告通報(牒)ス

一、渡航身分證明書並外國旅券(本島人)發給状況 (八月分)

地方別	計		北支方面	上海	南支	計	累計
	内地人	朝鮮人					
内地人	八	二	二	二	二	二	一〇六七
朝鮮人	二	二	二	二	二	二	四八
本島人	二	二	二	二	二	二	一四二〇
計	一〇	四	四	四	四	四	六五二四
内地人	二	二	二	二	二	二	一四
朝鮮人	二	二	二	二	二	二	九
本島人	二	二	二	二	二	二	二
計	四	四	四	四	四	四	二三

二、渡航別表

地方別	計		北支方面	上海	南支	計	累計
	内地人	朝鮮人					
内地人	八	二	二	二	二	二	一〇六四
朝鮮人	二	二	二	二	二	二	四七
本島人	二	二	二	二	二	二	一三六七
計	一〇	四	四	四	四	四	二二七八
内地人	二	二	二	二	二	二	二
朝鮮人	二	二	二	二	二	二	一
本島人	二	二	二	二	二	二	五四
計	四	四	四	四	四	四	五八

三、渡航目的別

目的地	北支方面		上海方面		南支方面	
	内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人
内地人	八	二	二	二	二	二
朝鮮人	二	二	二	二	二	二
本島人	二	二	二	二	二	二
計	一〇	四	四	四	四	四
内地人	二	二	二	二	二	二
朝鮮人	二	二	二	二	二	二
本島人	二	二	二	二	二	二
計	四	四	四	四	四	四

高警高校外第八三。三號

(後) 昭和十四年十月十四日

高雄州知事 赤 堀 鐵 吉

臺灣 總 督 殿

警務局長各州知事之長殿

各郡守警察署長殿

渡支取締ニ関スル件

首題、件九月分別表、通

三 渡航目的の調

視察	目的の区分	
	内地人	北支方面
一	朝鮮人	方面
一	本島人	
一	計	
一	内地人	上海方面
一	朝鮮人	
一	本島人	
二	計	
二	内地人	南支方面
二	朝鮮人	
四	本島人	
六	計	

累計	計	南支	上海	北支方面	方面	
					内地人	朝鮮人
計	二一五四	八三	二	五	内地人	朝鮮人
	九〇	一	一		本島人	計
	四九	一一三	二九	三		内地人
	一四五	一九七	三二	八		朝鮮人
	二五					本島人
	一五					計
	三					内地人
	一					朝鮮人
	五六	一	一			本島人
	六〇					計
	二					
	一					
	一					

親族訪問	右従業員	旅館営業	土木事業 干休	運輸事業 干休	鉄工事業 干休	軍慰安所 干休	軍通譯	右従業員	飲食店営業	右従業員	高業
				二							
						一					
							一			四	六
				二		一	一			四	六
二				一	六	一		八	六	四	二
二				〇		一					
二	一	一	三	四	四	二	一	一	二	九	八
二	一	一	三	一	一	二	一	一	八	一	一
四				四	〇	二	一	九		三	〇

四 其ノ他参考事項

ナシ

累計	計	其他	就職	親族同居
五〇	五	一	一	二
四〇	三		一	一
九〇	八	一	二	一
八一	二			
二二七九	一三〇		五	一二
二六二	三三		五	二
九一四	八三	一	三	七
四六一四九	一一四		一三	二六
二一〇九	一九八	七	一六	三三

⑮ 10 渡支取締ニ関スル件「高雄州知事」(昭14・11・16)

高警高校外第九〇八九號

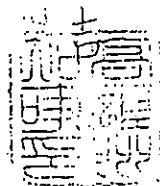
昭和十四年十一月十六日

(秘)

高雄州知事 赤

堀

鐵



臺灣總督 殿

警務局長各州知事廳長 殿

各郡守警察署長 殿

渡支取締ニ関スル件

首題 十月分別表ノ通

一身分證明書並外國旅券(本島人)發給狀況(十月分)

二渡航別表

地方別	計	北支方面			上海方面			南支方面		
		內地人	朝鮮人	本島人	內地人	朝鮮人	本島人	內地人	朝鮮人	本島人
計	一三八八	一三一	一四	一〇一	二九	九	一	五七	六一	
內地人	六四	一四	一〇一	三六	四二	七	一四			
朝鮮人	一七〇	一四〇	二八五							
本島人	七〇	一〇	一〇							
計	三〇五九	二八五	二二六	四二	七					
內地人	一四									
朝鮮人										
本島人										
計	二四	一〇								

三渡航別表

地方別	計	北支方面			上海方面			南支方面		
		內地人	朝鮮人	本島人	內地人	朝鮮人	本島人	內地人	朝鮮人	本島人
計	二八五	一三一	一四	一〇一	二九	九	一	五七	六一	
內地人	六三	一四	一〇一	三六	四二	七	一四			
朝鮮人	一七〇	一四〇	二八五							
本島人	七〇	一〇	一〇							
計	三〇五九	二八五	二二六	四二	七					
內地人	一四									
朝鮮人										
本島人										
計	二四	一〇								

計

否

初

渡

航

兩

渡

航

地方別

北支方面

上海方面

南支方面

其他	製糖石業関係	電業工事関係	就職	親族同居	親族訪問	右従業員	旅館営業	土木事業	運輸事業	鐵工事業	軍務上所関係	軍道譯	右従業員	料理屋飲食店営業	右従業員	高業	視察
			=	-												-	
																-	
=																	
三			=	-												=	
一			一		三											一	
																二	五
二			=	二		一						一				二	三
三			三	二	三	一						一				=	三
八	一		五	二					一	一	八		一	二	一	九	一
	三	四											三				
											一	四					
	六		二	二	五	五	二	三	四		一	四	八	四	四	八	二
一	一		二	四	七	五	二	三	一	一	三	四	二	六	一	一	三
一	九	四	六	六					四	〇	三	四	一	六	五	七	

[以下略]

⑮ 渡支取締ニ関スル件「高雄州知事」(昭14・12・20)

高警高祕外第九八九一號

昭和十四年十二月二十日

祕

高雄州知事

赤

堀

鐵

吉

臺灣總督殿

警務局長各州知事之長殿

各郡守警察署長殿

渡支取締ニ関スル件

首題十一月分別表ノ通

右報告、通報(牒)ス

一、渡航身分証明書並外國旅客(本島人)發給狀況 (十一月分)

高雄州

二、渡航別表

累計	計	南支	上海	北支方面	地方別	
					内地人	朝鮮人
一四三二	一四四	一三六	八		内地人	朝鮮人
八六	二二	二二			本島人	計
一八四〇	一三三	一〇一	二八	四		
三三五八	二九九	二五九	三六	四		
一四					内地人	朝鮮人
一〇					本島人	計
二四						

累計	計	南支	上海	北支方面	地方別	
					内地人	朝鮮人
一四二九	一四四	一三六	八		内地人	朝鮮人
八五	二二	二二			本島人	計
一七八二	一三一	一〇〇	二七	四		
三二九六	二九七	二五八	三五	四		
三					内地人	朝鮮人
一					本島人	計
五九	二	一	一			
六三	二	一	一			

⑮ 12 渡支取締ニ関スル件「高雄州知事」(昭15・1・15)

高雄警署高祿外第一八四號

昭和十五年一月十五日



高雄州知事 赤 堀 鐵 吉

臺灣總督 殿

警務局長各州知事之長 殿

各郡守警察署長 殿

渡支取締ニ関スル件

首題十二月分別表ノ通

右報告通報(牒)ス

一、渡航身分證明書並外國旅券(本島人)發給狀況(十二月份)

果計	計	南支方面	上海方面	北支方面	地區別			計	內地人	朝鮮人	本島人
					許	否	計				
一五七	八五	八〇	三	二	內地人	朝鮮人	本島人	計	內地人	朝鮮人	本島人
八八	三	三			計	計	計	計	計	計	計
一九九	一五九	一二二	三二	四	計	計	計	計	計	計	計
三六〇	二四七	二〇五	三六	六	計	計	計	計	計	計	計
一四					內地人	朝鮮人	本島人	計	內地人	朝鮮人	本島人
一〇					計	計	計	計	計	計	計
二四					計	計	計	計	計	計	計

二、渡航別表

果計	計	南支方面	上海方面	北支方面	地區別			計	內地人	朝鮮人	本島人
					初	渡	航				
一五三	八四	七九	三	二	內地人	朝鮮人	本島人	計	內地人	朝鮮人	本島人
八八	三	三			計	計	計	計	計	計	計
一九四	一五九	一二二	三三	四	計	計	計	計	計	計	計
三五四	二四六	二〇四	三六	六	計	計	計	計	計	計	計
四	一	一			內地人	朝鮮人	本島人	計	內地人	朝鮮人	本島人
一					計	計	計	計	計	計	計
五九					計	計	計	計	計	計	計
六四	一	一			計	計	計	計	計	計	計

⑮ 13 渡支取締ニ関スル件「高雄州知事」(昭15・2・19)

高警官高祿外第九一八號

昭和十五年二月十九日

〔秘〕

高雄州知事 齋 堀 鐵 吉

臺灣總督 殿

發言務局長各州知事長殿

各郡守警署長殿

渡支取締ニ関スル件

首題一月分別表ノ通

右報告通報ノ件

渡航身分證明書並外國旅券(本島人)發給狀況(二分)

累計	計	南支方面	上海方面	北支方面	地方別		內地人	朝鮮人	本島人	計	計	否
					區	分						
五六	五六	五四	二		內地人	朝鮮人	一	一〇三	一六二			
					朝鮮人	本島人	一	一〇二	一六二			
					計	計	二	二一	一二六			
					計	計	三	三	三			

渡航別表

累計	計	南支方面	上海方面	北支方面	地方別		內地人	朝鮮人	本島人	計	計	計
					區	分						
五六	五六	五四	二		內地人	朝鮮人	一	一〇三	一六〇			
					朝鮮人	本島人	一	一〇三	一六〇			
					計	計	二	二一	一二四			
					計	計	三	三	三			

⑮ 14 渡支取締ニ関スル件「高雄州知事」(昭16・8・25)

高警高秘外第五七二〇號

昭和十六年八月二十五日

高雄州知事 坂口 主 税

臺灣總督 殿
警務局長 殿
各州知事 片長 殿
各郡守警察署長 殿

渡支取締ニ関スル件



四、其他參考事項

カシ

了

累計	計	其他	就職	婢僕トシテ	親族ト同居	一時的用務	缺工事業	運輸事業干係	鑛業干係	漁業	農業	軍務安所	與空院工務干係
九	四		一		三								
一一	二				一			一					
二二	六		一		四			一					
一五	一												
一三	二	二	一	二	八		一						
一三	二												
一九	〇	二	一	二	八		一						
二七	六	一		一	三	五		二				一五	一
三三	一				一								
三六	一				六	五	三	五	二	二	七	五	一四
六五	一				九	一							
九四	一				八	〇	三	七	二	二	七	〇	一五
四五	三	一	一	三	八	〇	三	七	二	二	七	〇	一五

⑮ 15 渡支取締二関スル件「高雄州知事」(不明)

「渡支取締二関スル件」(本島人) 發給状況(七月分) 高雄州

北支方面		上海		南支		計		果計	
内地人	六	二七	一四	四七	一五	一四	一五	一四	一五
朝鮮人			五	九	三三	六	三三	六	三三
本島人	五	二七	二九	六一	一六	二	一六	二	一六
計	一一	五八	四八	一七	三三	二	三三	二	三三
内地人		二							
朝鮮人									
本島人									
計									

二渡航別表

許

否

初

渡

航

南

渡

航

初

内
地
人

朝
鮮
人

本
島
人

計

内
地
人

朝
鮮
人

本
島
人

計

北
支
方
面

二
七

五

四

二
五

五
六

上
海

二
七

一
四

二
七

五
八

二

二

二

二

警

高

能

州

前報事件	租界	老葉	就	皇	租	目的		三渡航日的調	累計	計	南支方面
						別	分				
	四		一		一	內	北	一三六	四六	一四	
						外	支				
		一			四	對	方	三三	九	五	
	四	一	一		五	查	面	一一五	五三	三三	
	二	一	一六	五	三	計	上				
		四				對	海	二八四	一九八	四二	
	三	四	八		一三	對	方	一七	一	一	
	五	五	四	二四	五	查	面				
			七	四	三	計	南				
		五				對	支				
三	一	九	三	一	二	查	方	四七	八	六	
三	一	五	九	一〇	五	計	面	六四	九	七	州

	四	計
	計	
	二	六
	四	
	六	
	一	五
	九	
	四	一
	九	一
	百	三
	六	七
	一	四
	〇	
	八	三
	八	七
	二	五
	〇	八
	四	
	一	四
	八	
	一	五
	八	
	五	三
	五	九
	九	四
	六	八

其他	親族向者	干 軍務 關係	料理 屋	商 業	就 職	視 察	日 區 分		三 度 稅 目 的 結	累 計	計	南 方 面
							北 方 面	南 方 面				
					二		買 入	賣 入	三三二	八六	六一	
								賣 入	七六	二九	二六	
					二		計		三三九			
				二	一四	五	買 入	賣 入	七二七	一一五	八七	
			三					本 賣 入	三一	二	二	
			三	三	一四	五	計		四	一	一	
		四		一	四	二	買 入	賣 入	七三			
		二六				一		賣 入				
								計	一〇八	三	三	
		六八		一	四	三						

[以下略]

(一月分) 渡支取締二関スル月報
 一、渡航身分證明書並外國旅券發給狀況 (本島人)
 臺 東 廳

累計	計	南支	上海	北支 方面	地區	
					方別	分
一九	一一	一	、	一〇	内地人	許
二	二	、	、	二	朝鮮人	
三	三	、	、	、	本島人	
五	一三	一	、	一二	計	
五	五	一八	一七	一八	累計	
、	、	、	、	、	内地人	否
、	、	、	、	、	朝鮮人	
、	、	、	、	、	本島人	
、	、	、	、	、	計	
、	、	、	、	、	累計	

三、渡航目的調

大同棲	就職	業經營	去南洋	赴皇	訪親	親族	視察	農	視察	海軍	視察	復	目的區別		
													北支方面	南支方面	
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
一	一	、	、	、	三	、	、	、	、	、	一	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	四	五	一	、	、	、	、	、	七	、	、	、	、	、
、	、	、	一	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三	、	、	、

				累計	計	從業員	慰勞所	右永族	經理	料屋	業營	自轉車
				一〇	一〇	、	、	六	=	=	、	、
				=	=	—	—	、	、	、	、	、
				六	、	、	、	、	、	、	、	、
				八	三	—	七	=	=	、	、	、
				八	八	—	七	=	=	、	、	、
				八	、	、	、	、	、	、	、	、
				、	、	、	、	、	、	、	、	、
				九	、	、	、	、	、	、	、	、
				一七	、	、	、	、	、	、	、	、
				一七	一七	、	、	、	、	、	、	、
				一	一	、	、	、	、	、	、	、
				、	、	、	、	、	、	、	、	、
				一七	、	、	、	、	、	、	、	、
				八	、	、	、	、	、	、	、	、
				八	八	、	、	、	、	、	、	—

①6 2 渡支取締月報 (二月分) 「台東庁」 (昭14・?)

(二月分) 渡支取締月報 台東廳
 一、渡航身分證明書並外國旅券發給狀況

累計	計	南支	上海	北支方面	地區別	
					内地人	朝鮮人
二一	二	、	二	、	許	内地人
二一	九	九	、	、	許	朝鮮人
三二	、	、	、	、	許	本島人
六四	一一	九	二	、	計	計
/	六四	二七	一九	一八	累計	累計
、	、	、	、	、	否	内地人
、	、	、	、	、	否	朝鮮人
、	、	、	、	、	否	本島人
、	、	、	、	、	否	計
、	、	、	、	、	否	累計

三渡航目的調

夫 卜 同 樽	就 職	業 各 營	土 木 軍 業	皇 軍 向	親 部 族	視 察 業	農 業 察	視 察 業	商 業 察	復 級	目的區別	
											內地人	外人
												北支方面
												朝發本島
												計
一	一				三				一			累計
	一											內地人
												上海方面
												朝發本島
												與人
	一											計
	一	四	五	一					七			累計
												內地人
												南支方面
									一			朝發本島
												與人
									一			計
				一	一	一	一	一	一	三		累計

				計	酒 營	從 業 婦	慰 子 所	從 業 員	右 家 族	料 理 營	業 務 營	自 轉 車
			一〇	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			=	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			六	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			八	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			△	八	、	一	七	=	=	、	、	、
			一〇	=	一	、	、	、	、	、	、	、
			、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			九	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			一九	=	一	、	、	、	、	、	、	、
			△	九	一	、	、	、	、	、	、	、
			一	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			九	九	、	、	六	一	一	、	、	、
			一七	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			二七	九	、	、	六	一	一	、	、	、
			△	二七	、	、	六	一	一	一	一	一

渡支取締二関スル月報

三月分

臺 東 廳

一 渡航身分證明書並外國旅券發給狀況

累計	計	南支	上海	北支方面	地區	
					方別	分
二九	七	四	三		內地人	許
一四	四	一	三		朝鮮人	
三六	四	三	一		本島人	
七九	一五	八	七		計	
	七九	四七	二六	六	累計	
					內地人	否
					朝鮮人	
					本島人	
					計	
					累計	

三渡航目的詞

夫上月持	就職	業各營	未建業	庭向單	訪問	親族知已	視察	農業	視察	海運業	視察	復飯	目的區分	
													北支方面	南支方面
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	西人	北支方面
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	朝鮮人	
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	本支	
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	計	
一	一	、	、	三	、	、	、	、	一	、	、	、	累計	上海方面
、	一	、	、	一	、	、	、	、	、	、	、	、	西人	
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	朝鮮人	
、	一	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	本支	
、	二	、	、	一	、	、	、	、	、	、	、	、	計	南支方面
、	三	四	五	二	、	、	、	、	七	、	、	、	累計	
、	一	、	、	、	、	、	、	、	二	、	、	、	西人	
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	朝鮮人	
、	一	、	、	一	一	、	、	、	、	、	、	、	本支	南支方面
、	二	、	、	一	一	、	、	、	二	、	、	、	計	
、	二	、	一	二	二	一	一	一	三	三	三	三	累計	

			累計	計	公務出張	商業	酒保	從業員	從業員	右族	右族	料理	冬營	自轉車
			、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			六	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			六	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			/	六	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			三	三	一	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			三	三	、	、	、	、	三	、	、	、	、	、
			一〇	一	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			三六	六	一	、	、	、	三	、	、	、	、	、
			/	三六	一	、	一	、	三	、	、	、	、	、
			六	四	、	一	、	、	、	、	、	、	、	、
			一一	一	、	、	、	、	一	、	、	、	、	、
			三〇	三	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			四七	八	、	一	、	、	一	、	、	、	、	、
			/	四七	、	一	、	一	四	三	三	一	、	、

四月分
渡支取締二関スル月報
臺 東 廳

一 渡航身分證明書並外國旅券發給狀況

地區	方 別				計	累計
	内地人	朝鮮人	本島人	計		
許	三二	一四	三九	八五	八五	
	三	、	三	六	八五	
任	、	、	、	、	、	
	、	、	、	、	、	
計	、	、	、	、	、	
	、	、	、	、	、	
累計	三二	一四	三九	八五	八五	
	三	、	三	六	八五	
北支方面	、	、	、	、	六	
	、	、	、	、	六	
上海	、	、	二	二	二	
	、	、	二	二	二	
南支	三	、	一	四	五一	
	三	、	一	四	五一	
計	三	、	三	六	八五	
	三	、	三	六	八五	
累計	三二	一四	三九	八五	八五	
	三	、	三	六	八五	



三、渡航目的別

冬 雪	白 雪 草 業	天 上 同 棲	就 職	二 木 建 築 業 各 營	慰 問 軍	訪 問	視 察 知 己	視 察 業	視 察 業	視 察 業	復 販	目的別	
												北支方面	南支方面
												内地人	北支方面
												朝鮮人	北支方面
												本島人	北支方面
												計	北支方面
		一	一			三				一		累計	北支方面
												過人	上海方面
												朝鮮人	上海方面
			一									本島人	上海方面
			一									計	上海方面
			四	四	五	二				七		累計	上海方面
												内地人	南支方面
												朝鮮人	南支方面
										一		本島人	南支方面
										一		計	南支方面
一			二		一	二	二	一		一四	三	累計	南支方面

			累計	計	自治 警察	公務 出張	商業	酒 保	稅 務	從 業員	右 族	右 族	科 理 營
			、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			六	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			六	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			六	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			六	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			三	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			三	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			三	二	一	、	、	、	、	、	、	、	、
			八	二	一	、	、	、	、	、	、	、	、
			八	三	一	一	、	一	、	三	、	、	、
			九	三	、	一	二	、	、	、	、	、	、
			二	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			三	一	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			一	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			五	四	、	一	二	、	、	、	、	、	、
			二	五	、	一	三	、	一	二	三	三	三

五月分渡支取締二関スル月報 台東廳

一 渡航身分證明書並外國旅券發給狀況

累計	計	南支	上海	北支方面	地區別	
					内地人	朝鮮人
三七	五	五	、	、	許	内地人
一四	、	、	、	、		朝鮮人
四五	六	一	四	一		本島人
九六	一一	六	四	一		計
/	九六	五七	三二	七		累計
、	、	、	、	、		内地人
、	、	、	、	、		朝鮮人
、	、	、	、	、		本島人
、	、	、	、	、		計
、	、	、	、	、		累計

許

否

三 後航目的調

各 自 區 車 業	天 上 同 機	就 職	業 各 營	慰 皇 軍	訪 親 族 知 己	視 察 業	視 察 業	視 察 業	視 察 業	復 取	目的區分	
											內地人	朝鮮人
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	內地人	北 支 方 面
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	朝鮮人	
、	、	、	、	、	、	、	、	一	、	、	本島人	
、	、	、	、	、	、	、	、	一	、	、	計	
、	一	一	、	、	三	、	、	二	、	、	累計	
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	內地人	上 海 方 面
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	朝鮮人	
、	一	一	、	、	、	、	、	二	、	、	本島人	
、	一	一	、	、	、	、	、	二	、	、	計	
、	一	五	四	五	二	、	、	九	、	、	累計	
、	、	、	、	五	、	、	、	、	、	、	內地人	南 支 方 面
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	朝鮮人	
、	、	、	、	、	、	、	、	一	、	、	本島人	
、	、	、	、	五	、	、	、	一	、	、	計	
一	、	二	、	六	二	二	一	五	三	三	累計	

			果計	計	遊技場 三營	公務出張	商業	酒保	從業員	射所	從業員	右所	右家族	科連 營
			、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			七	一	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			七	一	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			△	七	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			三	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			三	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			一六	四	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			三	四	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			△	三二	一	一	、	一	、	三	、	、	、	、
			三	五	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			二	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			二	一	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			五七	六	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			△	五七	、	一	三	、	一	一四	三	三	三	三

六月分渡支取締三関スル月報
 臺 東 廳

一 渡航身分證明書並外國旅券發給狀況

累計	計	南支	上海	北支方面	地區	
					方別	分
三八	一	一	、	、	内地人	許
一四	、	、	、	、	朝鮮人	
四八	三	一	二	、	本島人	
一〇〇	四	二	二	、	計	
/	一〇〇	五九	三四	七	累計	
、	、	、	、	、	内地人	否
、	、	、	、	、	朝鮮人	
、	、	、	、	、	本島人	
、	、	、	、	、	計	
、	、	、	、	、	累計	

三 渡航目的調

冬 白 松 葉	天 上 博	就 職	二 未 建 禁 業 營	慰 問 軍	訪 問	視 察 知 己	視 察 業	視 察 業	視 察 業	復 政	目的區分	
											內地人	朝鮮人
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	北 支 方 面
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	一	一	、	、	三	、	、	、	二	、	、	計
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	累 計
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	地 人
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	一	、	、	、	一	、	、	、
、	、	、	、	、	一	、	、	、	一	、	、	、
、	一	五	四	五	三	、	、	、	一〇	、	、	計
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	累 計
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	地 人
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	一	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	一	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
一	一	三	、	六	二	二	一	一	五	三	、	計
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	累 計

南
支
方
面

	料理屋	各營	右家族	切所	從業員	慰年所	從業員	酒保	商業	公務出張	遊技場	學生	職員	事務員	累計
															七
															七
														七	／
														三	三
														三	三
														二	一八
														二	三四
														三	三四
										一	一			一	／
														一	三五
														、	一一
														、	一一
														一	三三
														一	五九
										一	一			一	／
									三					九	五九

七月分 渡支取締月報

臺 東 廳

一 渡航身分證明書並外國旅券發給狀況

累計	計	南支	上海	北支方面	地區別	
					内地人	朝鮮人 本島人
四二	四	一	一	二	許	
一四					計	
五三	五	五			累計	
一〇九	九	六	一	二	否	
/	一〇九	六五	三五	九	計	
					累計	
					計	
					累計	

三、渡航目的別

冬	自航車業	天向博	就職	土木建築業	慰問軍	訪問	視察	視察	視察	視察	復級	目的別	
												北支方面	上海方面
、	、	一	、	、	、	、	、	、	、	、	、	内地人	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	朝鮮人	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	本島人	、
、	、	一	、	、	、	、	、	、	、	、	、	計	、
、	一	二	、	、	三	、	、	二	、	、	、	累計	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	内地人	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	朝鮮人	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	本島人	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	計	、
、	一	五	四	五	三	、	、	一	、	、	、	累計	、
、	、	一	、	、	、	、	、	、	、	、	、	内地人	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	朝鮮人	、
、	、	、	、	、	、	、	、	一	、	、	、	本島人	、
、	、	一	、	、	、	、	、	一	、	、	、	計	、
一	一	三	、	六	二	二	一	一	六	三	三	累計	、

累計	計	呼 計	精 務 員	國 王 親 監	遊 技 場	公 務 員 張	商 業	酒 保 管	從 業 員	慰 勞 所	從 業 員	右 派 族	右 派 族	全 理 營
二	二	.	.	.	一
.
七
九	二	.	.	.	一
/	九	.	.	.	一
二四	一	一
三
一八
三五	一	一
/	三五	一	一	一	一	.	一	.	三	
三〇	五	四
一一
二四	一
五	六	四
/	六五	四	一	.	一	三	.	一	一四	三	三	.	.	

八月分渡支取締月報
台東廳

一 渡航身分證明書並外國旅券發給狀況

果計	計	南支	上海	北支方面	地區別	
					内地人	朝鮮人
四七	五	一	四	、	許	内地人
一四	、	、	、	、	許	朝鮮人
五三	、	、	、	、	許	本島人
二四	五	一	四	、	計	計
/	二四	六六	三九	九	累計	累計
、	、	、	、	、	否	内地人
、	、	、	、	、	否	朝鮮人
、	、	、	、	、	否	本島人
、	、	、	、	、	計	計
、	、	、	、	、	累計	累計

三 渡航目的

各 業	白 粉 車 業	天 上 同 機	就 職	業 各 業	三 木 建 築	皇 軍 向	訪 親 族 知 別	視 察 業	視 察 業	視 察 業	復 級	目的 的 分		
												內地人 朝鮮人 本島人 計	累計	
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	北 支 方 面
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	一	二	、	、	、	三	、	、	、	二	、	、	、	、
、	二	一	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	上 海 方 面
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	二	一	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	三	六	四	五	三	、	、	、	一	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	南 支 方 面
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
二	一	三	、	六	二	二	一	一	一	三	、	、	、	、

累計計	計	農林業 漁業	畜產 養蠶	林業	礦業	公務出張	商業	酒保	從業員	村所	家族	料理 營生
三												
七												
九												
/	九					一						
一八	四		一									
三												
一八												
三九	四		一									
/	三九		二	一	一	一	一		三			
三一	一					一						
二												
二四												
六六	一					一						
/	六六		一	四		二	三		一	四	三	三

九月分

臺東廳

一、渡航身分證明書並外國旅券發給狀況

累計	計	南支	上海	北支方面	地区	
					方別	分
四九	二	一		一	内地人	許
一四					朝鮮人	
五五	二		二		本島人	
二八	四	一	二	一	計	
/	二八	六七	四一	一〇	累計	
					内地人	不
					朝鮮人	
					本島人	
					計	
					累計	

累計	計	事務員	事務員者	呼	遊技場至警	公務出張	商	酒保至警	社安所従業員	在所従業員	在	家族
三	一						一					
七												
一〇	一						一					
/	一〇					一	一					
一六												
三												
一〇	二											
一四	二											
/	四		二	一	一	一	一			三		
三	一											
二												
一四												
一七	一											
/	六	一	四		二	三			一	一	四	三

十月分

臺 東 廳

一、渡航身分證明書並外國旅券發給狀況

累計	許	南方方面	上海方面	北支方面	地區別	
					內地人	朝鮮人
五二	三	三			內地人	許
一五	一	一			朝鮮人	許
六一	六	三	三		本島人	許
一二八	一〇	七	三		計	許
	一二八	七四	四四	一〇	累計	許
					內地人	不
					朝鮮人	不
					本島人	不
					許	不
					累計	不

累計	計	呼	産業視察	遊技場各營	公務出張	商	酒保各營	駐在所従業員	在所従業員	左家族
三										
七										
一〇										
一〇	一〇				一	一				
一八										
三三										
三三	三	一								
四三	三	一								
四三	四	三		一	一		一		三	
五三	三		一		二					
六一	一							一		
七一	三									
四七	七		一		二			一		
四七	四	四	一		四	三		二	一	三

十一月分

臺 東 廳

一 渡航身分證明書並外國旅券發給狀況

累計	計	南支方面	上海方面	北支方面	地 區 分	
					内地人	朝鮮人
五	=	=			内地人	朝鮮人
四						
一						
五						
六	一	一			本島人	許
=						
三	三	三			計	
一						
/	一三一	七十七	四十四	一〇	累計	
					内地人	否
					朝鮮人	
					本島人	
					計	
					累計	

總計	貿易商各業	呼奇	產業視察	遊技場各業	公務出張	商業	酒保各業	駐在所從業員	在所從業員	右家族
三										
七										
一〇										
/	一〇				一	一				
一八										
三										
三										
四										
/	四四	三		一	一		一		三	
三七	二		一							
一										
一八	一	一								
七七	三	一	一							
/	七七	一	四	二	四	三		二	一四	三

東警言高秘乙第八五番ノ一

昭和十五年一月十七日

臺東廳長 藤田淳 教

警務局長及各知事廳長殿
總督官房外務部長殿

渡支取締方ノ件

昭和十四年十二月中ニ於テ首題ノ條下別表ノ通

リニ有之候條

右通報ス

東警高秘外第555号ニ

昭和十五年二月十四日

臺東廳長 藤田淳 敬

警務局長各知事廳長 殿
總督官房外務部長 殿

渡支取締月報

首題ノ件ニ關シ一月中ニ於ケル状況別表ノ通りニ有
之候条

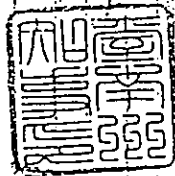
右通報ス

	累 計	業 計	經 貿 日 商 學	呼 岸	產 業 視 察	遊 技 營 揚	公 務 出 張	高 業	酒 保 經 營	慰 安 所 從 業 員	台 從 業 員	石 窟 採
	三											
	八											
	一一						一	二				
	一八											
	三											
	二 四	一										
	四 五	一										
	/	四 五		三		一	一		一		三	
	四 二	五					三					
	一 三											
	二 九											
	八 三	五					三					
	/	八 三		四	二		×	三		二	一 四	三

南警高秘外第五四四號

昭和十四年一月二十日

臺南州知事 川村道臣



總督官房外務部長殿

渡支取締ニ関スル件

昭和十三年十二月中ニ於ケル當州下渡支取締
狀況別表記載ノ通ニ有之候條
右通報ス

三渡航目的論

目的地	目的別							計
	內地人	朝鮮人	本島人	就職	料理店	飲食店	同居	
北支方面				一	二	九		九
				一	二	九		九
上海方面							一	二
							一	二
南支方面				三	五	二五	七〇	七二
				三	五	二五	七二	七二
南支方面				一	二	九	四	一六
				一	二	九	四	一六
合計				四	九	八	八六	一〇九
				四	九	八	八六	一〇九
合計				四	九	八	八六	一〇九
				四	九	八	八六	一〇九

南警高秘外第七八〇〇號ノ

昭和十四年九月六日

臺南州知事川村直岡

臺灣總督官房外務部長殿

渡支取締ニ関スル件

昭和十四年七月中ニ於ケル當州下渡支取
締状況表記載ノ通ニ有之候条
右通報ス

軍 通 訊	商 業	親 族 訪 問 <small>(家 族 及 親 屬)</small>	同 居 同 伴	飲 料 食 店	就 職	視 察	目的 別	
							北 支 方 面	上 海 方 面
			一		二	二	地 區	北 支 方 面
					一		朝 鮮 人 本 身	
	一				三	七	許	
	一		一		六	九	許	
		四				三	地 區	上 海 方 面
							朝 鮮 人 本 身	
	八	二			五	一 九	許	
	八	六			五	三	許	
		二 三	二 一		九	二	地 區	南 支 方 面
				一 三			朝 鮮 人 本 身	
一	四 七	三 三	四 四	三 三	三 四	三 六	許	
一	四 七	三 五	六 五	一 六	四 三	三 八	許	
一	五 六	四 一	六 六	一 六	五 四	六 九		

三) 渡航目的

事業	遺引	若物	慰安	建築	製菓	自動車	商店	官衙	留學生	外務	運送	養魚
業	取	取	所	請負	工	手	負	負	生	省	業	業
業								一				
			一									
			一					一				
								丁				
一				二			三					一
一				二			三	一				一
				二			一	三		一		
		一	二									
一	一			二	一	六	〇	五	一	一	一	二
一	一	一	一	三	一	六	一	八	一	二	一	二
二	一	一	二	五	一	六	一四	一〇	一	二	一	三

五
六
七
八
九

料理屋飲食店 女給酌量店	裁縫業 仕事	医務仕事
九		
九		
一		
一		
一五		
五	一四	二
二二	一四	二
三一	一四	二

昭和十一年統計

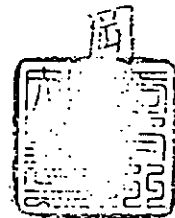
〔以下略〕

①7 3 渡支取締ニ関スル件「台南州知事」(昭14・12・12)

秘 南警高秘外第一〇六一七號ニ

昭和十四年十二月十二日

台南州知事 川村直



警務局長殿
外務部長殿

渡支取締ニ関スル件

昭和十四年十一月中迄ナル當州下渡支取締狀況別
表記載ノ通ニ有之候條
右通報ス

（三）渡航目的

皇軍慰問	歸還者	運築土木	運輸交通	訪問	同居同伴	料理屋敷等 終局無結果	就職	視察	目的別	
									内地人	朝鮮人 本島人
							一		内地人	北支方面
									朝鮮人 本島人	
							一		計	
									内地人	上海方面
									朝鮮人 本島人	
				二	三		三	五	計	
				二	三		三	五	計	南支方面
一 二				二	一 六		八		内地人	
						一 四			朝鮮人 本島人	
一		三	三	一 二	三 二	四	一 八	五 五	計	合計
一 三		三	三	一 四	四 八	一 八	二 六	二 五	計	
一 三		三	三	一 六	五 一	一 八	三 〇	三 〇	合計	

電氣工事	軍酒保從業	會社事務員	医院手傳	慰安所	旅館手傳	農業	養豚	産婆	軍通譯	學校教員 講師	高業
五						一					二
五						一					二
二	二	一		二	二						一
、	、	、		三九	、						、
一三	一	、	一	、	、	一	一	一	一	一	三三
一四	三	一	一	四	二	一	一	一	一	一	三四
一九	三	一	一	四	二	一	一	一	一	一	四五

[以下略]

26
y p
)

秘 南警高秘外第一四三ノ號・五

昭和十五年二月二十六日

台南州知事 石井龍 循



警務局長殿
外務部長殿



渡支取締ニ関スル件

昭和十五年一月中ニ於ケル當州下渡支取締狀況別表記
載ノ通ニ有之候條

右通報ス

(三) 渡航目的

商 業	歸 還 多	建 築 土 木	運 輸 交 通	訪 問	同 居 同 伴	料理屋敷 終身事業	就 職	視 察	目 的 別	
									內地人	朝鮮人 本島人
										北支方面
										內地人
										朝鮮人
				一			一	一		本島人
三										計
二				一			一	一		
										上海方面
										內地人
										朝鮮人
										本島人
一				一	六		三	七		計
三	一									
一				一	六		三	七		
三	一									
										南支方面
										內地人
										朝鮮人
										本島人
五				二	二		一			計
					六	一				
				一	三	二	二	三		
八	一	七	五	八	六	二	〇	三		
				二	五	三	三	二		
八	一	七	五	二	三	三	三	二		
五										
										合計
一〇〇	二	七	五	三	五	三	三	三		
				一	九	三	八	一		

入 金 工	旅 館	兵 業	官 公 吏	整 井 多	農 業	畜 產	慰 字 所 炊 事 婦	仲 居	酌 婦	魚 苗 運 搬	製 糖 夜 事	通 譯
			二									
			一									
			一		一							
			一		一							
									二		一	
							二	一	五			
一	一	三	二	七	三	一				一		九
一	一	三	二	七	三	一	二	一	六	一	一	九
一	一	三	四	七	四	一	二	一	七	一	一	九

							合計	看護婦	寫真業
							一		
							五		
							六		
							四		
							四		
							四		
							五		
							三	一	一
							三	一	一
							三	一	一
							三	一	一

大

秘

花警高秘外第五六〇二號

昭和十四年十月十四日

花蓮港廳長

高原逸



警務局長殿
外務部部長殿
各州知事廳長殿
各郡守殿

渡支取締方ノ件

昭和十四年九月中ニ於ケル渡航身分證明書並ニ外國旅券發給狀況左記ノ通ニ有之候條
右通報(達)ス

累計	計	事務員者	呼定可	遊技場至營業	公務出張	商業	酒保至營業	駐在所従業員	在所従業員
三	一					一			
X									
一〇	一					一			
/	一〇				一	一			
八									
三									
二〇	二								
四一	二								
/	四一		二	一	一		一		三
三三	一								
二二									
四四									
五七	一								
/	六七	一	四		二	三		一	四

廣警高秘第1357号

昭和十四年二月七日

澎湖廳長

今田卓



臺灣總督 小林啓造殿

渡支取締ニ関スル件

昭和十四年一月中、於ケル渡支取締状況別表ノ
通リニ有之候條
右報告トス

澎湖警高秘第五一九號

昭和十四年五月九日

澎湖廳長

今田卓正



臺灣總督小林濟造殿

渡支取締ニ関スル件

本年四月中ニ於ケル渡支取締状況別表
ノ通リニ有之候條
右表生口ス



⑬ 3 渡支取締二関スル件「澎湖庁長」(不明)

七月 分 (澎湖庁)

一 渡航身分證明書並外國旅券發給(本島人)狀況

總計	地方別			計	再渡航		
	北支方面	上海方面	南支方面		內地人	朝鮮人	本島人
八六			一九	六九			一
一九			一四	一六			一
計			計	五			計
			本島人	二四			二
			計	二四			二

二 渡航列表

計	地方別			計	再渡航		
	北支方面	上海方面	南支方面		內地人	朝鮮人	本島人
一八			一八	一四			一
一八			一四	二			一
計			計	二			計
			本島人	二			二
			計	二			二

三、統目的調

目 的 分	北 支 方 面		上 海 方 面		南 支 方 面	
	內地人 朝鮮人 泰島人	計	內地人 朝鮮人 泰島人	計	內地人 朝鮮人 泰島人	計
慰勞同胞及同伴					三	三
右使甲乙丙					三	二
夫人呼聲及同伴					三	三
花 叢 聯					、	、
果 計					五	三
果 計					二	三
累 計	一	三	三	六	八	六
	一	三	一	二	一	三
					六	五
					二	二
					六	九
					九	四

因其一他 參考事項

昭和十年在上海總領事館警察事務狀況

同警察署長報告摘錄

目次

- 一 地方治安ノ概況
- 二 居留民ノ狀況
- 三 警察事務狀況
 - (一) 警察部第一課事務分掌
 - (二) 警察部第二課事務分掌
 - (三) 邦人戸口
 - (四) 邦人ノ請營業
 - (五) 警察文書

昭和九年中邦人ノ諸營業

種別	開業	廢業	年末現在
醫師	一五	一三	五四
齒科醫師	四		二四
獸醫師			四
入齒細工			三
藥劑師	六	五	一八
產婆	一〇	一	六七
看護婦	一四	五	五八
鍼灸按摩	三	一三	三四
整復術		一	三

外務省

湯	理	理	髮	職	人	髮	結	髮	美	容	術	宿	屋	下	宿	衆	宿	屋	料	理	屋	置	屋	飲	食	店	喫	茶	汁	粉	海	軍	慰	安	所	
	三	二	五	六	二	一	一	一	二	二	一	一	一	三	三	三	一	一	三	三	三	三	三	一	三	三	五	一	一	一	一	一	一	一	一	
三	四	〇	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三	六	九	二	二	二	二	二	二	二	一	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二

外
粉
省

昭和十一年中ニ於ケル在留邦人ノ特種婦女ノ狀況及其ノ取締（在上海總領事館警察署沿革誌ニ依ル）

藝伎

昭和十一年末現在ニ於ケル料理店兼置屋敷二十四軒藝伎ノ數百四十五名ニシテ前年ニ比シ軒數ニ於テ増減ナキモ藝伎十名減少シ又藝伎ノ總揚高ニ於テ昭和十年ノ三十六萬八千七百八弗ニ對シ昭和十一年ハ三十四萬三千七十四弗ニシテ前年ニ比シ二萬五千六百三十四弗ノ減少ヲ示セリ然ルニ日支經濟提携問題ノ擡頭生産物價ノ漸騰等ニ由リ紡績其ノ他商社方面ノ取引活況ヲ呈シ十一日以來ハ此等花街方面ニモ影響シ頓ニ好況時代ヲ現出スルニ至レリ藝伎ノ大部分ハ家計不如意ニ因ル者又ハ幼少ヨリ仕込トシテ抱ヘラルル

者等ニシテ教育程度低キモ近時社會狀勢又ハ國民思想ノ變遷及接客方比較的上層階級ニ屬スル等ノ關係上相當常識ニ長ク且契約年期滿了後再契約ヲ爲ス者稀ニシテ進ンデ他ノ正業ニ就カントスル者漸次増加ノ傾向アルト共ニ各營業主ニアリテハ之ガ爲新伎伎抱入ニ相當腐心シ居ル狀況ニアリ當館ニ於テハ右料理店兼糧屋ニ對シテハ保安風俗衛生上ノ取締ヲ勵行シ居ル外新規營業主及移業者ノ漸減策ヲ講ジツツアリ

三 酌婦

昭和十一年末現在ニ於テ（海軍慰安所タル料理店三軒ヲ含ム）ノ數八十軒酌婦數百三十一名（内内地人百二名ハ朝鮮人二十九名）アリテ内料理店三軒ハ居留邦人ヲ顧客ト爲シ他ノ七軒ハ海軍下士

兵ヲ専門トシテ絶對ニ地方客ニ接セシメズ且酌婦ノ健康診斷モ陸
 戰隊員及當館警察官吏立會ノ上毎週二回専門醫ヲシテ施行シアル
 ノ外慰安所ニ對シテハ海軍側トモ協調取締ヲ嚴ニシ且新規開業ヲ
 許サザルコトトセリ此等稼業者ハ孰レモ教育程度低キモ既往數年
 前ニ比シ品性常識共ニ幾分向上シツツアルヲ認メラルルト同時ニ
 女給「ダンサー」又ハ他ニ轉向セントスル者漸次増加ノ傾向ニ在
 リ一方抱入^入ニ付テハ前借ヲ認メズ稼高ノ折半契約方ヲ命令シ居ル
 モ事實上ノ娼妓稼業ト見ラルル本業ハ抱入ニ際シ幾分ノ前借アル
 ラ免レズ又此等ノ^者ニシテ時ニ自由廢業等ノ申出ヲ爲ス者等ア
 リテ其ノ都度臨機ノ措置ヲ講ゼリ

昭和十一年在上海總領事館警察事務狀況

同警察署長報告摘録

目次

一 地方治安ノ概況

二 在留邦人ノ狀況

三 支那官憲並ニ地方團體ノ在留邦人ニ對スル狀況

四 警察事務狀況

(一) 警察署（警察部第一課）事務分掌

(二) 警察部第二課事務分掌

(三) 邦人戸口

(四) 邦人ノ諸營業

(三) 昭和十一年十二月末調邦人戸口

種別	業者	區分		計
		分戸數		
		男	女	
内地人	六四四九	一、二五八五	一、一〇四八	二、三六三三
朝鮮人	四九六	八九七	九〇〇	一、七九七
臺灣籍民	三一〇	四〇八	二四三	六五一
計	七二六三	一、三八七〇	一、二一九一	二、六〇六一

(四) 昭和十一年十二月末調邦人ノ諸營業

醫師
齒科醫師
獸醫醫師

二二
二七
五

外務省

宿屋	下宿兼宿屋	料理店、 <small>兼</small> 圖尾	飲店	喫茶、汁粉	海軍慰安所	ダンスホール	俱樂部	演藝映畫館	遊戯場	印刷
一 七	二 八	二 三	一 二	二 七	一 〇	四	一 一	二 二	二 〇	三 〇

外務

省「以下略」

昭和十二年在上海總領事館警察事務狀況

同警察署長報告 摘 錄

目 次

一 上海ニ於ケル治安概況

二 在留邦人ノ狀況

三 警察事務狀況

(一) 警察署事務分掌

(二) 警察部第二課警察事務分掌

(三) 邦人戸口

(四) 邦人ノ諸營業

(五) 警察文書

〔中略〕

三 警察事務狀況

(一) 昭和十二年十二月末調警察署 (警察部第一課) 事務分掌

警察署長代理	警察事務								
監警兼外勤監捕	警視								
警務係	警部	—							
情報係	警部補				—				
行政係	巡查部長					二			
司法係	巡查					一	一		
崑山路派出所						一	六		
北四川路派出所						一	五		
	計					二	一		
						〇	〇		
						四	八		
						九	〇		
						五	〇		
						二	〇		
						三	〇		

外 務 省

昭和十二年邦人ノ諸營業

種別	開業	廢業	十二月末現在
醫 師	四	一	六五
齒 科 醫 師	四		二三
獸 醫 醫 師	一		六
入 齒 細 工			三
藥 劑 師	三	一	二一
產 婆	二	五	七三
着 用 護 婦	七		七六
鍼 灸 接 摩	一	〇	二九
整 復 術	二		四

海軍慰安所	喫茶汁粉	飲食店	料理屋置屋	下宿兼宿屋	宿屋	美容師	結髮	理髮職人	理髮	湯屋	
	四	五	一	一	一	一	五	一	四	一	
	一	一	三	一	二	三	八	一	七	一	
	九	三一	一二七	二三	二七	一五	三三	四九	一三五	五三	五

外務省

昭和十三年中ニ於ケル在留邦人ノ特種婦女ノ狀況及其ノ取締並ニ租界當局ノ私娼取締狀況（在上海總領事館警察署沿革誌ニ依ル）

一 藝妓

上海ニ於ケル藝妓ノ保護取締及待遇ノ改善等ニ關シテハ常ニ細心ノ注意ヲ拂ヒ居ル處ニ昭和四年五月當業者ヲシテ株式組織ノ檢番ヲ設置セシメ檢番料理店置屋及抱主藝妓間ニ於ケル貸借契約操業期間收得金ノ分配給與等ニ關シ命令ヲ以テ藝妓ノ待遇改善ヲ圖ルト共ニ更ニ客年末一部命令内容ヲ改善シ今日ニ及ビタルガ藝妓ニ對スル待遇等ノ實情ハ寧ロ内地ノ夫レニ比シ遙ニ改善ノ域ニ達シ居ルト謂ヒ得ベシ昭和十二年八月日支事變ノ戰禍メ上海ニ波及スルヤ一時全部ノ避難引揚ヲ見タルガ同年十二

月頃ヨリ漸次復歸シ現在料理店置屋二十七軒藝妓數二百五十七名
 ニシテ前年末ニ比シ四軒ノ増加數ニ於テ六十名ノ増員トナレリ
 又藝妓ノ總稼高ハ前年專變引揚ノ關係上二十三萬一千餘弗ナリシ
 ガ本年十二月末日現在ニ於テハ八十五萬九千八百餘圓ニ上レリ
 此等料理店置屋及藝妓等ニ對シテハ常ニ保安風俗衛生上ノ取締ヲ
 勵行シ來リタルガ支那專變ニ由ル當地情勢ハ從來ノ漸減策ヲ持續
 シ得ザル事情アルニ顧ミ設備其ノ他ノ條件ヲ附シ増加ヲ認許スル
 コトトシ三十二月末現在料理店及置屋二十七軒藝妓二百五十七名
 ニ上リ前年ニ比シ六十名ノ増員ヲ見タリ
 ニ酌婦

在留邦人經營ノ貸席ハ内地公娼制ニ依ル乙種藝妓（娼妓）ヲ抱ヘ

明治四十年七月貸席ヲ開業シタルモノナルガ昭和四年六月上海公
 安局ハ管下全般ニ亘リ支那人公娼廢止ヲ佈布スルト共ニ支那街ニ
 在リシ邦人業者ニ對シテモ閉鎖ヲ強要スル等ノ態度ヲ示シ一方ウ
 ニ呼應シテ本邦人ヲ以テ組織スル婦人矯風會上海支部モ公娼制ニ
 極力反對ヲ唱へ外務省ニ陳情スル等ノ運動ヲ爲シ社會問題トシテ
 取り擧ゲラレタル事アリ國際都市ニ於ケル邦人ノ體面ト社會風俗
 上常ニ問題視セララルルニ願ミ當館ニ於テモ同年公娼廢止ニ代ルベ
 キ辦法トシテ料理店酌婦制度ヲ設ケ爾來酌婦ノ改善ヲ計リ來リ
 タル處昭和七年上海事變勃發ト共ニ^{改令}内地部隊ノ當地駐屯増員ニ依
 リ此等兵士ノ慰安機關ノ一助トシテ海軍慰安所（事實上ノ貸席）
 ヲ設置シ現在ニ至リタル然ルニ本業者モ今次事變勃發ト共ニ一時

内地ニ避難シタルガ客年十一月頃ニハ常態ニ復シ其後在留邦人ノ
 激増ト共ニ滬月、未廣ノ貸席ヲ増シ十二月末日現在事實上ノ貸席
 十一軒（内海軍慰安所七軒ヲ含ム）抱酌婦百九十一名（内地人百
 七十一名朝鮮人二十名）トナリ前年ニ比シ七十三名ノ増員トナレ
 リ而シテ一般貸席四軒ハ殆ド居留邦人ヲ顧客トシ他ノ海軍慰安所
 七軒ハ海軍下士官兵ヲ専門ニ絶對地方客ニ接セシメズ且酌婦ノ健
 康診斷モ陸戰隊及當館警察官吏立會ノ上每週一回専門醫ヲシテ實
 施セシメ居ルモノナリ尙其ノ他當館管内ニ陸軍慰安所臨時的酌婦三
 百名アリ

私娼

上海ハ魔都ノ稱アルガ如ク遊客ノ好奇心ヲ誘フ歡樂場隨處ニ存
 在シ就中一般人士ヲシテ^愛感^愛セシムルモノハ私娼ニシテ特ニ共
 同租界繁華街タル南京路兩側ノ如キハ支那人私娼又ハ如何ハシ
 キ「ダンサー」等野鷄ト稱シテ出沒シ猥褻極マル言辭ヲ弄シ又
 ハ赤露ノ革命ニ由リ本國ヲ逃レ流浪セル白系露人ノ私娼^{ハ其ノ}
^數數五、六百名^{ヲ算テ}出沒シ彼等ハ常ニ取締ノ隙ニ乘ジ各處ニ^{出沒}シテ行
 客ヲ曳キ支那事變後ノ現在ニ於テモ邦人居住地區虹口及楊樹浦
 方面ノミニテモ約百五十名ノ多キニ達シ居レリ之ニ次グ本邦人
 私娼モ事變前二百五十名内外ト稱セラレタリシガ事變後戰時景
 氣ノ好況ニ由リ正業ニ轉ジ其ノ數著シク減ジ現在百五十名内外

大別は前頁に同じ

ト認メラル而シテ此等私娼ハ其ノ大半ハ朝鮮人ニシテ内地人私娼ノ大部分ハ一戸ヲ講ヘ支那人車夫等ヲ客引ニ使用或ハ租界内ニ慰安機關ノナキ陸軍兵士ヲ對手ニ語學教授主人ガ第一線ニ勤メ居ル留守宅又ハ其ノ他正業ヲ装ヒ密カニ賣淫行爲ヲ爲シ居レルガ轉々居所ヲ替ヘ之ガ取締上ノ少^甚カラザルモノアリ

六 租界當局ノ私娼取締狀況

共同租界當局ハ保安衛生風俗方面ヨリ私娼ノ取締ヲ重要視シ居レルモ甚シク公安秩序ヲ紊サザル範圍ニ於ケル或程度迄放任シ居ルガ如ク場合ニ依リテハ私娼ヲ利用シ租界繁榮策ノ一助ト爲サントスル傾向スラ見受ケラル、一九二四年上海共同租界工部局ニ於ケル廢娼ノ實行ハ翌年三月ヲ以テ終リヲ告ゲタルガ結果

昭和十三年在上海總領事館警察事務狀況

同警察署長報告摘錄

目次

一 地方治安概況

(一) 上海ニ於ケル抗日團ノ活動

(二) 抗日漢字紙ノ宣傳

二 警察事務狀況

(一) 警察部第一課警察事務分掌

(二) 警察部第二課警察事務分掌

(三) 邦人戸口

(四) 邦人ノ諸營業

四昭和十三年中邦人ノ諸營業

職營業

開業

廢業

年末現在

醫師

四

二

六七

齒科醫師

一

一

二三

獸醫

六

入齒細工

三

藥劑師

三

一

二三

產婆

一六

八九

看護婦

二九

一〇五

鍼灸按摩

一三

四二

整復術

二

六

外務省

工業原料藥品	藥種賣藥	古物商	行商	質屋	紹介周旋	通譯案内	興信告知	代書代辦	諸教授	療術行爲
一 三	二 〇	三 九	一 四		五			二	七	
一	四	一			一 〇					
四 一	九 〇	一 四 五	一 三 一	一 二	五	七	一 一	一 四	七 九	三 五

外
務
省

海軍慰安所	舞踏場	俱樂部	演藝活動館	遊藝場	活版銅版石版印刷判彫刻	土木建築請負	電氣瓦斯水道請負	運搬荷造請負	製造加工業
三	二	一	一	六	八	一 一 五	二 二	五 七	一 一 九
外	一	一	一	一	二	三			
務									
省	一 二	六 九	三 九	二 五	六 〇	一 八 一	六 九	九 三	三 六 九

在上海總領事館ニ於ケル特高警察事務狀況

昭和十二年
三月末
調查

目次

一般ノ狀況

一 在留內地人ノ狀況

二 在留朝鮮人ノ狀況

(一) 在留朝鮮人ノ戶口累年比較

(二) 在留朝鮮人ノ職業

(三) 在留朝鮮人ノ取締

(四) 要視察團體

1、民族主義派及混合團體

2、共產主義派團體

ニ在留朝鮮人ノ狀況

上海ニ於ケル在留朝鮮人ノ戸數及人口ハ復雜ナル各國權力ノ錯雜等周圍ノ關係上未ダ正確ナル調査ヲ遂グルヲ得ザルモ次表ノ如ク年々増加ノ傾向ヲ示シ來レルガ昭和十二年八月上海ニ勃發シタル日支事變ノ影響ヲ蒙リ著シク減少シ來シ年末現在ノ調査ニ依レバ戸數三百九十三戸人口男四百九十二女五百九十二計千八十三人ニシテ之ヲ前年末現在ニ比較スルトキハ戸數二百三戸人口男四百六人女三百八人計七百十四人ノ減少ヲ見タリ

(一) 在留朝鮮人々戸口ノ累年比較

昭和七年末	年次		人
	戸數	口	
四三八	男	七四二	計
六〇〇	女	一、三五二	

(二) 在留朝鮮人ノ職業

昭和十二年十二月末調

職業

本業者

電車査票	齒科醫師	娼婦	料理店	カフエー	萬年筆製造	同職工	ダンス教師	ダンス
------	------	----	-----	------	-------	-----	-------	-----

一八	一	一	一	七	一	〇	二	一八
----	---	---	---	---	---	---	---	----

外務省

陸軍慰安所	ダンス	女給	外人妾	密賣法	計
一	一八	七六	二〇	二〇	二六六

外務省

昭和十二年

一月

支那税關 一月十二日、塘沽出帆ノ天津丸當所員臨檢中支那海關吏
曹玉斌外三名ハ邦人三等船客須崎憲雄（當四十一年）ヲ
毆打事 件 人

毆打左眼下に約一週間ノ治療ヲ要スル打撃傷ヲ負ハシメ
タルヲ以テ山元巡查部長ハ副税關長竝ニ被害者ヲ當派
遣所ニ任意同行取調ヲ爲シタル結果本件ハ須崎ノ検査拒
絶ニ端ヲ發シ居ルモ検査後邦人ニ傷害ヲ加ヘタル行爲ハ
官吏ノ取ルベキ處置ニアラザルヲ以テ副税關長竝ニ加害
者ハ邦人ニ謝罪セシメ尙今後邦人ノ携帶品等検査ノ際ハ
我方立會ノ上検査スルコトトシ期ル不法事件ノ再發セザ

南京陷落祝
賀大會

在留民全般ニ豫防注射ヲ實施スルト共ニ罹病者家屋ノ消毒附近ノ交通ヲ遮斷シ一般在留民ニ對シテハ魚獲ヲ禁止シ野菜ノ消毒防蠅等衛生思想ノ普及及徹底ニ努力スルト共ニ一齊ニ檢病的戸口調査ヲ實施シ患者ノ早期發見ニ努ムル等全所員ヲ動員之ガ蔓延ノ防遏ヲ圖リタル結果十一月末ニ至リ終熄スルニ至レリ

因ニ當地ニハ從來防疫施設ナク居留民ノ増加ニ伴ヒ之ガ設立要望サレ居レリ

十二月

十二月十四日軍宣撫班ノ指導ニ依リ日支合同ノ南京陷落祝賀會ヲ明星小學校構堂ニ於テ舉行シ本大會終了後市内

職業別 在留邦人	特種營業並 ニ特種婦女 取極
十二月末調在留邦人職業別人口左ノ通	<p>當所ニ於テ取扱件數ノ最モ多キハ特殊營業關係事項ニシテ本年未ニ於ケル料理店、營業者ハ内地人五朝鮮人三之ガ從業婆妓十三名酌婦内地人十五名鮮人五十四名ニシテ當地ハ北支ノ關門タル關係上邦人ノ往來頻繁ニシテ加フルニ本亭變勃發ニヨリ皇軍ノ通過駐屯部隊多ク此等ヲ相手トシ此種營業ハ段賑ヲ極メ居レリ之ガ取締ニ關シテハ月一同營業監査ヲ實施シ從業婦女ニ對シテハ每週金曜日^取地關業醫ノ健康診斷ヲ實施シ傳染性疾患並ニ性病ノ有無ヲ検査シツツアリ</p>

外務省

〔以下略〕

昭和十三年在漢口領事館警察事務狀況

同警察署長報告摘錄

目次

一 地方治安概況

(一) 治安

(二) 警備保安機關

二 在留邦人ノ狀況

三 警察事務

(一) 警察署事務分掌

(二) 邦人戶口

(三) 邦人ノ職業

昭和十三年十二月末調査 邦人ノ職業

職業別	漢口		武昌		計
	男	女	男	女	
料理店、慰安所	一六		四一		六一
飲食店、食堂	一三六	一五	四	一三	一六八
カフェー、喫茶店	一三	一			一四
藝妓、酌婦		二〇〇		二九二	四九二
貿易商	五六				五六
雜貨商	九五	三	六	二	一〇六
製菓販賣	三三				三三
米穀、酒類販賣	五		三		六

外務省

以下略

(日本標準規格第5)

昭和十三年在南京總領事館蕪湖分館警察事務狀況

同警察署長報告摘錄

目次

- 一 地方治安概況
- 二 在留邦人ノ狀況
- 三 警察事務狀況
 - (一) 警察署事務分掌
 - (二) 邦人ノ戶口
 - (三) 内地人ノ職業
 - (四) 警察文書
 - (五) 行政警察事項

ニ在留邦人ノ狀況

當館管内ニ於テ現在邦人ノ在留スル地方ハ蕪湖、安慶、太平、馬鞍山、裕溪口、廬州及灣沚鎮ナル處

(一)蕪湖ハ水陸交通ノ便アリ通商貿易港トシテ外國人ニ開放セラレアリタル關係上早クヨリ邦人居住シアリテ事變前ハ一時其ノ數百三十餘名ニ達シタルコトアリシモ打續ク時局不安ト排日ノ影^響ニ依^り漸減シ昭和十二年八月上旬事變ニ因ル引揚當時ハ其ノ數僅ニ三十名トナレリ然ルニ今次事變後邦人ノ在留者漸増シ來リ本年末ニ於テハ戶數一四八、人口五四五名ヲ算シ逐日漸増ノ傾向ニアリ

□安慶ニハ事變前邦人ノ在任スル者ナカリシガ本年六月皇軍ノ

同地占領後飲食店、雜貨商及慰安所等軍隊ヲ目當トスル營業者及日清汽船安慶出張所等在住スルニ至リ同年末ニハ戶數四十一、人口二百十九ヲ算フルニ至レリ

(三) 太平（當塗）ニモ事變前邦人ノ居住スルモノナカリシガ同地占領ト同時ニ邦人經營ニナル中公司太平鐵業所及華中鐵鑛公司出張所進出シ今ヤ戶數六、人口十一アリ

(四) 馬鞍山ニハ事變前僅ニ一名ノ邦人在任シ居タルノミナリシガ事變後華中鐵鑛公司出張所ノ設置アリ本年末ニハ五戸六十七名トナリ全部鑛山従業員ノミナリ

(五) 裕溪口及灣沚鎮ニモ事變前邦人ノ居住者無カリシモ本年末現在軍隊相手ノ營業者裕溪口ニ二戶三名、灣沚鎮ニ二戶十名ノ

在留者アリ

在留邦人ノ職業ハ我領事館員ヲ始メ日清汽船、近海郵船、中
 公司、華中鐵嶺公司等ノ會社員ノ外省內土產品ノ買付、輸出
 及本邦品ノ輸入商ノ如キ一般貿易業者、商店員、雜貨商竝ニ
 主トシテ軍人相手ノ料理店、飲食店、慰安所、寫眞屋、時計
 屋ハ其ノ主ナルモノトス

昭和十三年在杭州領事館警察事務狀況

同警察署長報告摘錄

目次

- 一 地方治安概況
- 二 在留邦人ノ狀況
- 三 警察事務狀況
 - (一) 警察署事務分掌
 - (二) 邦人戶口
 - (三) 邦人ノ職業
 - (四) 警察文書
- (五) 行政警察事項

外務省

- (六) 邦人ノ火災
- (七) 邦人ノ諸興業行
- (八) 在留禁止及保護送還
- (九) 邦人ノ傳染病
- (十) 傳染病豫防注射
- (十一) 種痘
- (十二) 檢視、檢證
- (十三) 犯罪件數及檢舉件數
- (十四) 犯罪即決
- (十五) 留置人

註記、以上ノ外警察上特記スヘキ事項ナシ

(三) 昭和十三年十二月末調 邦人ノ職業

料 下 旅 會 社、 銀 行、 商 店 員	理 宿 屋	館	物 品 販 賣 業	土 木 建 築 業	電 氣 事 業 者	飲 食 料 品 製 造 業	織 維 工 業	職 業 別	
								男	女
二	一	三	一 三 七	三 五	三	一	五	一	
			一 五	二			一		
			一 五 二	三 七	三	一	五	二	

外
務
省

運送業	自動車運轉手	鐵道從業員	郵便電信從業員	理髮業	旅館、飲食店、料理店、女給	酌婦	藝妓	映畫館	軍隊慰安所	飲食店
		一〇二	一六	一				二	四	二
外務省					八七	三二	二一	一五		
		一〇二	一六	一	八七	三二	二一	一五	四	二

開館當時ニ於ケル狀況左ノ通

一 邦人關係

十二月一日九江在留邦人ハ五百五十七名ノ多シニ達シタルガ其ノ大部ハ軍ヲ對象トスル飲食店、酒保、寫眞業、特種慰安所關係者ニシテ孰レモ一時的在留者ニシテ就中全人口ノ四〇%ヲ占ムル所謂特種婦人ノ如キハ軍ノ命令ニ依リ移動シ居レル状態ナルヲ以テ九江ノ復興乃至繁榮等ヲ樹立スルガ如キハ當分困難ナル實情ニアリ尙舊居留民ハ南潯鐵路關係者二名ヲ除キ他ハ殆ド復歸セルモ一概ニ單身一目下當地ハ廬山及南昌作戰上外支人ノ復歸ハ未ダ之ヲ許可セザルヲ以テ事變前ニ於ケルガ如キ商取引ヲ爲スコト全然不能ナル爲不得已軍人對手ノ所謂「罐詰品」ノ販

賣」ヲ爲シツツアル狀況ニシテ可及的速ニ對支那人トノ取引開
 始サルルノ時期到來ヲ待チツツアリ軍ニ於テハ此等舊居留民ニ
 對シテハ頗ル同情シ家屋ノ如キモ從來最モ繁華ナリシ大中路ニ
 面セル支那人商舖ヲ好意的ニ割等テ便宜ヲ圖リツツアリ
 又進出邦人ニ對シテモ同區域一帶ヲ日本人居住區域トシテ家屋
 ノ割當ヲ爲シツツアリ支那人復歸ノ上ハ之ガ屋賃等ニ付近ク結
 成セラルベキ自治委員會方面ト協定ノ要アルベク目下特務機關
 ト協議中ナリ從テ當館トシテモ在留邦人統制上速ニ日本人會ノ
 復活ヲ必要トスル次第ニテ目下民會長及民會役員等物色中ナル
 ガ外人復歸ヲ認メザル關係上對外的ニ相當機微ナル關係モアリ
 之ガ復活ニ付テハ慎重ヲ期シツツアリ

昭和十三年四月十六日南京總領事館ニ於テ陸海外三省關係者會同
 在留邦人ノ各種營業許可及取締ニ關シ協議會ヲ開催シ各項ニ付キ
 左ノ通り決定セリ(南京警察署沿革誌ニ依ル)

記

一期日 昭和十三年四月十六日午前十時開始同午後五時終了

出席者

陸軍側	兵站司令部	千田大佐
	第三師團參謀	栗栖中佐
	第三師團軍醫部	高原軍醫中佐
	南京特務機關	大西少佐
	南京憲兵隊	小山中佐

南京憲兵隊

堀川大尉

同

北原中尉

海軍側

海軍武官

中原大佐

嵯峨艦長

上野中佐

領事館側

花輪總領事

田中領事

清水警察署長

佐々木警部補

議決事項

(一) 各種營業別ニ依ル許否ノ方針及許可ノ限度

取締營業ニ關セザル一般營業ハ許可件數過多トナリ在留民ガ

以上禁制品、私ニ取扱フ者アル場合ハ法ニ照シ嚴重之ガ取締ヲ爲シ居留民ノ健全ナル發展ヲ期スベシ軍人軍屬以外ノ居留民ニシテ兵器（拳銃）彈藥等ヲ所持スル者ハ此ノ際領事館ニ届出登録手續ヲ爲サシムベシ

六 軍以外ニモ利用セララル酒保慰安所ノ問題

陸海軍ニ專屬スル酒保及慰安所ハ陸海軍ノ直接經營監督スルモノナルニ付領事館ハ干與セザルベキモ一般ニ利用セララル所謂酒保及慰安所ニ就テハ此ノ限りニアラズ此ノ場合業者ニ對スル一般ノ取締ハ領事館其ノ權ニ當リ之ニ出入スル軍人軍屬ニ對スル取締ハ憲兵隊ニ於テ處理スルモノトス尙憲兵隊ハ必要ノ場合隨時臨檢其ノ他ノ取締ヲ爲スコトアルベシ

要スルニ軍憲領事館ハ協力シテ軍及居留民ノ保健衛生ト業者ノ健全ナル發展ヲ期セントスルモノナリ

將來兵站部ノ指導ニ依リ所設セラルベキ軍專屬ノ特殊慰安所ハ憲兵隊ノ取締ル處ニシテ既設ノ慰安所ニ對シテハ兵站部ニ於テ一般居留民ノ利便ヲモ考慮ニ入レ其ノ一部ヲ特殊慰安所ニ編入整理スルコトアルベシ

右ハ追テ各機關協議ノ上決定スルモノトス

軍專屬ノ酒保及特種慰安所ヲ（陸海共）ニ於テ許可シタル場合ハ領事館ノ事務處理ニ便タル爲當該軍憲ヨリ隨時其ノ業態營業者ノ本籍、住所氏名、年齢、出生、死亡其ノ他身分上ノ異動ヲ領事館ニ通報スルモノトス

昭和十五年

一月

拜 賀 式 一月一日午前九時ヨリ當所ニ於テ在留邦人參列ノ下ニ紀

元二千六百年奉祝拜賀式ヲ舉行セリ

記

一 開式

一 皇居遙拜

一 皇軍將兵ノ武運長久ヲ祈リ併セテ戰沒將士ノ英靈ニ對

シ一分間ノ默禱

一 紀元二千六百年ノ歌合唱

一 冷酒乾杯

還都紀念式

四月二十六日國府還都慶祝ノ爲中央政府國旗掲揚方ヲ一

般在留民ニ通達シ尙同日午前八時ヨリ縣政府ニ於テ舉行

セラレタル還都紀念式ニ所長代理トシテ新澤巡査參列ス

小磯拓務大臣來

四月二十七日午後二時小磯拓務大臣中島部隊慰問ノ爲來

アリタルヲ以テ市内一般及沿道ノ警戒ニ當リタリ

五月

國際勞働紀念日

五月一日國際勞働紀念日ニ當リ銳意情報ノ蒐集ニ努メ潛

行的運動ノ視察警戒ニ努メタルモ何等異狀ヲ認メズ

歡迎會

同日午後七時ヨリ高雄食堂ニ於テ新警備隊長中島中佐ノ

歡迎會ヲ催シタリ

管内狀況視

五月十一日午前十一時ヨリ美林鋪方面ニ管内狀況視察ノ

蔡 出 張爲出張ノ小口本署長ニ新澤巡查ヲ附シ同日午后五時歸所

ス

會場警戒取締

五月十九日午後八時ヨリ忠介路百五十二號廣場ニ於テ軍

主催ニ依ル支那民衆宣撫映畫會開催セラルタルヲ付全員
之ガ場内竝ニ附近ヲ警戒シタリ

在瓊各機關連
絡協調懇談會

五月二十三日午後一時ヨリ中島警備部隊宣撫班樓上ニ於

テ在瓊各機關ノ連絡協調ヲ圖ル爲之ガ第一回懇談會議ヲ
開催セラル官尾所長出席ス

因ニ協議事項左ノ通り

1. 瓊山市進出邦人借家手續等ニ關スル件（部隊本部提議）
2. 大官來瓊ニ際シ連絡ノ件（當所提議）

軍招待慰安會
場警戒取締

3、非常情報入手ニ際シ緊密ナル連絡方ノ件（當所提議）
4、靈祭其ノ他軍側ノ諸催物ニ邦人ノ參加希望ノ件（部隊本部提議）

5、慰安所竝ニ軍側慰安設備ニ對スル意向（部隊本部提議）
6、軍人軍屬ノ出入スル諸營業新設ニ關シ連絡希望ノ件（憲兵隊提議）

7、情報ノ交換ニ關スル件（當所提議）

五月二十六日午前十時ヨリ瓊山^臺拓農場ニ於テ同農場主催ニ依ル在瓊各部隊將校ヲ招待慰安會開催セラレタルニ付官尾部長、新澤巡查、安本巡查ハ之ガ會場警戒ニ任シタリ

昭和五年

五月中八國者職業調查表(第五號)

廣東

業別	行先地別				合計
	廣東	澳門	香港	海口	
軍人	七八				七八
軍屬					
官公吏	五二				五二
會社員	二五八				二五八
銀行員	七				七
商店事務員	九一				九一
貿易商	一九				一九
教育關係	四				四
飲食料理業	二五				二五
藝師	八三				八三
女給	四一				四一

敬 業	禮 義 宗 教	貨 地 業	大 工	學 生	時 計 高	料 理 人	船 員	筆 墨 新 酒 保	記 者	一 般 商 業	寫 真 業
一	三	三	五	一	七	二 三	九	二 〇	一 六	一 八 五	一 一
一	三	三	五	一	七	二 三	九	二 〇	一 六	一 八 五	一 一

岸
輸
業

八

六
八

〔以下略〕

34 邦人渡支狀況ニ關スル件〔在山海關副領事〕(昭15・7・19)

機密第二七九號

昭和十五年七月十九日

在山海關

副領事 小坂部

瀧



外務大臣 有田 八郎 殿

邦人渡支狀況ニ關スル件

本件ニ關シ六月中當地經由邦人渡支狀況ハ別表ノ通り七、六六〇名ニシテ之ヲ五月分ニ比較スレハ入支者五七八名ノ減少ヲ來シ居ルカ右ハ五月二十日ヨリ實施セル新規渡航制限強化ニ基因スルモノニシテ之ヲ更ニ本制限實施前四月分一六、五八九名ニ比較對照スレハ約六〇ノ減少ヲ來シ尙旅行者ヲ行先別ニ區分スルニ第一表ノ北京行ノ二、九二九名ヲ第一位ニ天串ノ一、二七七名張家口ノ四七七名太原ノ三〇七名

第三課

別紙添附

昭和十五年八月六日



昭和十五年

六月五月中八國者職業調查表(第五卷)

廣東

業別	行	先	地	別	廣東	澳門	香港	海口	合計
軍人	軍	屬			一三一	九	一九	九	一六八
官公吏					三〇	一三	一四	四	六一
會社員					九四	三一	二二	三	一五〇
銀行員					四	二	一七		二三
商店事務員					六二	九	一七	二	九〇
貿易商					一三	七	九		二九
教育關係					七	二	一		一〇
飲食料理業					八	四	三	一	一六
藝術師仲居					七六	一	五		八二
女給					一六				一六

旅館業	神職宗教	貸地業	大工	學堂	時計商	料理人	船員	葎麴新酒保	記者	一般商業	寫真業
三	四	三	七	二二	三	一二	一二	二六	七	一三九	七
二				五	一		二		一	四	二
				六	一				四	二三	
										二	一
五	四	三	七	三三	五	一二	一四	二六	一二	一六八	一〇

[中略]

③丁3 邦人出國者統計報告ノ件「在山海關副領事」(昭15・8・14)

亞米利加局長

第三課

機密第三一五號

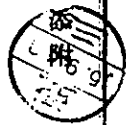
昭和十五年八月十四日

在山海關

副領事 小坂部

蓋

別紙



外務大臣 松岡洋右 殿

邦人出國者統計報告ノ件

七月中當山海關經由邦人出國者統計ハ左表ノ通ニシテ之ヲ客月分ノ八
 八五六名ニ比較スレハ一〇五八名ノ増加ヲ示シ居ル處右ハ主トシテ學
 校ノ暑中休暇ヲ利用シ日本又ハ鮮滿ニ旅行スルモノ増加シタルニ因ル
 モノト見做サレ居ルモ入國者ノ七四二九名ニ比シ出超^{シヨ入}一〇五八名ノ數
 字ヲ示シ居ルハ事變以來最初ノ現象ニシテ之カ真相ハ爲替管理及渡支
 制限ノ強化ト關聯シ將來邦人發展ノ資料トシテ更ニ調査ヲ爲ス必要ア
 ルモノト思料セラレ

在山海關日本領事館



昭和五年

七五月中八國者職業調查表(第五册)

三三三

業別	廣東	澳門	香港	海口	合計
華人員屬	一二七	一五	一一		一五四
官公吏	三〇	一一	一七	一	六〇
會社員	五一	一九	二五		九五
銀行員	三		三	一	七
商店事務員	六二	一六	一一		八九
貿易商	一一	五	一〇		二七
教育關係	六		三		九
飲食料理業	一一		二		一三
藝術師仲尾	四五	五			五〇
女給	一七				一七
寫真業	三	一			四
一般商業	七六	八	二九		一三三

建築業	通信員	裁縫業	家政婦町茶商	貨輸業	旅館業	神職宗教	貸地業	人工	學生	出計商	料理人	船員	舞臺事務所係	記者
一		一	八	六	二	二	二	二	二四	三	九	一三	一八	二〇
				二					一〇			三		三
									三					二
									五					
一		一	八	八	二	二	二	二	四二	三	九	一六	一八	二五

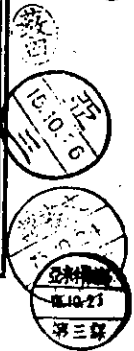
		其他	從屬者	澳業	雜貨商	若水業	農業	祖祭	慰問團	理髮業	職工	蓬躉牛	醫師藥劑師
			二九九				七	一	一〇	三	三六	四	一
			一四					一					
			一一					一					
			三三五				七	三	一〇	三	三六	四	一

合		
計		
九 一 五		
一 一 四		
一 三 〇		
七		
一 一 六 六		

③ 渡支邦人暫定處理ニ關スル統計報告方ノ件「在漢口總領事」(昭15・10・3)

臣米利加局長)

第三



機密第八二六號

昭和十五年十月三日

在漢口

總領事 伊東隆



外務大臣 松岡洋右殿

渡支邦人暫定處理ニ關スル統計報告方ノ件

八月二十六日附米三機密合第一〇七七號貫信御來示ノ趣敬承右ハ別表ノ通り(武昌、大冶ヲ含ム)ニ付此段報告申進ス

別紙添付

在漢口日本總領事館

昭和十五年

五月中八國者職業調查表(第五號)

二五五

業別/行先地別	廣東	澳門	香港	海口	合計
華人羣屬	二八	一三	五	二	四八
官公吏	二九	九	一〇	三	五一
會社員	九一	三五	一七	一	一四四
銀行員	一				二
商店事務員	四一	八	六	二	五七
貿易商	八	八	四		二〇
教育關係	九	四	五		一八
飲食料理業	四		一		五
藝術師仲居	三四	四		二	四〇
女給	一六				一六

一般商業	一〇五	一七	九	二	一一三
記名者	一〇	五	三	一	八
量庭新酒保	一一	一		一	二
船員	九	二		一	一
料理人	四			一	四
會計高	四	一			五
學生	二七	七	三	三	七
大工	三				三
貸地業					
神職宗敎	三				三
旅館業	一				一

〔以下略〕

極秘

③ 渡支邦人暫定處理二關スル各種統計表(四月)送付ノ件「在廣東總領事」

(昭16.5.10) 昭和十六年六月

別紙添付

16. 5. 3 三三三

照本外務省
極秘第三八三號

昭和十六年五月十日

在 廣東

總領事 高津 富雄

外務大臣 松岡 洋右 殿

渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計表(四月)送付ノ件

昭和十五年八月二十六日附米三機密合第一〇七七號賃信ヲ以テ御訓達ノ四月分調査表別添ノ通り茲ニ送付ス

本信寫送付先 北中支各警務部、廈門、汕頭、海口、上海

在廣東日本總領事館

四月中入國者職業別調查表

(一、五、五、八)

職業別	行先地別					
	廣	東	門	港	口	計
軍人、軍屬	一	二	四	一	五	一四九
官公吏	三	五	一	四	四	五
會社員	六	一	二	三	六	一七八
銀行員	四	二	二	三	一	七
商店事務員	二	一	六	八	一	三六
貿易商	二	一	一	五	一	五五
教育關係	三	五	一	一	二	三六
飲食料理業	六	二	二	二	三	一〇
藝酌婦仲居	二	五	二	二	三	二八
女給	五	一				五
寫真業	一					一

在廣東日本總領事館

裁 縫 業	添 看 護	家 政 婦 附	運 輸 業	旅 館 業	神 職 宗 教	貸 地 業	大 工	學 生	時 計 商	料 理 人	船 員	軍 酒 保 慰 安 所	記 者	一 般 商 業
四	四	二	二	二					二	一 三	一 六	二 一	三	二 五
一		一		一							一		三	七
													一	四
												二	四	
五	四	三	二	三					二	一 三	一 七	二 三	一 一	三 六

在廣東日本總領事館

第三編

極秘

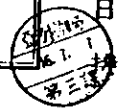
③6-2 渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件「在廣東總領事」(昭16・6・11)

陸軍省部長

第三編

昭和拾六年七月七日

別紙添付



極秘第四七五號

昭和十六年六月十一日

在 廣 東

總領事 高 津 富 雄

外務大臣 松 岡 洋 右 殿

渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件

昭和十六年五月中ニ於ケル本件ニ關シ當館ニ於テ取扱タル事項別表ノ通ニ付此段報告申進ス

本信寫送付先 南京(大)、上海、汕頭、海口、廈門

北、中支警務部

在廣東日本總領事館

五月中入國者職業別調查表

職業別	廣東	澳門	香港	海口	合計
職入軍屬	一三四	一一一	二二	五	一五二
官公吏	四二	七	三	三	五五
會社員	八三	二八	二二	五	一三八
銀行員	二		一	二	三
商店事務員	五二	五	七	二	六六
貿易商	一八	一六	二	一	四七
教育關係	三				三
飲食料理業	一三	一	一	一	一六
藥師仲居	五五			二	五七
女給	二七			一	二八
寫真業	三	二			五
一般商業	三九	三	四	一	五七
記者	八	四			一二
記酒保慰安所	一七		四	二	二一
船員	六				六
科理人員	二二				二二
時商	二				二
大學					
生商					
工	一				一
業					
地					
神	一	五			六
職宗					
業					

[以下略]

③ 3 渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件〔在広東總領事代理〕(昭16・7・21)

關東州相府長

第三課

33

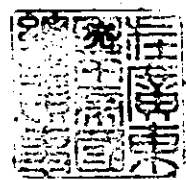
普通第五八〇號

昭和十六年七月二十一日

在 廣 東

總領事代理 吉 岡 武

外務大臣 豊 田 貞 次 郎 殿



渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件

本件ニ關シ昭和十六年六月中書館ニ於テ取扱タル事項別表ノ通りニ
付此段報告申進ス

本信寫送付先 北中支警務部、上海、南京、廈門、汕頭、海口、

南京大使館、上海朝鮮總督府出張所、並外

昭和拾六年八月四日 接受

別紙添付



六月中入國者職業別調查表

神職	貸地	大學	時計	料理	船隻	軍用	記帳	一級	寫真	女給	藝師	飲食	教育	貿易	商店	銀行	會社	官公	軍人	職業別	行先地別
一			三 四	五 三	八		七	四	三 〇	五	二 一	七 一	八	四	六	四 三	六 五	五 一	一 二	〇	廣
									一 四					一 二	五		一 七	七	五		澳
																					門
				一					五												香
																					港
									一												海
																					口
																					合
二			三 四	五 四	八	七	五	〇	五	二	七	一	八	四	二	五	〇	六	三	三	計

[以下略]

③ 4 渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件〔在廣東總領事〕(昭16・8・12)

第三課

昭和十六年八月廿六日接受

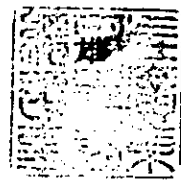


亞米利加局長
普通第六四六號

昭和十六年八月十二日

在 廣東

總領事 高津 富



外務大臣 豐 田 貞次郎 殿

渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件

本件ニ關シ昭和十六年七月中當館ニ於テ取扱ヒタル事項別表ノ通り
ニ付此段報告申進ス

本信寫送付先 北中支警務部、上海、南京、廈門、汕頭、海口、

南京大使館、上海朝鮮總督府出張所、台外

七月中入國者職業別調查表

職業別	廣東	澳門	香港	海口	合計
營業別	廣	澳	香	海	
先行地別	東	門	港	口	計
軍	七	四		一	一
官	七	二		五	三
官公吏	七	二		五	三
管社員	四	六		一	一
管社員	四	六		一	一
銀行員	五	七		一	一
銀行員	五	七		一	一
商店事務員	二	一		一	四
商店事務員	二	一		一	四
貿易商	二	一		一	四
貿易商	二	一		一	四
教育關係	一	九		一	二
教育關係	一	九		一	二
飲食料理業	三	一		三	六
飲食料理業	三	一		三	六
飲酌婦仲居	六			二	一
飲酌婦仲居	六			二	一
藝	一			二	三
藝	一			二	三
女給	一			二	三
女給	一			二	三
寫真業	三	二		二	五
寫真業	三	二		二	五
一般商業	一	三	四	二	四
一般商業	一	三	四	二	四
記酒保慰安所者	一	二		一	四
記酒保慰安所者	一	二		一	四
船料人員	五			一	六
船料人員	五			一	六
料計	六			一	七
料計	六			一	七
時商	六			一	七
時商	六			一	七
大學	八			一	九
大學	八			一	九
貸業	一			一	二
貸業	一			一	二
神職	三			一	四
神職	三			一	四
合計	三	二	一	一	四
合計	三	二	一	一	四

以下略

36 5 渡支那人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件〔在廣東總領事〕(昭16・9・8)

記入



昭來利加局長

普通第七三四號

第三課

昭和十六年九月八日

別紙添付

在 廣 東

總領事 高 津 富 雄



外務大臣 豊 田 貞次郎 殿

渡支那人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件

本件ニ關シ昭和十六年八月中當館ニ於テ取扱タル事項別表ノ通りニ
付此段報告申道ス

本信寫送付先 北中支務部、上海、南京、廈門、汕頭、海口、

南京大使館、上海朝鮮總督府出張所、臺灣總督府

外事部長

③6 渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件〔在廣東總領事〕(昭16・10・9)

監察利加局長

普通第八五九號

昭和十六年十月九日

第三編

33

昭和十六年拾月廿日

接



在 廣東

總領事 高 津 寫



外務大臣 豐 田 貞次郎 殿

渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件

本件ニ關シ九月中當館ニ於テ取扱タル事項別表ノ通りニ付右茲ニ報告申進ス

本信寫送付先 北中支警務部長、上海、南京、廈門、汕頭、海口

、南京大使館、上海朝鮮總督府出張所長、臺灣總

督府外務部長

九月中入國者職業別調査表

職業別	先行地別					計
	廣東	香港	澳門	海口	台	
入軍屬	五一	二九				八〇
官公吏	五六	四	一〇			七〇
會社員	六四	六二	一	三		一四〇
銀行員						一
商店事務員	三二	二	二			五七
貿易商	一六	七	七			四〇
教育關係	九		四			一三
飲食料理業	六		二			八
藝酌婦仲居	四七			一		四八
女給	三一					三一
寫真業	六		一			七
一般商業	一七	五				二六
記者	六	一	四			一〇
軍酒保慰安所	四			二		四
船員	五					五
料理人	九					九
時計商	三					三
學生	三		一			一
大工						三
貸地業						
神職		一				一
宗廟			二			二
遊藝						
計	五一	二九	一〇	三		八〇

〔以下略〕

③6 渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件「在広東總領事」(昭16・11・11)

禮米利加局長
普通第九八五號

第三號

昭和拾六年七月廿七日接受

昭和十六年七月十一日

在 廣 東

總領事 高 津 富 雄



外務大臣 東 郷 茂 徳 殿

渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件

本件ニ關シ十月中當館ニ於テ取扱ヒタル事項別表ノ通りニ付此段報告申進ス

本信寫送付先 北中支警務部、瀋京(大)、上海、南京、厦門、

汕頭、海口、上海朝鮮總督府出張所、臺灣總督府

外事部長



十月中入國者職業別調查表

(第五號)

職業別	先行地別					讀	京	門	香	港	海	口	台	計
	廣東	福建	浙江	江蘇	安徽									
軍人	1	3	7					4	9					186
官公吏	3	5	5					3	5					141
會社員	8	3	5					3	5					124
銀行員	5	5						3	5					18
商店事務員	5	2						1	1					78
貿易商	2	3						1	7					46
教育關係	3													3
飲食料理業	1	0												1
飲酌婦仲居	1	2												3
女給	1	0												1
寫真業	1	3												4
一般商業	3	1						1	0					54
記者	1	1						4	4					20
軍酒慰安所	1	1												20
船員	6													7
科員	9													10
時計師	5													5
大學	2													2
生計	2													2
工生	2													2
地業	5													5
神職	5													5

[以下略]

③6-8 渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件〔在廣東總領事〕(昭16・12・16)

機密

總領事加局長
第三課

昭和十六年十二月十六日

第三課

昭和十六年三月廿六日



廣東

總領事 高 澤 爲 雄



外務大臣 東 條 茂 徳 殿

渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件

本件ニ關シ本年十一月中當館ニ於テ取扱タル事項別表ノ送ニ付此

段報告申進ス

本信寫送附先 北中支台事務局長、上海、南京、廈門、汕頭、

海口、南京大使館、上海朝鮮總督府出張所長

臺灣總督府外事課長

手記

十一月中人國者職業別調查

職業別	先此別廣	察委	門香	海	口合	計
軍人軍屬	二〇七					二〇七
官公吏	三二	三三	一五			二五〇
會社員	七二	四九	一二			一三六
銀行員	四					四
商店事務員	二九	一七	三			四九
實業員	五	二〇	三			二九
教育係	二					二
金料理業	六		一			七
醫藥師	六					六
女給	七					七
寫字	一五					一五
一般商業	四	一二	一			一七
記帳	四	三				七
軍酒保屬安所	一					一
給人員	二					二
料理	七					七
時計	四		一			五
學徒	一					一
大工	一					一
貨物						
神職宗教						

〔以下略〕

36 渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件〔在廣東總領事〕(昭17・4・20)

亞米利加局長

第三課

昭十七年四月二十日
別紙添付



普通第三八二號

昭和十七年四月二十日

在 廣 東

總領事 高 津 富 雄



外務大臣 東 郷 茂 徳 殿

渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件

本件ニ關シ三月中當館ニ於テ取扱ヒタル事項別表ノ通りニ付此段
報告申進ス

本信寫送附先 北中支各警務部長、上海、南京、廈門、汕頭、

海口、上海朝鮮總督府出張所長、臺灣總督府
外事部長

在廣東日本總領事館

三月中入國者職業別調查表

職業別	廣東	廣西	閩省	港海	口合	新
職業別	一五五	一七	一三九	五	三一六	
軍人	三四	五	一八	一	五八	
官公吏	五九	一五	二九	一	一〇四	
會社員	三		一		五	
銀行員	三四	七	二〇	一	六二	
商店事務員	一〇	一二	二		二四	
貿易商	四		一		六	
教育關係	九		二		二〇	
飲食料理業	三〇		三三		六三	
藥酌婦仲居	三一		一		三一	
寫真給	二				三	
一般商業	一五	二四	一	一	三一	
記者	六		六		一四	
記酒慰安所	八		四		一二	
船員	四		一		五	
料理人	二				二	
計商人	一	一			二	
學生	三				四	
工						
業	一				一	
地						
神職						

以下略

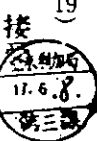
③6 10 渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件(月報)〔在広東總領事〕(昭17・5・19)

夏米利加局長

第三課

昭和拾七年六月八日

別紙添付



普通第四九〇號

昭和十七年五月十九日

在 廣 東

總領事 高 津 富 雄



外務大臣 東 郷 茂 徳 殿

渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件(月報)

本件ニ關シ本年四月中旬當館ニ於テ取扱ヒタル事項別添ノ通ニ付

此段報告ス

本信寫送付先 中北支各警務部長、上海、南京、厦門、汕頭、

海口各公館長

在 廣 東 日 本 總 領 事 館

四月中入國者職業別調查表

職業別	廣東	澳門	香港	海峽	合計
軍人軍屬	三二四	一六	一五三	一四	五〇七
官公吏	三三	九	九	二	五五
會社員	四八	七	二四	八	九七
銀行員			五		五
商店事務員	一八	一	〇	四	二二
貿易商			四		四
教育關係	一〇		一		一一
飲食料理業	一〇		一		一一
藝師娼仲居	一〇		一		一一
女給	七				七
寫真業	二				二
一般商業	一	四	六	一	一二
記右			二		二
軍酒保慰安所	三		三		六
船員	四	一	一		六
料理人					
時計商	一				一
學生					
旅館業	一		一		二

[以下略]

秘

36 渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件〔在廣東總領事〕(昭17・6・26)

要案判加

第三課

別紙添付

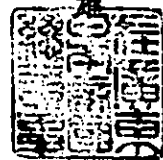
秘第五九九號

昭和十七年六月二十六日

昭和拾七年七月六日 接受

在 廣 東

總領事 高 津 富 雄



外務大臣 東 郷 茂 徳 殿

渡支暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件

本件ニ關シ五月申中常館ニ於テ取扱ヒタル事項別表ノ通ニ付此ノ段
進達ス

本ハ寫送付先 中北支各警務部長、上海、南京、厦門、汕頭、

海口

在廣東日本總領事館



五月中入國者職業別調查表

第五號

職業別	行先地別					合計
	廣東	澳門	香港	海口	合	
軍人	一八〇	二〇	一六五	二	三六七	
官公吏	四八	一〇	一三		七一	
會社員	七五	一七	二二	八	一一一	
銀行員						
商店事務員	三一	五	二六	一	六四	
貿易商	一一	九			二二	
教育關係	六				六	
飲食料理業	五		一	一	七	
藝助婦仲居	一八		五		二三	
女給	八		一		九	
寫真業	五	三			九	
一般商業	二四	四	一五	二	四五	
記者	三		三		七	
軍酒保警察所	四	一	七		一二	
船員	一八			四	二二	
料理人	一				一	

〔以下略〕

③ 12 渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件「在広東總領事」(昭17・7・16)



昭和拾七年七月廿七日接受
別紙添付

米利加扇
普通第六八〇號

昭和十七年七月十六日

在 廣 東

總領事 高 津 富 雄



外務大臣 東 郷 茂 徳 殿

渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件

本件ニ關シ本年六月^V中當館ニ於テ取扱タル事項別添ノ通ニ付此段

報告申進ス

本信寫送付先

- 北中支警務部長 上海 南京 厦門 汕頭 海
- 口 各公館長 臺灣總督府外事部長

六月中入國者職業別調查表

第五號

職業別		行先地別		廣東		澳門		香港		海口		合計	
軍人	軍屬	一〇	三	二	七	四	〇	二	四	二	四	二	九
官	公吏	三	一	五	七	九	〇	二	四	二	四	二	九
會社	社員	三	三	一	五	三	八	四	七	二	四	一	三
銀行	行員	三	三	一	五	三	八	四	七	二	四	一	三
商店	事務員	四	一	三	六	一	一	二	三	二	三	二	九
貿易	易商	六	二	一	三	一	一	二	三	二	三	二	九
教育	關係	二	二	一	三	一	一	二	三	二	三	二	九
飲食	料理業	三	三	一	三	一	一	二	三	二	三	二	九
藝酌	娼仲居	二	二	一	三	一	一	二	三	二	三	二	九
女給	給	二	二	一	三	一	一	二	三	二	三	二	九
寫真	業	二	二	一	三	一	一	二	三	二	三	二	九
一般	商業	二	二	四	一	二	八	一	二	一	二	五	三
記	者	二	二	一	三	一	一	二	三	二	三	二	九
軍	酒保慰安所	七	七	五	一	一	一	二	三	二	三	二	九
船	員	二	二	一	三	一	一	二	三	二	三	二	九
料	理人	二	二	一	三	一	一	二	三	二	三	二	九
學	生	八	八	一	一	一	一	二	三	二	三	二	九
大	工	八	八	一	一	一	一	二	三	二	三	二	九

〔以下略〕

③ 13 渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件〔在広東總領事〕(昭17・10・27)

通商局長 第三課長

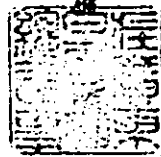
昭和拾七年十月拾七日

普通第一〇〇六號

昭和十七年十月二十七日

在 廣 東

總領事 高 津 富 雄



外務大臣 谷 正 之 殿

渡支暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件

本件ニ關シ九月中當館ニ於テ取扱ヒタル事項別添ノ通ニ付此ノ段
進達ス

本借寫送付先 中北支齋務部長、上海、南京、廈門、汕頭、海

口、臺灣總督府外事部

在廣東日本總領事館

9/21

③ 渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件〔在廈門總領事〕

歷米利加局長

第三編

(昭16・8・9)

昭和拾六年八月拾六日接受

別紙添附B

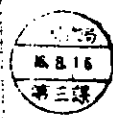
普通第六〇一號

昭和十六年八月九日

在廈門

總領事 石川

實



外務大臣 豐田 貞次郎 殿

渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件

本件ニ關シ本年七月中當館ニ於テ取扱タル事項別表ノ通ニ付此段報告申進ス

本信寫送附先 上海 廣東 汕頭

(了)

在廈門日本帝國總領事館

③7-2 渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件〔在廈門總領事〕(昭16・9・5)

亞米利加局長

第三編

昭和十六年九月五日
別紙添附B



普通第六七九號

昭和十六年九月五日

在廈門

總領事 石川



外務大臣 豊田 貞次郎 殿

渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件

本件ニ關シ本年八月中當館ニ於テ取扱タル事項別表ノ通ニ付此致
報告申進ス

本信寫送付先 上海 廣東 汕頭

(了)

在廈門日本帝國總領事館

① 3 渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件〔在廈門總領事〕(昭16・11・7)

昭和拾六年十月拾八日接受



三課科加局長

普通第八五四號

第三課

昭和十六年十一月七日

在廈門

總領事 石川



外務大臣 東 郷 茂 徳 殿

渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件

本件ニ關シ本年十月中當館ニ於テ取扱タル事項別表ノ通ニ付此段報告申進ス

在廈門日本帝國總領事館

③7-4 渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件〔在廈門總領事〕(昭17・1・17)

亞米利加局長

第三號

昭和十七年 壹月廿叁日接
別紙添附

普通第三六號

昭和十七年一月十七日

在廈門

總領事 石川

實



外務大臣 東 郷 茂 徳 殿

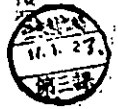
渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件

本件ニ關シ昭和十六年十二月中當館ニ於テ取扱タル事項別表ノ通
ニ付此段報告申進ス

本信寫送附先 上海 廣東 汕頭

(了)

在廈門日本帝國總領事館



〔中略〕

月中入國者職業別調査表

(二)

(第五號)

行先地別		業別	
土木建築請負業	1	1	1
船員	1	1	1
學生	3	3	3
雜貨商	6	6	6
女給	1	1	1
蕨助婦中居	3	3	3
慰安所	1	1	1
文具商	3	3	3
商店員	3	3	3
鐵工業	2	2	2
合計			
備忘			

〔以下略〕

③ 5 渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件〔在廈門總領事代理〕(昭17・4・11)

亞米利加局長

第三號

附屬添附

昭和拾七年四月拾八日接



普通第二五七號

昭和十七年四月十一日

在廈門

總領事代理 今城

登



外務大臣 東郷 茂 徳 殿

渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件

本件ニ關シ本年三月中當館ニ於テ取扱タル事項別表ノ通ニ付此段

報告申進ス

本信寫送附先 上海 廣東 汕頭

在廈門日本帝國總領事館

③7 渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件〔在廈門總領事〕(昭17・5・12)

亞米利加局長

第三編

附屬添付



普通第三四七號

昭和十七年五月十二日

在廈門

總領事 小澤 成



外務大臣 東 郷 茂 徳 殿

渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件

本件ニ關シ本年四月中當館ニ於テ取扱タル事項別表ノ通ニ付此段報告申進ス

本信寫送附先 上海 廣東 汕頭

(了)

在廈門日本帝國總領事館

①7 渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件「在廈門總領事」(昭17・10・13)

駐米利加爾長

了 第三編 了

昭和拾七年拾月廿五日
附屬添付

普通第七一六號

昭和十七年十月十三日

在廈門

總領事 小澤 成



東亞局第三課

外務大臣 谷 正之 殿

渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件

本件ニ關シ本年九月中當館ニ於テ取扱タル事項別表ノ通ニ付此段
報告申進ス

本信寫送附先

上海 廣東 汕頭

臺灣總督府外事部

在廈門日本帝國總領事館

③⑧ 渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件「在汕頭領事」(昭16・12・11)

陸軍省加刷部

第三課

有附屬物



秘第一六二號

昭和十六年十二月十一日

在汕頭

領事 高井末

外務大臣 東郷茂徳 殿



渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件

十一月中當館ニ於テ取扱ヒタル本件別表ノ通ニ付此段報告申進ス

本信寫送付先 中支警務部 上海 厦門 廣東 海口

嶺外

在汕頭日本領事館

③ 2 渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件「在汕頭領事」(昭17・4・6)

第三譯

昭和十七年四月廿七日接
有附屬物

亞米利加局長

秘第一四二號

昭和十七年四月六日

✓ 在汕頭

領事 高 井 末



外務大臣 東 郷 茂 德 殿

渡支邦人暫定處理ニ關スル各種統計報告ノ件

三月中當館ニ於テ取扱ヒタル本件別表ノ通りニ付此段報告申進ス

本信寫送付先 上海 廈門 廣東 海口

中支警務部 臺外

在汕頭日本領事館

③ 渡支暫定處理ニ關スル各種統計表送附ノ件「在海口總領事代理」(昭16・11・7)

第三編

附屬添付

18.11.24 第三編

亞米利加局
普通第四五三號

昭和十六年十一月七日

在海口

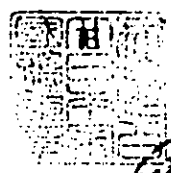
總領事代理 平田學

外務大臣 東郷茂徳 殿

渡支暫定處理ニ關スル各種統計表送附ノ件

昭和十五年八月二十六日附米三機合第一、〇七七號貴信ニ關シ十月分調査表別添ノ通此段報告申進ス

野
路
長



文書課
16.11.21
侯

在海口日本總領事館

合 計	専務業者有	其他、有業者有	婦 女 給 付 仲 介、配	新 業 給 付 仲 介、配	寫 真 業	製 糖 工 業	後 援 機 關 看 護 婦 女	交 換 手 次 不 同 了 上	料 理 業	理 髮 業
三 七 四 五 四 九 七 二 一 五	六 〇 四	二 〇	四 一	三	二	五	四	一 〇	三	
六 八	六 八	二 〇	四 五	四	二	五	四	一 一	二	

③ 2 渡支暫定處理ニ關スル各種統計表送付ノ件〔在海口總領事代理〕(昭16・12・10)

亞米利加局長

第三課

附屬添付

亞米利加局長

17. 1. 7

第三課

普通第五〇三號

昭和十六年十二月十日

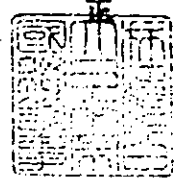
在海口
總領事代理 平田 學

外務大臣 東 郷 茂 徳 殿

渡支暫定處理ニ關スル各種統計表送付ノ件

昭和十五年八月二十六日附米三機合第一〇七七號貴信ニ基ク本件
十一月分調査表別添ノ通ニ付報告ス

本信寫送附先 南大、上海、廣東、厦門、汕頭



在海口大日本帝國總領事館

④本邦人職業別表送附ノ件〔在漢口總領事〕(昭13・12・3)

明
部
印

第
三
三
號

普通第三六號

昭和十三年十二月三日

在漢口

總領事 花 翰 義



別紙添附

外務大臣 有 田 八 郎 殿

本邦人職業別表送附ノ件

本年十一月末現在(漢口武昌)在留本邦人職業別表何等御參考迄送

附ス

本信寫送付先

上海谷公使、上海、南京、九江、厦門
廣東、青島、天津、濟南、北京、張家口



此
係
本
館
之
印
復
或
印



中
國
領
事
館
印

本
館
印
引
揚

在漢口日本總領事館

本省

職業別統計表 (昭和十三年十月三十一日現在)

職業別	地方別		總計	職業別		總計
	新	舊		新	舊	
內地人合計	224	185	409	181	228	409
朝鮮人	43	22	65	1	9	10
臺灣人	56	177	233	92	840	932
合計	283	204	487	274	1137	1411
飲食店	104	11	115	14	1	15
食料雜貨	49	5	54	7	1	8
菓子製造	1	1	2	2	2	4
販賣	2	1	3	1	1	2
計	156	18	174	24	5	29
漢	254	185	439	218	228	446
武	29	19	48	6	1	7
昌	0	0	0	0	0	0
合計	283	204	487	274	1137	1411

12月28日

職業別統計表
 內地人合計
 朝鮮人
 臺灣人
 飲食店
 食料雜貨
 菓子製造
 販賣
 計

昭和十三年十月三十一日現在

草(5)

次便

④ 在支邦人職業別人口統計表提出ノ件〔在廈門總領事〕(昭14・9・27)

門 務 部 長

公普通第五四六號

昭和十四年九月二十七日

在廈門

總領事 内 田 五

外務大臣 野 村 吉 三 郎 殿

在支邦人職業別人口統計表提出ノ件

九月二十日附貴電御來示ニ係ル昭和十三年十月一日現在ニ於ケル首
題統計表別添提出ス

追而從來當館ニハ在支邦人職業別人口統計表用紙無之且本年度同
定期報告期日モ接追致シ居ルヲ以テ至急同統計表用紙五十部御送
付方御配慮相煩度



昭和十四年九月六日

昭和十四年九月六日

在廈門日本帝國總領事館

在支邦人職業別人口統計表 昭和十三年十月一日現在

職業別		地方別		職業別		地方別	
				本業者	家族	計	總計
水邦內地人計	男	168	219	387	140	527	145
	女	11	22				
水邦內地人合計	男	179	241	420	140	560	160
	女	11	22				
朝鮮人	男	93	35	128	93	221	134
	女	3	6				
臺灣人	男	26	33	59	36	95	99
	女	6	3				
總計	男	205	281	486	366	852	588
	女	37	51				
前年同期卜比較	增			165	216	381	216
	減						
戶數	男	3	3	6	3	9	2
	女	3	3				
醫	男	3	3	6	3	9	2
	女	3	3				
限地開業醫師	男	3	3	6	3	9	2
	女	3	3				
齒科醫師	男	3	3	6	3	9	2
	女	3	3				

廈門

通 關 運 送 業	自 動 車 業	撞 球 及 遊 技 場	獸 肉 販 賣 業	慰 安 所 從 業 婦	海 軍 慰 安 所	旅 館 飲 食 店 女 中	藝 酌 婦 仲 居 女 給	料 理 屋 力 工 飲 食 店	旅 館 業	代 書 業	藥 種 賣 藥 商	產 婆 看 護 婦
女 男	女 男	女 男	女 男	女 男	女 男	女 男	女 男	女 男	女 男	女 男	女 男	女 男
三	二	一一	一 三	一 三	四	一 〇	四 七	一 五 三	二 一	一	五 一	
		四 三						八 七	二 一	一		
三	二	五 四	一 三	一 三	四	一 〇	四 七	一 二 三 〇	四 二	二	五 一	
三	二	九	一	一 三	四	一 〇	四 七	三 三	六	二	五 一	



④九江在留邦人職業別人口統計表提出ノ件〔在南京總領事〕(昭13・11・8)

普通第五六一號

昭和十三年十一月八日

在南京

總領事 加

外務大臣 有田 八郎 殿

九江在留邦人職業別人口統計表提出ノ件

十一月一日現在九江在留邦人職業別人口統計表二通別添送ニ提出ス

御査閱相成度



別紙添附

在南京日本總領事館

考 備	合 計	合 計	新 種 雜 誌 取 次 販 賣	特 種 慰 安 所 就 業 婦 女	特 種 慰 安 所	豆 腐 屋
1. 帝國軍人軍屬、軍雇傭人及酒保商人ハ算入セズ 2. 一般營業者ハ許可ヲ受ケタル者ノ内當地ニ實在者ノミヲ計上ス 3. 特種慰安所及特種婦人ハ開業中ノモノノミヲ計上ス	十月一日現在 合計 数	37	1		15	
		八七	一		四二	
		一八三			二六	
		二三五	一		一六九	
		一七			九	1
		四三			二六	一
		一五二			一八	
		二一九			二三七	一
		二				
		二				
		二五五				
		三四	一		一六	一
		三五	一		二〇	

④ 在留民職業別人口統計表進達ノ件「在九江領事代理」(昭14・2・20) 昭和十四年三月八日 接受
調査部

普通第五六號

昭和十四年二月二十日

在九江

領事代理 小林喜久



別紙添附



外務大臣有田八郎殿

在留民職業別人口統計表進達ノ件

本年二月一日現在ニ於ケル九江在留民職業別人口統計表別紙ノ通進達ス

本信寫送付先 上海、南京、漢口、蕪湖

在九江日本領事館



九江在留民職業別人口統計表 (昭和十四年三月一日現在)
 在九江日本領事館

職業別	區分	
	內地人	朝鮮人
官 吏	14	3
會 社 員	6	1
旅 館 業	3	1
寫 真 業	5	1
時 計 商	6	1
理 髮 業	6	1
賣 藥 業	1	1
食料品並 雜貨商	28	5
陶器金物商	1	1
戶數	14	3
男	14	3
女	14	3
計	14	3
戶數	14	3
男	14	3
女	14	3
計	14	3
合計	14	3

備考	一月日現在 (參考)	合計	特種就業者	慰安所種	特種	慰安所種	販賣	豆腐製造	新聞雜誌	飲食店	菓子製造
2. 帝國軍人、軍屬、軍僱傭人及洒係商人ハ算入セス	111	131			8			1	47	5	
	二三三	二九一			二三			一	九七	七	
	九	九							三		
	一五五	一七一	五四	七					六五	三	
	一〇	九		一					二	一	
	四七	四八〇	五四	三一				一	一六七	一一	
	15	19		7	2				4		
	三一	三八		三一	三				七		
		一									
	七八	七九	六七	七					四		
	一九	一一八	六七	二〇	三				一一		
	五二六	五九八	一一二	五一	三			一	一七	一一	

④12 九江在留民職業別人口報告ノ件「在九江領事代理」(昭14・3・6)

昭和十四年三月拾八日接受

調査部

普通第六二號

昭和十四年三月六日

在九江

領事代理 小森喜久吉



外務大臣有田八郎殿

九江在留民職業別人口報告ノ件

本年三月一日現在ニ於ケル當地在留邦人職業別人口別添統計表ノ通報告ス

本信寫送付先 上海南京漢口蕪湖

備 考	二月一日現在 (参考)	合 計	特種 就業 人	特種 安 業 種	豆 腐 製 造 賣	新 開 販 賣	飲 食 活	菓 子 製 造 賣
2 帝國軍人軍屬軍雇傭人及酒保高人の算入ス	131	159		9		1	48	10
	292	347		26		1	82	25
	9	12		1			6	1
	122	222	76	9			59	8
	9	15		1			3	2
	480	566	76	22		1	259	27
	19	24		10	2		2	
	38	55		16	3		6	
	1	3		2				
	79	140	23	10			4	
		4		2			2	
	28	32	23	30	3		22	
596	788	199	67		3	172	27	

④ 3 九江在留民職業別人口統計表進達ノ件「在九江領事代理」(昭14・4・15)

調査部

昭和十四年五月壹日 接受

普通第一〇一號

昭和十四年四月十五日

在九江

領事代理 小 森 喜 久

外務大臣 有 田 八 郎 殿

九江在留民職業別人口統計表進達ノ件

本年四月一日現在ニ於ケル當館管内職業別人口統計表別紙ノ通進達
ス御査閱相成度

本信寫送付先 上海、南京、漢口、蕪湖



別紙添附

在九江日本領事館

九江在留民職業別人口統計表(昭和十四年四月一日現在)
在九江日本領事館

職業別	區分		內地人		朝鮮人		台灣人	
	男	女	計	計	計	計		
職業別	大人	小人	大人	小人	大人	小人	大人	小人
官吏	16	1	17					
會社員	5	1	6					
旅館業	3	1	4					
寫真業	7	1	8					
時計商	9	3	12					
理髮業	4	1	5					
實業商	3	1	4					
食料品並	4	1	5					
雜貨商	1	1	2					
菓子製造	7	1	8					
販賣業	2	1	3					
合計	76	17	93	14	107	1	108	

備考	三月一日現在 (備考)	合計	齒科醫師	同就業婦人	特殊慰安所	運送及建築業	產婆	貿易商	洗濯業	豆腐製造業	新聞雜誌 取次販賣	陶器店	飲食店	
帝國軍人軍屬軍座傭人及酒保商人公算入口	155	164	1		9	1	1	3			1	2	48	
	壹	四二	一		三五	五		七			一	二	三	
	二三	二五			一								四	
	三三	三三		九三	一四	一	一	一				一	八	
	一五	一六			一								二	
	五六	六六	一	九三	五一	六	一	八			一	三	九	
	24	31			1					1			了	
	五五	七八			二〇					三			八	
	三一	四二		九五	一一								二	
	四〇	二八			一一								六	
	四	四〇			三								一	
	三三	三〇		九五	三五						三		一	
		2							1					
		四							三					
	四							三						
	六八	六九	一	六八	六六	六	一	八	三	三	一	三	三	

④ 九江在留民職業別人口統計表進達ノ件「在九江領事代理」(昭14・5・4)
調査部

普通第一〇二二號

昭和十四年五月四日

在九江

領事代理 小 森 喜 久



昭和十四年五月拾九日接

外務大臣 有 田 八 郎 殿

九江在留民職業別人口統計表進達ノ件

五月一日現在ニ於ケル當地在留邦人職業別人口統計表別紙ノ通進

達ス

本信寫送付先 上海、南京、漢口、蕪湖、

在九江日本領事館

④5 在留民職業別人口統計表進達ノ件〔在九江領事代理〕(昭14・6・1)

普通第一四六號

昭和十四年六月一日

在九江

領事代理 小 森 喜 久



外務大臣 有 田 八 郎 殿

在留民職業別人口統計表進達ノ件

六月一日現在當地在留民職業別人口統計表別添ノ通進達ス

本信寫送付先 上海 南京 漢口 蕪湖

切實添附

在九江日本領事館



九 在 留 邦 人 職 業 別 統 計 表 昭 和 十 四 年 六 月 一 日 現 在

職 業 別	區 分		官 吏	公 吏	公 社 員	雜 貨 商	理 髮 店	時 計 商	寫 真 業	菓 子 商	賣 藥 業	洗 濯 業	製 造 業
	戶 數	人 數											
	內 地 人		14	6	7	56	2	8	7	4	3		
	男	女	11	5	7	51	2	8	7	4	3		
	大人	小人	6	2	1	45	4	3	1	1	1		
	大人	小人	7	2	2	6		4					
	計		32	9	22	22	4	35	11	7	6		
I	朝 鮮 人					7		2					
	男	女				7		2					
	大人	小人				5		6					
	大人	小人				3		1					
	大人	小人				1		2					
	計					9		9					
	台 灣 人												
	男	女											
	大人	小人											
	大人	小人											
	計												
	合 計		32	9	22	22	4	35	11	7	6		

前月合計	合計	特種婦人	慰安所	飲食店	料理店	旅館業	齒科医	産婆	新聞通信社	電氣工事 請員業	運送業
182	176		10	47	1	3	1	1	4	1	1
四五九	四六五		三七	一〇七	四	一五	二		二〇	二	五
二二三七	二二五二	一二五	二八	五	一						一
一八三五	二一八三		一	八九	五	一四		一			一
八三五	八三六	一二五	六六	六		二		一	二〇	二	七
26	26		11	5							
六三	五七		二〇	三		一					
四一三二	三一〇〇	九九	四	一							
四	三		一	一							
二〇五	一八三	九九	二六	一七		一					
1	1										
二	二								一		一
	一	一									
二	二										
二	二	一	九二	二二四	一〇	三二	二	一	一	二	八
二〇四〇	二〇二二	二二二									

備考

一 軍用傳人及部隊附酒保商人ハ算入セス。
 二 新聞雜誌販次店ニ
 三 賣菜業ニ
 四 菓子商ニ

一 九月より減少セルハ邦人ノ南島進出ニ因ル。

一 遊藝場

④ 6

在留民職業別人口統計表進達ノ件〔在九江領事代理〕(昭14・8・7)
調查部長

普通第二一六號

昭和十四年八月七日

別紙添附

在九江

領事代理 小森喜久



外務大臣 有田 八郎 殿

在留民職業別人口統計表進達ノ件

八月一日現在當地在留民職業別人口統計表別添ノ通進達ス

本信寫送附先 上海、南京、漢口、蕪湖、

在九江日本領事館

記

九 在 留 邦 人 職 業 別 統 計 表

昭 和 十 四 年 八 月 一 日 現 在

運送業	豆腐製造業	洗濯業	売菓商	菓子商	寫眞業	時計店	理髮店	雜貨商	会社員	公吏	官吏	職別		合計
												數	戶	
2		1	1	4	4	8	1	62	12	3	21	數	戶	內地人
二		一	二	一〇	二	三三	一	三〇	二九	三	二二	大	男	
								四	一		三	小	女	朝鮮人
				五	六	五		三八	四	二	八	大	女	
				四				八		一	四	小	女	台灣人
二		一	二	二〇	一九	三八	一	三五〇	三四	六	三六	計	計	
	1	1	1	1	2			8				數	戶	台灣人
	二	一	二	一	九			三三				大	男	
												小	男	台灣人
					三	一		三				大	女	
								一				小	女	台灣人
	二	一	二	一	一二	一		三六				計	計	
					1							數	戶	台灣人
					一							大	男	
												小	男	台灣人
												大	女	
												小	女	台灣人
												計	計	
二	二	二	四	二一	三二	三九	一	二八六	三四	六	三六	計	合計	

備考	前月トノ比較	計	特種婦人	慰安所	飲食店	料理店	旅館業	齒科医	産婆	書籍商	新聞通信業	請負業	洋服洋品店	
														(+) 5
一 前月トノ比較欄甲(+)ハ増(-)ハ減ヲ示ス 一 單座席ハ及部隊附酒保商人ハ算入セス 一 二種以上ノ營業ヲナス者ハ其ノ主タルモノヲ記載セリ	(+) 5	179		8	34	2	3	1	1	1	4	4	2	
	(-) 3	4		ニ	又九	一六	一七	三		三	二	八	五	
	(+) 4			ニ	一							一		
	(-) 3	5		九〇	一〇	六一	一六	一四		一		三	二	
	(+) 3				ニ		ニ					一		
	(-) 4			九〇	三九	三三	三三	三	一	三	二	一	七	
	(+) 8		28		五	4								
	(+) 2	5			一五	又	三						一	
	(-) 2													
	(-) 1	2		六八	六	九							一	
	(-) 1					一								
	(+) 10			六八	二一	一五		三					二	
	(-) 1													
													一	
	(+) 6		三				一						一	七
			九五		六〇	三三	三三	三六	三	一	三	二	一六	

④ 7 在留邦人職業別人口統計表進達ノ件〔在九江領事代理〕(昭14・9・9)

調查部長

普通第二五五號

昭和十四年九月九日

在九江

領事代理 小 森 喜 久

外務大臣 阿 部 信 行 殿

在留邦人職業別人口統計表進達ノ件

九月一日現在九江、南昌及化嶺ニ於ケル在留邦人職業別人口統計表
別添ノ通進達ス

本信寫差附先

上海、南京、漢口、



別紙添附



九江在留邦人職業別統計表

昭和十四年九月一日現在

自轉車店	運送業	豆粉製業	洗濯業	賣藥商	菓子商	寫真業	時計店	理髮店	雜貨商	借侶	專務員	教育關係者	官吏	職業別		合計
														數	別	
1	3	1	2	3	3	4	9	1	69	1	9	1	18	數	戶	內地人
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	火	小	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	大	小	朝鮮人
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	計	計	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	數	戶	台灣人
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	大	小	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	大	小	合計
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	計	計	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	大	小	合計
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	計	計	
4	3	8	7	10	5	17	31	2	273	2	51	2	34	合計	合計	

前月ノ比較	計	其他無業者	特種婦人	慰安所	飲食店	料理店	旅館業	齒科醫	産 産	書籍	新聞通信業	請負業	洋服洋品店
(A) 17	196			7	43	4	3	1	1	1	4	6	1
(B) 1	四八三			二四	七三	一一	一一			二	一九	一八	一
(C) 4	一八	一			五	一				一			
(D) 19	二八	三	九八	四	七	六	一五		一	一		二	一
(E) 2	二〇	一			二					一			
(F) 22	八〇	六	九八	二八	二五	〇	二六	一	一	五	一九	二〇	二
(G) 12	16			5	2								
(H) 17	五四			一一	五		一						
(I) 1	一一			一									
(J) 12	六七		五〇	四	四		一						一
(K) 同	二			二									
(L) 40	三三		五〇	一八	九								一
(M) 同	1												
(N) 同	二												
(O) 同	一		一										
(P) 同	三												
(Q) 17	三三	六	一	二四	四六	二〇	二七	一	一	五	一九	三一	二

備考

- 一、前月ノ比較欄中(+)ハ増 (-)ハ減ヲ示ス
- 一、單座傷人及部隊附通保商人ハ算入セズ
- 一、二種以上ノ営業ヲナス者ハ其ノ主タルモノヲ記載セリ



④ 1 南昌在留邦人職業別人口統計報告ノ件〔在九江領事代理〕(昭14・8・9)

調査部長

普通第二一七號

昭和十四年八月九日

在九江

領事代理 小森喜久



別紙添附



外務大臣 有田 八郎 殿

南昌在留邦人職業別人口統計報告ノ件

八月一日現在ニ於ケル南昌在留邦人職業別人口統計別添ノ通り報告ス

昭和十四年八月廿壹日接受

は()

在九江日本領事館

南昌居留民職業別人口統計表 (昭和四年八月一日現在)
 在九江日本帝國領事館警察署

職業別	區別		內地人		朝鮮人		台灣人		合計
	戶數	人數	男	女	男	女	男	女	
運輸業	3	3							3
醫師									
食料店	30	51							61
寫真商	3	7							10
時計商	3	6							9
賣藥兼雜貨商	1	2							3
刀劍商	1	1							2
旅館業	3	5							8
製菓商	4	6							10
合計			10	11	2	2	1	1	15

昭和四年八月一日現在

④4-2 南昌居留民職業別人口統計表「在九江日本領事館警察署南昌分署」(昭和十四年九月一日現在)

南昌居留民職業別人口統計表

昭和十四年九月一日現在

在九江日本領事館警察署南昌分署

職業別	尾分		內地人		朝鮮人		台灣人		合計
	戶數	人數	男	女	男	女	男	女	
官吏	3	3							3
運輸業	3	3							3
醫師					1				1
食料品雜貨商	3	4			3				4
寫真商	3	3			5				8
時計商	4	4			1				5
賣藥兼雜貨商	1	1							2
刀劍商	1	1							2
旅館業	2	5			2				7

備考	凡日人口数 (参考)	合計	同業 特種婦人	同業 特種慰安所	料理店	飲食店	理髮業	浴場業	洗濯業	獸肉野菜 販賣業	豆齋商	製菓業	
單人、單屬、及酒保商人、算入也ス	87	93		3	2	26	4				1	6	
	二 四	二 八		五	六	五	五				一	九	
	一 五	二 〇	一	三	一	四	二					二	
	二 三	三 九				一						一	
	二 七	三 九	一	八	一	九	七				一	五	
	31	32		8		7	1	1	1	1		1	
	七 二	九 四		三		一	一	一	一	五		二	
	一 三	一 九	一	一		一							
	五 〇	四 三				三							
	二 〇	三 八	一	五		三	一	二	二	五		二	
	1	1										1	
	四	三										三	
	四	三											三
四 三	五 三	一	五	一	一	三	八	二	二	五	一	二	

④5-1 在留邦人口統計職業別報告ノ件「在蕪湖副領事」(昭14・4・4)

調査部

普通第七七號

昭和十四年四月四日

在 蕪 湖

副領事 岡 部 計 二



外務大臣 有 田 八 郎 殿

在留邦人口統計職業別報告ノ件

本月一日現在ニ於ケル當館管内在留邦人口及職業別統計表別紙ノ

通報告ス

本館寫送付先 上海 南京 漢口 九江

昭和十四年四月拾七日接受
別紙添附

在南京日本總領事館蕪湖分館

蕪湖在留民職業別人口統計表(昭和十四年四月一日現在)

種別	區別		官公吏	教育者	宗教者	醫務者	社會員	時計商	工業	建築業	食料品	雜貨商	貿易商	旅館業
	戶數	人口												
內地人	男	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111
	女	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111
	計	222	222	222	222	222	222	222	222	222	222	222	222	222
朝鮮人	男	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111
	女	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111
	計	222	222	222	222	222	222	222	222	222	222	222	222	222
台灣人	男	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111
	女	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111
	計	222	222	222	222	222	222	222	222	222	222	222	222	222
合計	戶數	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111
	人口	222	222	222	222	222	222	222	222	222	222	222	222	222

二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

計	無職	其他	洋服商	賣藥業	餅菓子製造業	製材業	馮興業	微修器具	運送業	飲食店	料理店	慰安所
一九四六	三	三	一	二	四	一	四	一	二	一五	二	四
一九四七		四	一	二	四	三	五	三	二	一七	一〇	一三
一九四八	三			二	六	三	二			一五	二	三
一九四九	三	四	一	五	三	五	八	三	二	三五	三	六
一九五〇	二									二		二
一九五一	二				一				二	四		五
一九五二	二				一							六
一九五三	二									四		
一九五四	六				二				二	八		三
一九五五												
一九五六												
一九五七												
一九五八	五	三	一	二	四	一	四	一	二	一七	二	六
一九五九	九	四	一	五	一四	五	八	三	四	六五	三〇	九三

右列業主本表外

④5 2 在留邦人人口統計職業別報告ノ件〔在蕪湖副領事〕(昭14・6・2)

調査部

別紙添付

普通第一二二二號

昭和十四年六月廿日 接受

昭和十四年六月二日

在 蕪 湖

副領事 岡 部 計 二



外務大臣 有 田 八 郎 殿

在留邦人々口統計職業別報告ノ件

六月一日現在ニ於ケル當館管内在留邦人々口及職業別々紙ノ通報告

申進ス

本信寫 上海 南京 漢口 九江
送付先

在南京日本總領事館蕪湖分館

計	其他	無職	料理店	慰安所	製粉業	洋服店	刀劍商	飲食店	製菓 菓子	寫真業	書籍 販賣業	藥種商
三四三三	七	三	二	四	一	一	一	一六	二	三	一	二
四三三	九	四	九	一三	三	二	二	三三	二	三		二
一四二九〇				一四				四五				二
一七五五	一	三	二	一八	三			五五	一	二	一	二
一七五四	一〇	七	三	一六	六	二	三	二八	三	一六	一	五
一九四八		二		二				二四				
二三三		一		三				二				
四八五		五		二				六				
一五二一												
一四二六												
一四二六五	七	四	二	六	一	一	一	一八	二	三	一	二
六四二	一〇	一二	三四	八七	六	二	三	八九	三	六	一	五

④5 3 在留邦人人口統計職業別報告ノ件「在蕪湖副領事」(昭14・7・4)

昭和十四年七月拾八日接受

別紙添付

調査部

普通第一四五號

昭和十四年七月四日

在 蕪 湖

副領事 岡 部 計 二



外務大臣 有 田 八 郎 殿

在留邦人々口統計職業別報告ノ件



七月一日現在ニ於ケル當館管内在留邦人々口及職業別々紙ノ通報告
申進ス

寫送付先 上海 南京 漢口 九江

在南京日本總領事館蕪湖分館

計	寫真業	其他	無職	料理店	慰安所	製材業	洋服店	刀劍商	飲食店	菓子製造業	書賣業	藥種商
354	4	8	4	2	4	1	1	1	16	3	1	2
四六	五	八	四	九	一一	三	二	三	二二	三		二
一五					一四				四四			一
一八	二	二	一	二	一四				四三		一	二
一八	一				一五				六八			
六六	八	一〇	五	三	一九	三	二	三	六八	三	一	五
二七			1		2				1			
五六			一		二				四			
三三					二							
二六			一		六				二			
四九			二		八				六			
九			四		八							
12												
一四												
一												
二六												
393	4	8	5	8	6	1	1	1	17	3	1	2
七五	八	一〇	九	三	七	三	二	三	七	三	一	五
一				二	七				四			

右其法巨有餘餘算會々處

④5-4 在留邦人人口統計職業別報告ノ件〔在蕪湖副領事〕(昭14・8・2) 昭和十四年八月拾貳日接受

調査部長

普通第一七〇號

昭和十四年八月二日

在 蕪 湖

副領事 岡 部 計 二



外務大臣 有 田 八 郎 殿

在留邦人々口統計職業別報告ノ件

八月一日現在ニ於ケル當館管内在留邦人々口及職業別々紙ノ通報

告申進ス

寫 上 海、南 京、漢 口、九 江、

在南京日本總領事館蕪湖分館



蕪湖在留民職業別人口統計表 (昭和十四年八月百現在)

種別	內地人		朝鮮人		台灣人		合計
	男	女	男	女	男	女	
官公吏	九	九	一	四			九
教育者	一	一					一
宗教者	一	一					一
醫師	一	一					一
社會員	三	四					三
野計高	二	三					二
旅館業	二						二
雜貨商	三	二					三
貿易商	四	二					四
運輸業	二	四					二
合計	九	九	一	四			九

④5 在留邦人人口統計職業別報告ノ件「在蕪湖副領事」(昭14・9・3)

調查部長

普通第一九一號

昭和十四年九月三日

在 蕪 湖

副領事 岡 部 計 二



外務大臣 阿 部 信 行 殿

在留邦人人口統計職業別報告ノ件

九月一日現在ニ於ケル當館管内在留邦人人口及職業別統計表別紙ノ

通報告申進ス

本信寫送付先 上海 南京 漢口 九江

別紙添附



在南京日本總領事館蕪湖分館

蕪湖在留民職業別人口統計表(昭和十四年九月百現在)

運輸業	貿易商	雜貨商	雜貨業	路計商	會社員	醫師者	宗師者	關係者	官吏	種別		合計	合計人口
										男	女		
三八	六三	七五	二一	二二	三三	三六	二二	一一	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
	二二	五三	一九	三三	一四	一		一	一	三	三	三	三
八	一三	七九	一一	九九	二七	七	二	二		二	二	二	二
三八	九三	七〇		一一		一							
一	二	三	一	一		一							
一〇	二七	一六	一	三		二							
	九四	一三			三三								
		一			一								
	一四	一七			四								
六	八六	五五	二	三	二五	四	二	一	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
一八	一七四	一〇二	一三	一一	一四	九	二	二	一七	一七	一七	一七	一七

計	其他	無職	料理店	飲食所	製粉業	工木 建築	刀鋸業	飲食店	菓 製造業	海軍業	製糖業	製糖業
三七	五	六	二	六	一	三		七	二	三	一	二
七	五	四	八	二	二	七		五	二	八		二
二								八	一	二	一	三
三	一	三	五	三	一	一		七		一		
七	一	一	一	一				七		一		
六	七	三	四	四	三	八		七	三	二	一	六
二		一		一								
九		二		三								
五				三				一				
一												
三												
一												
二												
五	五	七	二	七	一	三		七	二	三	一	二
七	七	三	四	七	三	八		七	三	一	一	六
六		九	四	七	三			八	三	一	一	

在蕪湖日本總領事館 分館

④杭州在留邦人營業種別並ニ投資額一覽表送付ノ件〔在杭州領事代理〕(昭14・2・24)

東京

第三課

(2)

昭和十四年二月八日 接受

郵便附

普通第六六號

昭和十四年二月二十四日

在杭州

領事代理 道明

輝



外務大臣 有田 八郎 殿

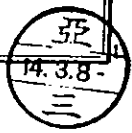
杭州在留邦人 營業種別 並ニ投資額 一覽表送付ノ件

當館警察署ニ於テ調査シタル二月現在ニ於ケル在留邦人ノ營業種別 並ニ投資額一覽表別紙ノ通御參考迄送附ス

本信寫送付先

上海

大分



在杭州日本領事館

備考	營業種別	資本金額	稱號	營業主名	營業場所	電話	備考
一、資本金額欄中 日日本例支八支那例、投資額ヲ表ハス 二、單位八圓トス	營業種別	資本金額	稱號	營業主名	營業場所	電話	備考
	貿易商	一〇〇,〇〇〇	吉田 號	岡 巖	湖濱路五〇三	一三八三	本店資本金百萬元
	企	一〇〇,〇〇〇	福原商店	釘井茂一	三元坊五〇	一三三六	同
	企	一〇〇,〇〇〇	大丸洋行出張所	山根 一	保佑坊二八	一三三四	右 同
	運送業	三五〇,〇〇〇	日本通運株式會社	柏谷 強一	杭州驛前	一三五八	本店資本金一〇千萬元、投資額不明
	旅行業、内業	二〇〇,〇〇〇	日本國際觀光局	谷山 正弘	新民路五五五	一三六三	右 同
	映画興業	二六〇,〇〇〇	東和劇場	岡本 勢衛	延齡路二〇三		右 同
	百貨店業	一六〇,〇〇〇	實業百貨店	市川 隆三	迎紫路	一三三四	
資本金(金)計	六十參百七拾萬八千圓也						
資本金(銀)計	拾五萬元也						

〔中略〕

個人之部

營業種別	資本金額	稱號	營業主又人	營業場所	電話	備考
貿易商	四〇〇〇	峯崎行出張所	内山甚作	新民路三五五	二三一	本表、本店資本金 ヲ表ス
全	一〇〇〇〇	久大洋行出張所	崎山憲雄	新民路四一〇		
全	一〇〇〇〇	福泰洋行杭州分行	田中華之助	新民路四〇〇		
全	二〇〇〇〇	日發貿易公司	陳十萬	壽安路一〇〇		
全	一〇〇〇〇	神戸商會	山口敬一	教仁街三三六		
全	一〇〇〇〇	靖京公司	田和繁之助	永福里六		
全	一〇〇〇〇	天杯洋行	郭芳鈞	太平坊 大馬路四三		
全	八〇〇〇	京華洋行	八田温造	保佑坊四八	二三七	
全	二〇〇〇	新興貿易公司 杭州支店	鈴木平一	塩橋街七二		
雜貨商	一〇〇〇〇	三益社	福田充親	塩橋路二四一	三三七	本店資本金 拾萬圓
全	八〇〇〇	萬利洋行 杭州出張所	金高延二	延齡路一五五	四四	

備 考	資本金額	營業種別	資本金額	稱	號	營業主 人	營業場所	電話	備 考
備 考	果物商		五〇〇	富士屋	金聖柱	延齡路一元			
	企		一五〇	鶴屋		湖邊村三九			
	企		二〇〇	長生樓		湖邊村八			
	慰安所業		三〇〇	關門亭		慈翁路取新邨			
	タキシード業		一〇〇〇	杭州タキシード	相場萬吉	迎北条路 百貨店			
	企			理實業百貨店 髮部	市川隆三	迎密魯貨店	三三〇		百貨店 同一資本
	理髮店		一三〇	日本理髮館	高瀬富雄	仁和路 七〇			
	企		二〇〇	東京洋行美容院	宗光絹子	湖濱路二七			
	美容院		四〇〇	日本理髮館 部	永田ウメノ	仁和路 七〇			
	營業種別								

資本金計 千五百七拾四萬九千四百五拾圓也

編集資料 御女性のためのアジア平和国民基金編

政府「従軍慰安婦」関係資料集成 ①

警察庁関係公表資料／外務省関係公表資料

一九九七年三月二十日 第一刷発行

摘定価 一〇〇、〇〇〇円(税別)

後藤 乾一

編集代表 高崎 宗司

和田 春樹

装 幀 榎 三谷 鞆彦

発行者 北村 正光

発行所 饅龍溪書舎

東京都板橋区南町43-4-1-103

郵便番号 一七三-〇〇二七

電話 〇三三三五四一八〇四五(代表)

FAX 〇三三三五四一八四四四

振替 〇〇二〇一七六一二三

印刷 勝英印刷 製本 岸田製本

検印廃止

ISBN4-8447-3474-1